

プリンタ各部の名称とはたらき

- [プリンタの特徴](#)
- [操作パネルについて](#)
- [操作パネルの使用](#)

プリンタの特徴

このプリンタには、2種類の機種があります。以下の表に、それぞれの違いを示します。

	5210n	5310n
給紙容量	600 枚 (500 枚給紙カセット + 100 枚多目的フィーダ)	600 枚 (500 枚給紙カセット + 100 枚多目的フィーダ)
排紙容量	250 枚	250 枚
標準メモリ	64 MB	128 MB
最大メモリ容量	576 MB	640 MB

 **メモ:** プリンタの機種番号は操作パネルに表示されています。

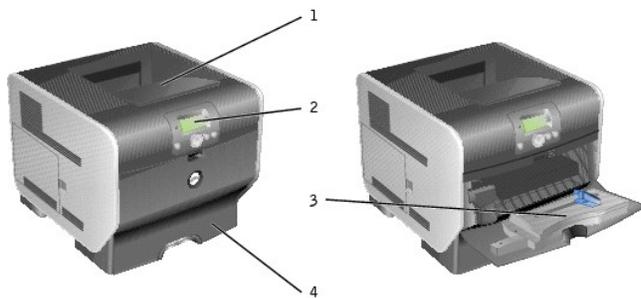
各機種の装備

以下の図は、標準ネットワークおよびフル装備のプリンタを示しています。プリンタに用紙処理用のオプションを追加すると、外観はフル装備されたプリンタに近い状態になります。

アスタリスク(*)の付いている項目はオプションです。給紙オプションの取り付けについての詳細は、「[オプションの取り付けと取り外し](#)」、またはオプションに付属の説明書類を参照してください。

以下に表示されているオプションを購入するには、www.dell.com を参照するか、担当のデルセールス担当者にお問い合わせください。

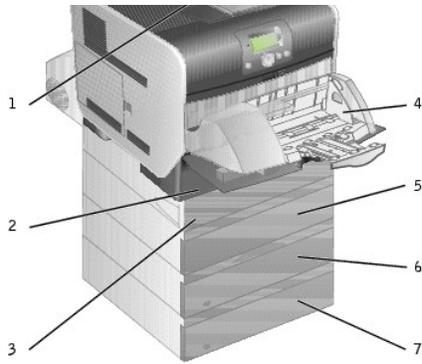
標準ネットワーク



番号:	部品:
1	標準排紙トレイ(250 枚)
2	操作パネル
3	多目的フィーダ(100 枚)
4	標準カセット(500 枚)

フル装備





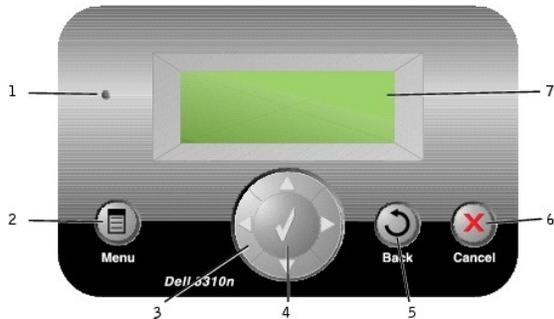
メモ: オプションとして用紙カセットを 4 つまで、またはカセット 3 つと両面印刷ユニットを 1 つ取り付けることができます。

番号:	部品:
1	排紙増量器 (650 枚)
2	カセット 1/標準カセット(500 枚)
3	両面印刷ユニット(500 枚)
4	封筒フィーダ(85 枚)
5	カセット 2(250/500 枚)
6	カセット 3(250/500 枚)
7	カセット 4(250/500 枚)



警告: 床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。給紙オプションを複数使用している場合や、両面印刷ユニットと給紙オプションを合わせて使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースのどちらかを必ず使用してください。

操作パネルについて



番号:	名称:	説明:
1	インジケータランプ	オン、ビジー、アイドル、ジョブの処理中、またはユーザーの操作が必要など、プリンタの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 消灯:電源が入っていません。 1 緑(点灯):電源がオンでアイドル状態です。 1 緑(点滅):ウォームアップ中、データの処理中、またはジョブの印刷中です。 1 黄色(点灯):ユーザーの操作が必要です。
2	[メニュー]ボタン	メニューインデックスを表示します。 メモ: メニューインデックスを表示するには、プリンタが 準備完了 状態になっている必要があります。プリンタの準備が完了していない場合は、メニューを表示できないことを示すメッセージが表示されます。
3	ナビゲーションボタン	▲ ▼ リストを上下に移動します。 上または下矢印ボタンを押すごとに、カーソルが行ずつリスト内を移動します。カーソルが画面の一番下にあるときに下矢印ボタンを押すと、次の画面が表示されます。 ◀ ▶ メニューインデックス間での移動など、画面内を移動します。右または左矢印ボタンを使用すると、画面に表示しきれないテキストをスクロールして表示することもできます。

4	[設定]ボタン		選択した操作を実行します。リンク先に進む、設定項目を送信する、ジョブを開始またはキャンセルするなどの操作を行う場合は[設定]ボタンを押します。
5	[戻る]ボタン		最後に表示した画面に戻ります。 メモ: [戻る]ボタンを押した場合、画面上で行った変更は適用されません。
6	[キャンセル]ボタン		プリンタで実行している機械的な操作を中止します。[キャンセル]ボタンを押すと、「停止中」というメッセージが表示されます。プリンタの動作が停止すると、操作パネルのステータス行に「停止中」と表示され、オプションの一覧が表示されます。
7	画面		プリンタの現在の状況を示すメッセージやグラフィック、プリンタで発生している可能性のある解決すべき問題が表示されます。 操作パネルは、4行表示に対応した、バックライト付きのグレースケール画面で、グラフィックとテキストを表示できます。

操作パネルの使用

プリンタ設定を簡単に変更するための多くのメニューが用意されています。以下の表に、操作パネルに表示されるメニューインデックスと、各メニューインデックスから使用できるメニュー項目を示します。メニューおよびメニュー項目についての詳細は、「[操作パネルのメニューについて](#)」を参照してください。

メニュー	メニュー項目
用紙メニュー	<ul style="list-style-type: none"> 1 標準設定給紙源 1 用紙 大きさ/種類 1 多目的フィードを設定 1 封筒の拡張 1 代替サイズ 1 用紙表面粗さ 1 用紙の厚さ 1 用紙のセット 1 ユーザー定義 1 ユニバーサルセットアップ 1 トレイ設定
レポート	<ul style="list-style-type: none"> 1 メニュー設定ページ 1 デバイス統計 1 ネットワーク設定ページ 1 ネット <x> 設定 1 プロファイルリスト 1 NetWare 設定ページ 1 フォントを印刷 1 ディレクトリを印刷
設定	<ul style="list-style-type: none"> 1 セットアップメニュー 1 仕上メニュー 1 品質メニュー 1 ユーティリティメニュー 1 PostScript メニュー 1 PCL メニュー 1 HTML メニュー 1 イメージ メニュー
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 1 ジョブ期限切れ
ネットワーク/ポート	<ul style="list-style-type: none"> 1 TCP/IP 1 標準ネットワーク 1 ネットワーク <x> 1 標準 USB 1 USB <x> 1 パラレル 1 パラレル <x> 1 NetWare 1 AppleTalk

付録

- [デルテクニカルサポートのご利用条件](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)
- [保証および返品条件](#)

デルテクニカルサポートのご利用条件

技術者によるテクニカルサポートをお受けいただくには、トラブルシューティングに対するお客様のご協力とご自身での操作が必要となります。サポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェア、ハードウェアなどの出荷時の設定への復元と、プリンタおよびデルが取り付けを行ったすべてのハードウェアの機能の適正についての確認を行います。技術者によるこのテクニカルサポートのほか、デルサポートでのオンラインテクニカルサポートもご利用いただけます。テクニカルサポートの追加オプションをご購入いただくことができます。

デルでは、プリンタおよびデルがインストールを行ったすべてのソフトウェアと周辺機器に対して、限定テクニカルサポートを提供しています。Software & Peripherals (DellWare)、ReadyWare、Custom Factory Integration (CFI/DellPlus) などから購入およびインストールされたものを含む、サードパーティ製ソフトウェアおよび周辺機器に対するサポートは、それらの製造元により提供されます。

デルへのお問い合わせ

デルサポートには、support.dell.com からアクセスできます。最初に表示されるページで地域を選択して必要な情報を入力すると、ヘルプツールおよび情報にアクセスできます。

オンラインでのデルへのお問い合わせには、以下のアドレスをご利用ください。

- 1 インターネット
www.dell.com/
www.dell.com/ap/ (アジア太平洋諸国のみ)
www.euro.dell.com (ヨーロッパのみ)
www.dell.com/la/ (中南米諸国のみ)
www.dell.com/jp/ (日本のみ)
- 1 匿名 FTP (ファイル転送プロトコル)
ftp.dell.com/
ログインユーザー名: anonymous、およびお客様の E メールアドレスとパスワードを使用します。
- 1 E メールサポートサービス
mobile_support@us.dell.com
support@us.dell.com
apsupport@dell.com (アジア太平洋諸国のみ)
support_euro.dell.com (ヨーロッパのみ)
<http://support.jp.dell.com/jp/ip/tech/email/> (日本のみ)
- 1 E メール見積りサービス
sales@dell.com
apmarketing@dell.com (アジア太平洋諸国のみ)
- 1 E メール情報サービス
info@dell.com

保証および返品条件

Dell Inc. (以下「デル」) は、ハードウェア製品の製造のために、新品、または業界標準の慣例に従い新品と同等とみなされる部品およびコンポーネントを使用しています。お使いのプリンタに対するデルの保証についての詳細は、『オーナーズマニュアル』を参照してください。

BSD License and Warranty Statements

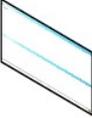
Copyright (c) 1991 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

情報とその入手先

必要な情報	入手先
<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタドライバ 1 ユーザーズガイド 	<p>Drivers and Utilities CD</p>  <p>ドライバをアンインストール/再インストールしたり、説明書類を参照したりするときにこの CD を使用します。</p> <p>CD には Readme ファイルが含まれている場合があります。Readme ファイルには、プリンタの技術的な変更に関する最新情報や、熟練ユーザーや技術者のための高度な技術資料が示されています。</p>
<p>プリンタのセットアップ方法</p>	<p>セットアップ図</p> 
<ul style="list-style-type: none"> 1 安全に関する情報 1 プリンタのセットアップ方法と使用方法 1 保証に関する情報 	<p>オーナーズマニュアル</p> 
<p>エクスプレスサービスコードとサービスタグナンバー</p>	 <p>このラベルは、プリンタの前面カバーの下にあります。</p> 
<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタ用の最新ドライバ 1 テクニカルサービスおよびサポートに関する質問への回答 1 プリンタのマニュアル 	<p>デルサポートホームページ: support.dell.com</p> <p>デルサポートホームページでは、次のようなオンラインツールを提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ソリューション - トラブルシューティングのヒントとテクニック、技術者による文書、オンラインセミナーを提供します。 1 アップグレード - メモリなどのコンポーネントのアップグレードに関する情報を提供します。 1 カスタマケア - デルへの連絡先、オーダーステータス(お届け予約案内)、保証、修理に関する情報を提供します。 1 ダウンロード - ドライバをダウンロードします。 1 レファレンス - プリンタの説明書類と製品仕様を参照できます。
<ul style="list-style-type: none"> 1 Windows XP の使用方法 1 プリンタの説明書類 	<p>Windows XP のヘルプとサポートセンター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]、[ヘルプとサポート]の順にクリックします。 2. トラブルを説明する単語またはフレーズを入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. トラブルに当てはまるトピックをクリックします。 4. 画面に表示される手順に従います。

GNU License

GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

1. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License: they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

2. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

3. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b. You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c. If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

4. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a. Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - b. Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - c. Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
6. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
7. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
8. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

9. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
10. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software

Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

11. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

12. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
13. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1989

Lexmark International, Inc.

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. The modified work must itself be a software library.
 - b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing

portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b. Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE,

YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1990

Lexmark International, Inc.

That's all there is to it!

Dell™ Laser Printer 5210n/5310n ユーザーズガイド

左のリンクをクリックして、プリンタの機能と操作に関する情報を参照します。プリンタに含まれるその他のマニュアルに関する情報については、「[情報とその入手先](#)」を参照してください。

消耗品をデルに注文するには:

1. デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



2. デルのホームページ www.dell.com/supplies にアクセスします。
3. 電話でプリンタ消耗品を注文します。お住まいの地域で利用可能な電話番号については、『オーナーズマニュアル』を参照してください。

よりスムーズにサービスをご利用いただくために、デルプリンタサービスタグナンバーをお手元にご用意ください。[エクスプレスサービスコードとサービスタグナンバー](#)を参照してください。

メモ、注意、警告

 **メモ:** 「メモ」には、プリンタの活用に役立つ重要な情報が記載されています。

 **注意:** 「注意」には、ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示し、その問題の回避方法が記載されています。

 **警告:** 「警告」は、物的損害または人身傷害(死傷)の危険性があることを示します。

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。
© 2005 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. の文書による許可なしには、いかなる方法においても本書の複写、転載を禁じます。

本書で使用されている商標: Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

本書中では、その他の商標および社名を各社の商号または製品名を示す呼称として使用する場合があります。Dell Inc. は、自社以外の商標および商品名に対して、いかなる所有権も主張するものではありません。

機種 5210n/5310n

2005 年 8 月 Rev. A00

紙詰まりの除去

- [紙詰まりの場所の特定](#)
- [プリンタの紙詰まりの除去](#)

適切な用紙を正しくセットすることで、ほとんどの紙詰まりを防ぐことができます。紙詰まりを防ぐ方法についての詳細は、[紙詰まりの回避](#)を参照してください。用紙が詰まった場合は、この節で説明する手順に従ってください。

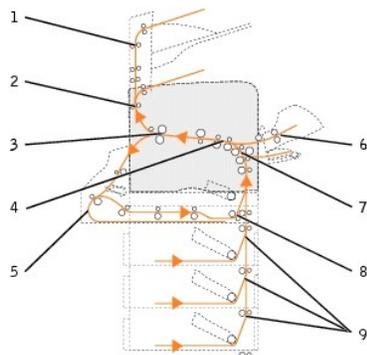
紙詰まりを示すメッセージが表示されたら、用紙経路全体から用紙を取り除き、**[設定]**ボタン  を押します。するとメッセージが消えて印刷を続行できます。**[紙詰まり回復]**を**[オン]**または**[自動]**に設定してある場合は、紙詰まりが発生したページを再度印刷できます。ただし、**[自動]**に設定してある場合は印刷されない場合もあります。

紙詰まりの場所の特定

プリンタで紙詰まりが発生すると、プリンタの操作パネルの画面に紙詰まりを示すメッセージが表示されます。

以下の図は、プリンタ内を通る用紙の経路を示しています。用紙が通る経路は、お使いの入カソース(カセット、多目的フィーダ、封筒フィーダ)や排紙トレイ(排紙増量器)によって異なります。

以下の表は、紙詰まりに関するメッセージとメッセージを消すために必要な作業を示しています。紙詰まりメッセージには、紙詰まりが発生した場所が示されています。ただし、発生している可能性のある紙詰まりをすべて解決するには、用紙経路全体から用紙を取り除くことが最も効果的です。



番号	メッセージ	解決方法*
1	27x 紙詰り、トレイ x を調べる	排紙トレイの背面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。
2	202 紙詰り、後ろドアを開く	プリンタの背面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。
3	201 紙詰り、カートリッジを取り外す	上部の前面カバーを開き、カートリッジを取り外して詰まっている用紙を取り除きます。
4	200 紙詰り、カートリッジを取り外す	上部の前面カバーを開き、カートリッジを取り外して詰まっている用紙を取り除きます。
5	23x 紙詰り、両面後ろドアを開く	両面印刷ユニットの背面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。
6	260 紙詰り、封筒フィーダを調べる	封筒押さえを持ち上げて封筒をすべて取り除き、封筒をほぐしてから重ねます。封筒フィーダにセットし直してガイドを調節します。
7	250 紙詰り、多目的フィーダを調べる	多目的フィーダから用紙をすべて取り除き、用紙をほぐしてから重ねます。多目的フィーダにセットし直してガイドを調節します。
8	23x 紙詰り、両面印刷を確認	両面印刷ユニットから両面印刷トレイを取り外して両面印刷デフレクタを持ち上げ、詰まっている用紙を取り除きます。両面印刷ユニットの背面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。
9	24x 紙詰り、カセット x を調べる	各トレイを開いて詰まっている用紙をすべて取り除きます。

* 紙詰まりを取り除いたら、**[設定]**ボタン  を押して印刷を続行します。

プリンタの紙詰まりの除去

紙詰まりはいくつかの場所で発生する可能性があります。操作パネルに表示される紙詰まりメッセージを確認することで比較的簡単に解消することができます。

紙詰まりは、プリンタ前面、プリンタ内部、プリンタ背面の 3 箇所で発生する可能性があります。プリンタ前面では、給紙オプションまたは両面印刷カセットで発生する可能性があります。プリンタ内部では、2 箇所で発生する可能性があり、詰まった紙を取り除くにはカートリッジを取り外す必要があります。また、プリンタ背面、またはオプションの排紙トレイでも発生する可能性があります。

 **メモ:** 紙詰まりの除去についての以下の説明は順不同のように見えますが、印刷経路に詰まっている用紙を簡単に取り除けるようにグループ分けされています(⇒「[紙詰まりの場所の特定](#)」)。

200/201 紙詰り、カートリッジを取り外す

1. プリンタ前面の突起を引いて多目的フィーダを下ろします。



2. リリースラッチを右に押しして上部の前面カバーを開きます。

 **警告:** プリンタ内部が高温になっている場合があります。プリンタの温度が下がるまで内部の部品には触れないでください。



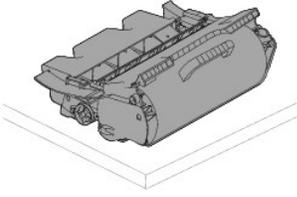
3. カートリッジを持ち上げてプリンタから引き出します。

 **注意:** カートリッジの底面にある感光体ドラムには触れないでください。カートリッジを持つ場合は、必ず取っ手を持ってください。



4. カートリッジを横に置きます。

 **メモ:** カートリッジに長時間光を当てないようにしてください。



5. 用紙を自分の方向へ引き出します。

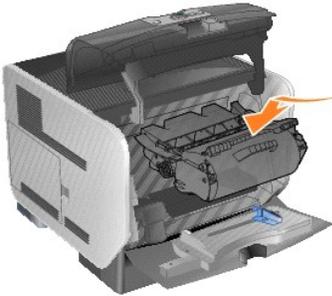
 **メモ:** 用紙にトナーがしっかりと付着していない場合があるので、衣類や肌につかないよう気をつけてください。

 **注意:** 用紙を引き出せない場合は、無理に引き出そうとしないで、プリンタの背面ドアから取り除いてください。

 **警告:** 用紙を取り除く際に先のとがったものを使用しないでください。怪我をしたりプリンタを破損させる危険性があります。



6. トナーカートリッジを取り付け部分に合わせて、セットし直します。



7. 上部の前面カバーを閉じます。



8. 多目的フィーダを閉じます。



9. [設定]ボタン  を押します。

202 紙詰り、後ろドアを開く

1. プリンタから用紙が排出されかかっている場合は、そのまま引き出して[設定]ボタン  を押します。これ以外の場合は、[手順2](#)に進みます。



2. プリンタの背面ドアを開きます。

 **警告:** プリンタ内部が高温になっている場合があります。プリンタの温度が下がるまで内部の部品には触れないでください。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

 **警告:** 用紙を取り除く際に先のとがったものを使用しないでください。怪我をしたりプリンタを破損させる危険性があります。

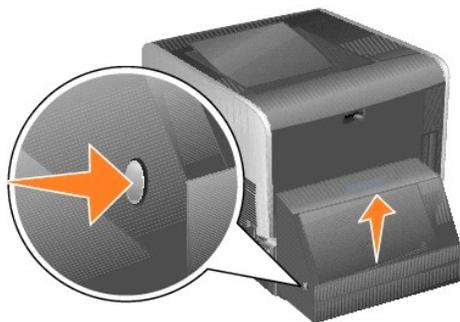


4. 背面ドアを閉じます。

5. [設定]ボタン  を押します。

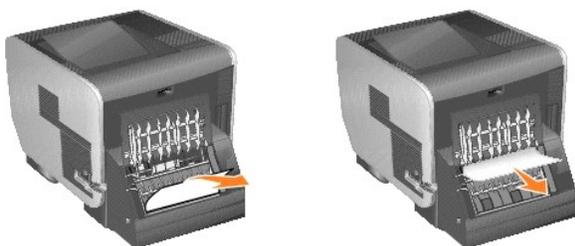
23x 紙詰り、両面後ろドアを開く

1. 両面印刷ユニットの背面ドアを開きます。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

用紙が詰まっている場所によって、上に引く場合と下に引く場合があります。



3. 両面印刷ユニットの背面ドアを閉じます。カチッと所定の位置に戻もどるまで押します。



4. **[設定]**ボタン  を押します。

23x/24x 紙詰り

この部分の紙詰まりは、カセットの斜面または複数のカセットにまたがって発生する場合があります。紙詰まりを取り除くには、以下の手順に従ってください。

1. 用紙カセットを開き、詰まっている用紙を取り除きます。



2. 両面印刷カセットを開き、用紙を引き出します。



3. オプションのカセットを上から順番に開き、詰まっている用紙を取り除きます。

用紙を上または下に引きます。用紙を簡単に引き出せない場合は、別の方向に引きます。



4. [設定]ボタン  を押します。

250 紙詰り、多目的フィーダを調べる

1. 多目的フィーダから用紙を取り除きます。



2. 用紙をほぐしたりバラバラめくったりします。



3. 用紙をセットします。



4. 側面ガイドを用紙の端に軽く当たるまでトレイの中央に向けてスライドさせます。



5. **[設定]**ボタン  を押します。

260 紙詰り、封筒フィーダを調べる

封筒フィーダでは、東の一番下にある封筒から使用されていくので、詰まっているのは一番下の封筒です。

1. 封筒押さえを持ち上げます。



2. すべての封筒を取り除きます。



封筒がプリンタに詰まって抜けない場合は、封筒フィーダごと取り外します。

- a. プリンタから封筒フィーダを持ち上げて取り外し、横に置きます。
- b. プリンタから詰まっている封筒を取り除きます。

メモ：封筒が抜けない場合は、カートリッジを取り外す必要があります。詳細については、[200/201 紙詰り、カートリッジを取り外す](#)を参照してください。

- c. 封筒フィーダを取り付けます。カチッと所定の位置に戻もどるまで押します。

3. 封筒をほぐしてから重ねます。



4. 封筒フィーダにセットします。



5. ガイドを調節します。



6. 封筒押さえを下ろします。



7. **[設定]**ボタン  を押します。

27x 紙詰り、トレイ x を調べる

排紙増量器の紙詰りを取り除くには、以下の手順に従います。

1. 用紙がトレイに排出されかかっている場合は、そのまま引き出して**[設定]**ボタン  を押します。これ以外の場合は、[手順2](#)に進みます。



2. 排紙トレイの背面ドアのラッチを中央に向けて押します。背面ドアが開いて下がります。

 **メモ:** 使用している排紙オプションが1台のみの場合、背面ドアは1つだけです。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. 排紙トレイの背面ドアを閉じ、すべてのドアがしっかり閉まっていることを確認します。

5. **[設定]**ボタン  を押します。

ライセンスに関する通知

プリンタに常駐するソフトウェアには、次のものが含まれています。

- 1 デルまたはサードパーティが開発し、著作権を所有するソフトウェア
- 1 GNU General Public License version 2 および GNU Lesser General Public License version 2.1 の条項に基づき、デルが改変したソフトウェア
- 1 BSD License and Warranty Statements に基づいて使用許諾されるソフトウェア

参照する文書のタイトルをクリックしてください。

- 1 [BSD License and Warranty Statements](#)
- 1 [GNU License](#)
- 1 [Other Third-Party Licenses \(Software\)](#)

デルが改変した GNU ライセンスソフトウェアはフリーソフトウェアです。お客様は、この使用許諾の条項に基づいて、ソフトウェアを再配布または改変することができます。この使用許諾は、このプリンタに付属する、デルまたはサードパーティが著作権を所有するソフトウェアに対するお客様のいかなる権利も保証するものではありません。

デルが改変の際に基盤として使用した GNU ライセンスソフトウェアは完全に無保証で提供されるため、デルによる改訂版も同様に無保証で提供されます。詳細については、適用される使用許諾の保証免責事項の箇所を参照してください。

デルにより改変された GNU ライセンス済みソフトウェアのソースコードファイルを手に入れるには、プリンタに付属する *Drivers and Utilities* CD を起動して、**[デルへのお問い合わせ]** をクリックするか、『オーナーズマニュアル』の「デルへのお問い合わせ」の項目を参照してください。

製品に必要なソースコードを手に入れるには、*Drivers and Utilities* CD の `\Install\licenses` フォルダを参照してください。

この製品には、Apache Software Foundation(<http://www.apache.org>)によって開発されたソフトウェアが含まれています。

ローカル印刷用ドライバのインストール方法

- [Windows](#)
- [Macintosh](#)
- [Linux/UNIX](#)

ローカルプリンタというのはコンピュータ 1 台に USB またはパラレルケーブルで接続されたプリンタのことです。プリンタが、コンピュータではなくネットワークに接続されている場合は、「[ネットワーク印刷用ドライバのインストール方法](#)」を参照してください。

プリンタドライバというのはコンピュータがプリンタと通信できるようにするプログラムです。

以下の表を使用して、お使いのオペレーティングシステムに合った手順を参照してください。

オペレーティングシステム
Windows
Macintosh
Linux/UNIX

Windows

Windows オペレーティングシステムの中には、本プリンタと互換性のあるプリンタドライバをすでに含んでいるものもあります。

 **メモ:** カスタムドライバをインストールしても、システムドライバとの置き換えは行われません。[プリンタ]フォルダにプリンタオブジェクトが別々に作成されます。

コンピュータのオペレーティングシステム	使用するケーブル
Windows XP Professional x64 Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE	USB またはパラレル
Windows NT	パラレル

プリンタソフトウェアのインストール方法

 **メモ:** Windows XP Professional x64、Windows XP Professional、Windows NT では、コンピュータにプリンタドライバをインストールするには管理者権限が必要です。

1. コンピュータの電源を入れ、*Drivers and Utilities* CD を挿入します。*Drivers and Utilities* CD が自動的に起動します。数秒かかることがあります。
CD により自動的に起動しない場合は、CD に収録されている *setup.exe* をダブルクリックしてください。
2. *Drivers and Utilities* CD の画面が表示されたら、**[個人インストール: このコンピュータのみでこのプリンタを使用するためのインストール]** をクリックします。
3. ドロップダウンボックスでプリンタを選択します。
4. **[通常インストール(推奨)]** を選択し、**[インストール]** をクリックします。
すべてのファイルがインストールされると、**[おめでとうございます!]** 画面が表示され、プリンタに接続するように要求されます。
5. **[終了]** をクリックしてから、USB ケーブルまたはパラレルケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続し、プリンタの電源を入れます。
Microsoft プラグアンドプレイによりインストールが行われ、セットアップ完了後にメッセージが表示されます。

追加のプリンタドライバのインストール方法

コンピュータに追加のプリンタドライバをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源を入れ、*Drivers and Utilities* CD を挿入します。*Drivers and Utilities* CD が表示された場合は、**[キャンセル]** をクリックします。
2. *Windows XP* の場合は、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[プリンタとその他のハードウェア]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
その他の *Windows* では、**[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。

3. [プリンタの追加]をダブルクリックします。
4. [次へ]をクリックします。
5. コンピュータに接続されているローカルプリンタを選択して[次へ]をクリックします。
6. プリンタで使用するポートを選択して[次へ]をクリックします。
7. [ディスク使用]をクリックします。
8. CD ドライブを検索して、お使いのオペレーティングシステムに合ったドライバを選択します。

 **メモ:** コンピュータにプリンタを接続する前に Drivers and Utilities CD からプリンタドライバをインストールした場合、お使いのオペレーティングシステムに対応した PCL ドライバが標準でインストールされています。

オペレーティングシステム	ドライバの種類	ドライバの名前
Windows XP Professional x64	PCL	D:\Drivers\Print\x64\dkaatb40.inf
	PS	D:\Drivers\Print\x64\dkaat940.inf
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000	PCL	D:\Drivers\Print\Win_2kXP\dkaat2da.inf
	PS	D:\Drivers\Print\Win_2kXP\dkaat1da.inf
Windows NT	PCL	D:\Drivers\Print\Win_NT.40\dkaat2da.inf
	PS	D:\Drivers\Print\Win_NT.40\dkaat1da.inf
Windows Me Windows 98 SE	PCL	D:\Drivers\Print\Win_9xme\<お使いの言語のフォルダ>\dkaat2da.inf
	PS	D:\Drivers\Print\Win_9xme\<お使いの言語のフォルダ>\dkaat1da.inf

9. [開く]、[OK]の順にクリックします。
10. [製造元]の一覧からインストールするドライバ(PCL または PS)を選択し、[プリンタ]の一覧から機種を選択して[次へ]をクリックします。
11. **プリンタの追加ウィザード**の手順に従って操作を進め、[完了]をクリックしてプリンタドライバをインストールします。

Macintosh

USB を使用して印刷するには Mac OS 9.x 以上が必要です。USB 接続のプリンタにローカル印刷するには、デスクトッププリンタアイコンを作成 (Mac OS 9)するか、「プリントセンター」/「プリンタ設定ユーティリティ」でキューを作成 (Mac OS X)します。

「プリントセンター」/「プリンタ設定ユーティリティ」でキューを作成する方法 (Mac OS X)

1. PPD(PostScript Printer Description)ファイルをコンピュータにインストールします。
 - a. Drivers and Utilities CD をセットします。
 - b. プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。

 **メモ:** PPD ファイルには、Macintosh コンピュータで使用できるプリンタ機能についての詳細情報が含まれています。

- c. 「ようこそ」画面で「続ける」をクリックし、Readme ファイルを確認してからもう一度「続ける」をクリックします。
 - d. 使用許諾契約を確認してから「続ける」をクリックし、契約条件に同意したら「同意する」をクリックします。
 - e. インストール先を選択して「続ける」をクリックします。
 - f. 「簡易インストール」画面で「インストール」をクリックします。
 - g. パスワードを入力し、「OK」をクリックします。必要なファイルがコンピュータにすべてインストールされます。
 - h. インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。
2. Finder を開き、「アプリケーション」、「ユーティリティ」の順にクリックします。
 3. 「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックします。
 4. 以下のいずれかの手順に従います。
 1. **プリンタ**の一覧に USB 接続のプリンタが表示されている場合は、「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」を終了します。プリンタのキューが作成されています。
 1. **プリンタ**の一覧に USB 接続のプリンタが表示されない場合は、USB ケーブルが正しく接続されプリンタの電源がオンになっていることを確認します。**プリンタ**の一覧に USB 接続のプリンタが表示されたら、「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」を終了します。

デスクトッププリンタアイコンを作成する方法 (Mac OS 9.x)

1. PPD(PostScript Printer Description)ファイルをコンピュータにインストールします。
 - a. Drivers and Utilities CD をセットします。
 - b. 「Classic」をダブルクリックし、プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。

 **メモ:** PPD ファイルには、Macintosh コンピュータで使用できるプリンタ機能についての詳細情報が含まれています。

- c. 使用する言語を選択し、「**続ける**」をクリックします。
 - d. Readme ファイルを確認してから、「**続ける**」をクリックします。
 - e. 使用許諾契約を確認してから「**続ける**」をクリックし、契約条件に同意したら「**同意する**」をクリックします。
 - f. 「**インストールの種類**」画面で「**インストール**」をクリックします。必要なファイルがコンピュータにすべてインストールされます。
 - g. インストールが完了したら「**閉じる**」をクリックします。
2. 以下のいずれかの手順に従います。
 - 1 Mac OS 9.0: **Apple LaserWriter** を開きます。
 - 1 Mac OS 9.1-9.x: 「**アプリケーション**」を開いて「**ユーティリティ**」をクリックします。
 3. 「**デスクトッププリンタユーティリティ**」をダブルクリックします。
 4. 「**プリンタ(USB)**」を選択し、「**OK**」をクリックします。
 5. 「**USB プリンタの選択**」セクションの「**変更**」をクリックします。

「**USB プリンタの選択**」の一覧に USB 接続のプリンタが表示されない場合は、USB ケーブルが正しく接続されプリンタの電源がオンになっていることを確認します。
 6. プリンタ名を選択し、「**OK**」をクリックします。プリンタが最初の「**プリンタ(USB)**」ウィンドウに表示されます。
 7. 「**PPD(PostScript Printer Description)ファイル**」セクションの「**自動設定**」をクリックします。このプリンタ PPD が、使用しているプリンタに対応していることを確認します。
 8. 「**作成**」をクリックしてから「**保存**」をクリックします。
 9. プリンタ名を指定して「**保存**」をクリックします。これでプリンタがデスクトッププリンタとして保存されます。

Linux/UNIX

Sun Solaris や Red Hat などの多くの UNIX および Linux プラットフォームでは、ローカル印刷がサポートされています。

プリンタドライバパッケージは *Drivers and Utilities* CD に収録されています。プリンタドライバパッケージはすべて、パラレル接続によるローカル印刷に対応しています。Sun Solaris 用のドライバパッケージは、Sun Ray 製の機器および Sun ワークステーションの USB 接続に対応しています。

インストールする前に

プリンタドライバをインストールする前に、以下の手順に従います。

1. root ユーザー権限でログオンしていることを確認します。
2. インストールに必要な十分な空きディスク領域があることを確認します。
3. 管理ユーザーグループを設定します。

プリンタドライバのインストール中に、プリンタドライバの管理ユーザーグループを変更するかどうかをたずねられます。標準の管理グループは bin です。

ホスト上に管理グループがある場合は、そのグループをプリンタドライバの管理グループとして使用することもできます。管理者以外のユーザーは、プリンタキューを追加または削除することはできません。

4. プリンタドライバパッケージのインストール先を決定します。

プリンタドライバパッケージは、さまざまな構成でインストールできます。具体的には以下のものにインストールできます。

- 1 プリンタドライバを実行する各ワークステーション
- 1 1 台のホスト。その他のワークステーションは、プリンタドライバパッケージファイルを NFS マウントすることができます。詳細については、「プリンタドライバの NFS マウント」を参照してください。

サポートしているオペレーティングシステム

使用している Linux が以下のいずれかであり、入手可能な最新のパッチを適用済みであることを確認してください。

- 1 Debian GNU/Linux
- 1 Linspire Linux
- 1 RedHat Linux

Linux システム要件

プリンタドライバを Linux にインストールするには、/usr/local に 70MB の空き容量が必要です。

RedHat Linux または SuSE Linux へのインストール

1. [インストールする前に](#)を参照してください。
2. CD をマウントします。
3. パッケージファイルのあるディレクトリに移動します。CD を /mnt/cdrom にマウントした場合は、以下のコマンドを実行します。

```
# cd /mnt/cdrom/unix/packages
```

4. 以下のコマンドを実行して、パッケージファイルをインストールします。

```
# rpm -ivh print-drivers-linux-glibc2-x86.rpm
```

5. 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/local/dell/setup.dellprint
```

 **メモ:** 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。プリンタ CD またはホームページを確認して、利用可能なドライバプラグインがあるかどうか確認してください。

Linspire または Debian GNU/Linux へのインストール

1. [インストールする前に](#)を参照してください。
2. CD をマウントします。
3. パッケージファイルのあるディレクトリに移動します。CD を /mnt/cdrom にマウントした場合は、以下のコマンドを実行します。

```
# cd /mnt/cdrom/unix/packages
```

4. 以下のコマンドを実行して、パッケージファイルをインストールします。

```
# deb -i print-drivers-linux-glibc2-x86.deb
```

5. 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/local/dell/setup.dellprint
```

 **メモ:** 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。プリンタ CD またはホームページを確認して、利用可能なドライバプラグインがあるかどうか確認してください。

Sun Solaris SPARC へのインストール

1. NONABI_SCRIPTS 環境変数を TRUE に設定します。
2. パッケージファイルをインストールします。
 - a. 以下のコマンドを入力して Enter キーを押し、Volume Manager を起動しているかどうかを確認します。

```
# ps -ef | grep vold
```

応答があった場合は、vold プロセスが実行されているので、Volume Manager は起動しています。この場合、CD は自動的にマウントされます。以下のコマンドを入力して、パッケージインストールプログラムを起動します。

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/unix/packages/ print-drivers-solaris2-sparc.pkg
```

応答がない場合は、Volume Manager が起動していません。

- o /cdrom ディレクトリが存在することを確認してください。

- o CD をマウントします。たとえば、CD-ROM ドライブへのバスが /dev/dsk/c0t6d0s2 の場合は、以下のコマンドを入力します。

```
# mount -F hsfs -o ro /dev/dsk/c0t6d0s2 /cdrom
```

- o 以下のコマンドを入力して、パッケージインストールプログラムを起動します。

```
# pkgadd -d /cdrom/unix/packages/print-drivers-solaris2-sparc.pkg
```

- b. 画面の指示に従って操作を続けます。

3. 使用可能なパッケージの一覧が表示されます。

すべてのパッケージをインストールするには、「all」と入力して Enter キーを押します。

個別にインストールする場合は、各パッケージの番号をカンマで区切って入力し、Enter キーを押します。たとえば、「1,2,3」のように入力します。

4. プロンプトに表示される指示に従い、画面に表示されるすべての質問に回答します。
 - a. 標準設定を選択する場合は、Enter キーを押します。
 - b. Yes または No で回答する質問には、「y」、「n」、「?」のいずれかを入力して Enter キーを押します。
 - c. インストールに成功したことを示すメッセージが表示されたら、「q」を入力して終了します。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバの削除は、以下の表に示されているユーティリティを使用してシステム管理者が行います。

プリンタドライバパッケージの削除方法は、使用しているオペレーティングシステムによって異なり、プログラムを起動したあとに削除するプリンタドライバパッケージを指定するか、削除するプリンタドライバパッケージ名をコマンドラインで入力します。詳細については、オペレーティングシステムの説明書類を参照してください。

オペレーティングシステム	パッケージ削除ツール
RedHat Linux および SuSE Linux	rpm -e
Linspire Linux および Debian GNU/Linux	dpkg -r

残っているディレクトリの削除

パッケージ削除ユーティリティは、通常、複数のパッケージで共有されているディレクトリを削除しません。すべてのプリンタドライバパッケージを削除したあとに、いくつかのディレクトリを手動で削除する必要があります。

すべてのパッケージを削除したあとにディレクトリが残っているかどうかを調べるには、プリンタドライバをインストールしたディレクトリを確認してください。標準では、プリンタドライバは以下のディレクトリにインストールされます。

/usr/local/dell/unix_prt_drivers

プリンタのメンテナンス

- [プリンタの移動](#)
- [プリンタ消耗品の管理](#)
- [トナーカートリッジの交換](#)
- [メンテナンスキット部品の交換](#)

最高の印刷品質を維持するために、定期的に行わなければならない作業があります。この章では、これらの作業について説明します。

複数のユーザーでプリンタを使用する場合、プリンタのセットアップやメンテナンスを行う責任者を定めることをお勧めします。印刷に関する問題とメンテナンス作業については、この責任者に問い合わせください。

地域を担当する消耗品の正規代理店については、プリンタの購入元に問い合わせください。

プリンタの移動

オフィス内でプリンタを移動する場合、あるいはプリンタの搬送準備を行う場合は、以下のガイドラインに従ってください。

⚠ 警告： けがやプリンタの破損を避けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- 1 プリンタを持ち上げる場合は、常に少なくとも 2 人で作業を行ってください。



- 1 プリンタの電源をオフにする場合は、必ず電源スイッチを使用してください。
- 1 プリンタを移動する前に、すべてのコードとケーブルをプリンタから抜いてください。
- 1 プリンタを適切に梱包して搬送しなかった場合は、プリンタが破損しても保証が適用されません。
- 1 不適切な方法で移動してプリンタが破損した場合は、プリンタの保証が適用されません。

オフィス内でのプリンタの移動

オフィス内でプリンタを安全に移動するには、以下の注意事項を遵守してください。

- 1 プリンタは直立した状態に保ちます。
- 1 台車などを使用する場合は、プリンタの底面全体が収まる十分な大きさの台車を使用してください。
- 1 移動中に激しい振動を加えるとプリンタが破損する可能性があるため、慎重に扱ってください。

プリンタの搬送準備

プリンタの搬送に自家用車を使用する場合でも、運送会社に依頼する場合でも、適切な梱包材を使用してプリンタを梱包する必要があります。プリンタは、台の上にとっかかりと固定する必要があります。

どのような搬送方法でも、プリンタは必ず台の上に固定してください。搬送時は、プリンタを直立の状態に保つ必要があります。購入時の梱包材がすべて揃っていない場合は、地域のサービス担当者に連絡して、再梱包キットを注文してください。再梱包キットには、プリンタの梱包手順を説明する資料も入っています。

プリンタ消耗品の管理

消耗品の注文

消耗品を注文するには、デルのホームページ www.dell.com/supplies にアクセスしてください。

消耗品	注文時期	参照
カートリッジ	<ul style="list-style-type: none"> 1 操作パネルに「88 トナー残少」と表示されたとき。 1 印刷がかすれたとき。 	トナーカートリッジの交換
メンテナンスキット メンテナンスキットには、チャージロール、転写ローラー、ピックアップローラー、およびフューザの交換に必要な部品がすべて含まれています。 メモ: フューザの交換は、資格を持つサービス技術者が行う必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 1 操作パネルに、「80 定期保守が推奨される時期です」と表示されたとき。 1 印刷ページにトナーフォグや背景のシェーディングが出たとき。 1 約 300,000 ページを印刷したあと。 	メンテナンスキット部品の交換
チャージロール	印刷ページにトナーフォグや背景のシェーディングが出たとき、または約 300,000 ページを印刷したあと。	チャージロールの交換
転写ローラー	印刷ページにトナーフォグや背景のシェーディングが出たとき、または約 300,000 ページを印刷したあと。	転写ローラーの交換
ピックアップローラー メモ: ピックアップローラーを注文する際は、多目的フィードを除く給紙カセット 1 つに対して、1 セットのローラーが必要になります。	カセットから正常に給紙できなかったとき。	ピックアップローラーの交換

消耗品の保管

プリンタ消耗品は、清潔で涼しい場所に保管してください。消耗品は、使用する時まで、梱包の右側を上にして保管してください。

消耗品は、以下の場所に保管しないでください。

- 1 直射日光が当たる場所
- 1 室温が 35°C (95°F) 以上の場所
- 1 湿度が高い場所 (80% 以上)
- 1 潮風の当たる場所
- 1 有害ガスにさらされる場所
- 1 ほこりが多い場所

消耗品の節約

アプリケーションソフトウェアの設定やディスプレイの設定によって、トナーや用紙を節約できます。これらの設定の変更については、「[操作パネルのメニューについて](#)」を参照してください。

消耗品	メニューの選択項目	設定の効果
トナー	[設定]→[品質]メニューの[トナーの濃さ]	1 枚の印刷用紙に使用するトナーの量を調整します。値は 1 (最も薄い) ~ 10 (最も濃い) の範囲で設定します。 メモ: トナーの残量が少ない場合は、カートリッジをよく振って、残っているトナーの偏りをなくします (⇒「 トナーカートリッジの交換 」)。
印刷用紙	[設定]→[仕上げ]メニューの[複数ページ印刷]	1 枚の用紙の片面に複数のページを印刷します。[複数ページ印刷]の値は、[2 ページ]、[3 ページ]、[4 ページ]、[6 ページ]、[9 ページ]、[12 ページ]、[16 ページ]です。両面印刷の設定で[複数ページ印刷]を行うと、1 枚の用紙に最大 32 ページを印刷できます (表に 16 ページ、裏に 16 ページ)。
	[設定]→[仕上げ]メニューの[両面印刷]	オプションの両面印刷ユニットを取り付けると、両面印刷を実行できます。この機能では、用紙の両面に印刷します。
	ソフトウェアアプリケーションまたはプリンタドライバを使用して、 確認印刷 ジョブを送信します。	複数の部数を印刷する場合、1 部を印刷して結果を確認することで、印刷結果に問題がないことを確認してから残りの部数を印刷できます。印刷結果に問題がある場合は、印刷ジョブをキャンセルできます。 確認印刷 ジョブの詳細については、「 保持されたジョブの印刷と削除 」を参照してください。

トナーカートリッジの交換

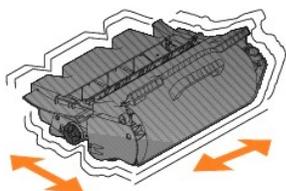
トナーの残量が減少すると、プリンタの操作パネルに警告が表示されます。このメッセージが表示されてから少しの間は印刷を続けることができますが、トナー残量が減少するため印刷品質は低下し始めます。

プリンタが印刷状態やビジー状態になっていない場合は、操作パネルでプリンタのトナー残量を表示できます。

トナー残量を表示するには

1. [状況/消耗品]の横に▶が表示されるまで下矢印ボタン▼を押してから、[設定]ボタンⓈを押します。
2. [消耗品を表示]の横に▶が表示されるまで下矢印ボタン▼を押してから、[設定]ボタンⓈを押します。

[トナー残少]のランプのパターンが点灯したり、印刷の色が薄くなり始めたら、トナーカートリッジを取り出します。カートリッジを前後左右によく振ってトナーの偏りをなくしてから、プリンタにセットしなおして印刷を続けます。



印刷の色が薄い状態が続くようになるまで、この手順を何度か繰り返します。印刷の色が薄い状態が続くようになったら、トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジを交換するには

1. プリンタ前面の突起を引いて多目的フィーダを下ろします。



2. リリースラッチを右に押して上部の前面カバーを開きます。

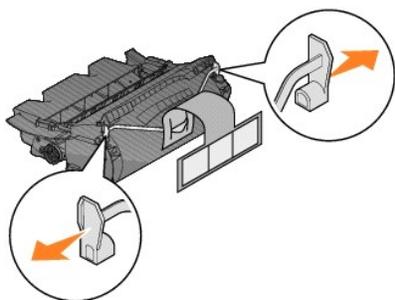


3. カートリッジを持ち上げてプリンタから引き出します。

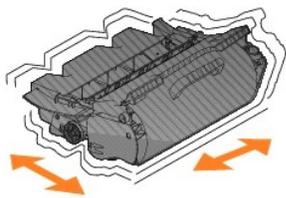


⚠ 警告: トナーカートリッジの交換の際には、新しいカートリッジを長時間直接光にさらさないようにしてください。長時間の露光は印刷品質の劣化の原因になります。

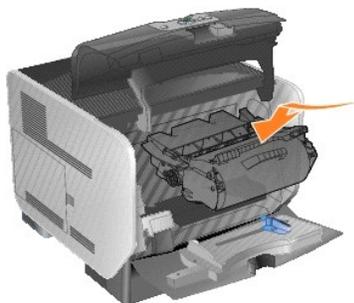
4. 新しいトナーカートリッジを包装から取り出します。カートリッジの保護用に取り付けられているスポンジ、赤いプラスチック製ストラップ、テープを外します。



5. カートリッジを前後左右によく振ってトナーの偏りをなくします。



6. カートリッジをプリンタに挿入します。



7. 上部の前面カバーを閉じます。



8. 多目的フィーダを閉じます。



メンテナンスキット部品の交換

チャージロールの交換

印刷ページにトナーフォグや背景のシェーディングが出たときは、新しいチャージロールキットを注文してください。

1. プリンタの電源をオフにして、プリンタの電源コードを抜きます。
2. プリンタ前面の突起を引いて多目的フィーダを下ろします。



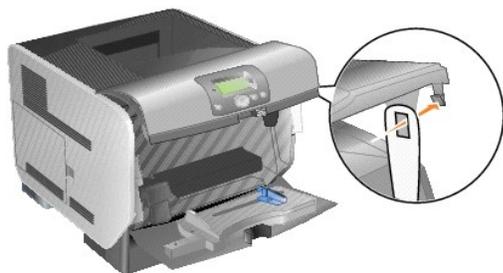
3. リリースラッチを右に押して上部の前面カバーを開きます。



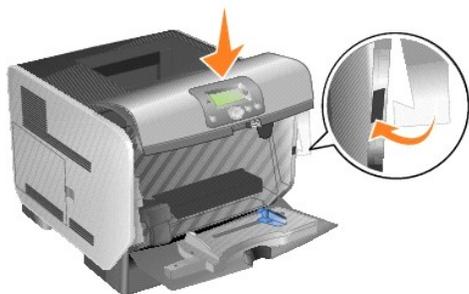
4. カートリッジを持ち上げてプリンタから引き出します。



5. プリンタのフックにダンボール紙のカバー固定具を取り付けます。

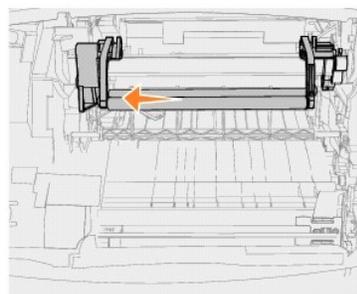


6. ダンボール紙のカバー固定具の下部にあるフックをプリンタのスロットに差し込みます。これを行うには、上部の前面カバーを引き下げる必要があります。

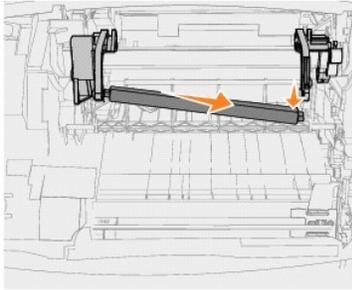


7. カートリッジの上部にあるチャージロールを見つけます。

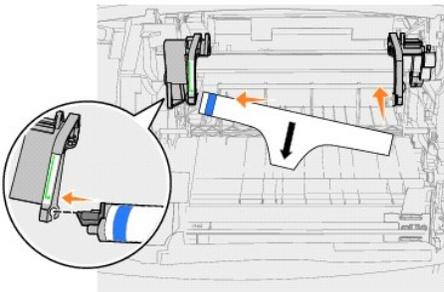
8. チャージロールが右側から外れるまで、チャージロールを左側に引きます。



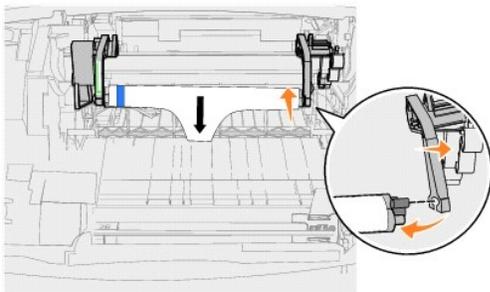
9. チャージロールを右側に引いて、プリンタから外します。



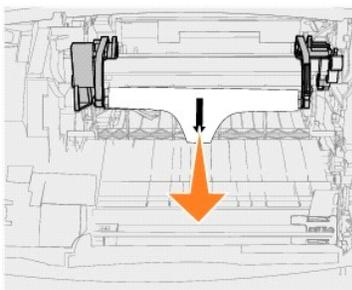
10. チャージロールの左側にある青いタブと、アーム内にある青い矢印が付いた穴を合わせて、タブを差し込みます。チャージロールを左側に引きます。



11. チャージロールの右側を押して、プリンタの穴に差し込みます。



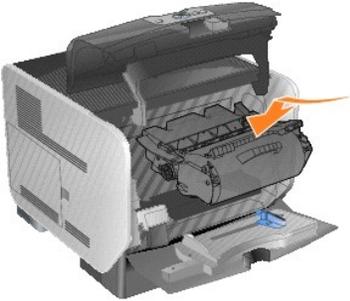
12. チャージロールから梱包材を取り除きます。



13. ダンボール紙のカバー固定具を外します。



14. カートリッジをプリンタに再び取り付けます。



15. 上部の前面カバーを閉じます。



16. 多目的フィーダを閉じます。



17. プリンタの電源コードを正しく接地されたコンセントに差し込みます。

転写ローラーの交換

印刷が薄くなったり、印刷ページにトナーフォグや背景のシェーディングが出たりしたときは、新しい転写ローラーを注文してください。

1. プリンタの電源をオフにして、プリンタの電源コードを抜きます。
2. プリンタ前面の突起を引いて多目的フィーダを下ろします。



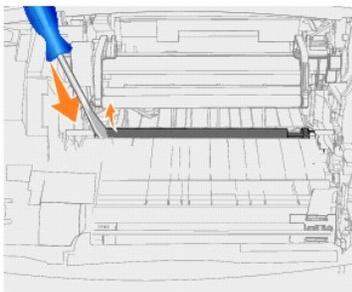
3. リリースラッチを右に押し、上部の前面カバーを開きます。



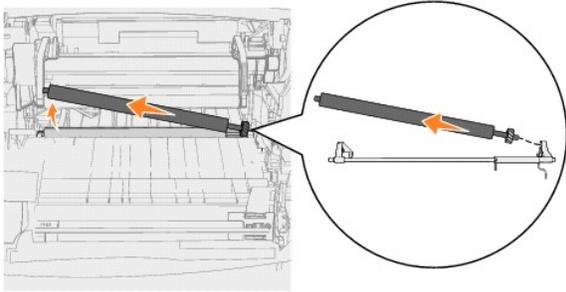
4. カートリッジを持ち上げてプリンタから引き出します。



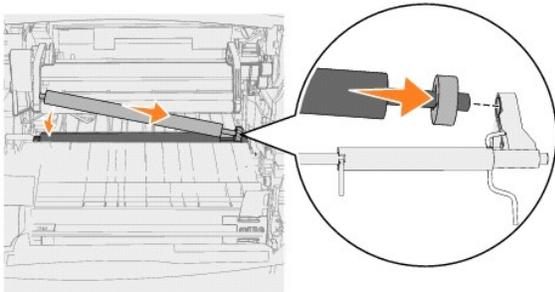
5. プリンタ内部の底面にある転写ローラーを見つけます。
6. スロットから転写ローラーの左側を引き上げて外します(小さな工具を使用してください)。



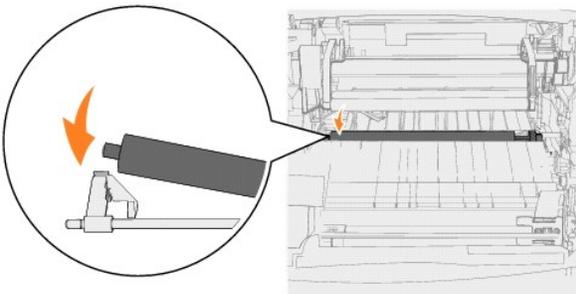
7. 転写ローラーを引き上げて、プリンタから外します。ローラーを横に置きます。



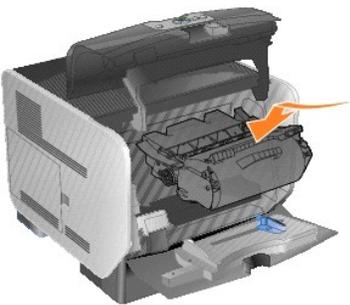
8. 新しい転写ローラーから梱包材を取り除きます。
9. プリンタの右側にある小さな穴を見つけて、この穴に転写ローラーの右側にある金属製のタブを挿入します。



10. 左側の金属製タブがスロットに入るまで、転写ローラーを慎重に下げていきます。ローラーを押し下げて、完全にはめ込みます。



11. カートリッジをプリンタに再び取り付けます。



12. 上部の前面カバーを閉じます。



13. 多目的フィーダを閉じます。



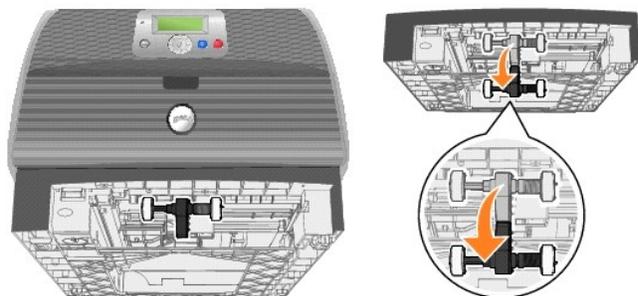
14. プリンタの電源コードを正しく接地されたコンセントに差し込みます。

ピックローラーの交換

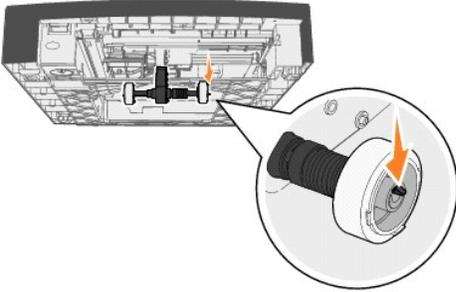
1. 標準カセットを取り外します。



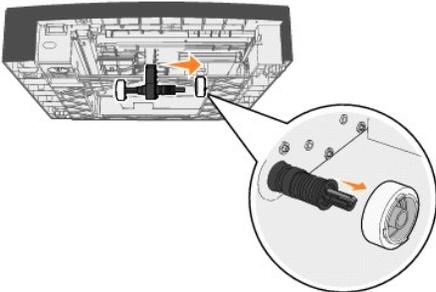
2. プリンタの底面にあるピックローラーのアームを見つけ、このアームを引き下げます。



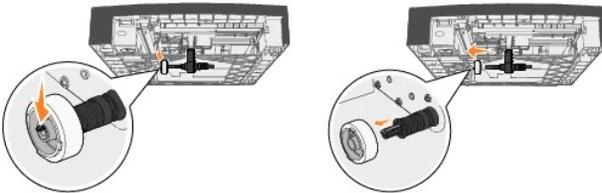
3. タブの端を押します。



4. ピックローラーをアームから外します。



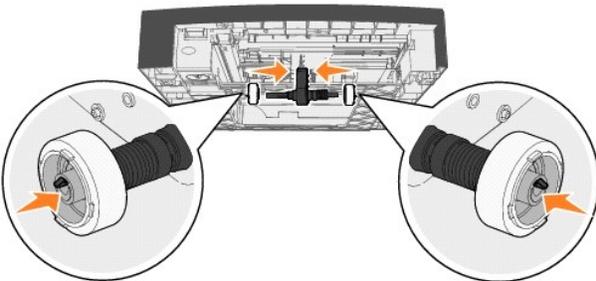
5. [手順3](#)と[手順4](#)を繰り返して、もう一方のピックアップローラーを取り外します。



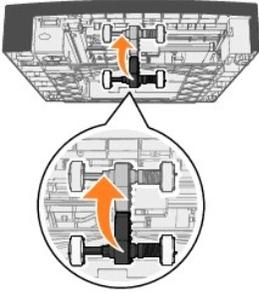
6. ピックローラーのアームを慎重に元の位置に戻します。
7. 使用済みのピックアップローラーは廃棄します。
8. 2つのピックアップローラーを梱包から取り出します。
9. ピックローラーのアームを引き下げます。
10. ピックローラーに刻まれた溝を見つけて、アームのタブと位置を合わせます。

メモ: それぞれのピックアップローラーに2つの矢印があります。溝とタブの位置を合わせるときに、下矢印が自分の方に向くようにしてください。

11. タブと位置を合わせた状態で、アームにピックアップローラーを押し込みます。



12. [手順10](#)と[手順11](#)を繰り返して、もう一方のピックアップローラーを取り付けます。
13. ピックローラーのアームを慎重に元の位置に戻します。



14. 標準カセットを挿入します。



用紙のガイドラインについて

- [サポートされる印刷用紙](#)
- [印刷用紙の選択](#)
- [印刷用紙の保管](#)
- [紙詰まりの回避](#)

印刷用紙には、紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル、封筒があります。このプリンタでは、さまざまな印刷用紙に高品質の印刷ができます。印刷の前には、印刷用紙に関するいくつかの注意事項を考慮する必要があります。この章では、印刷用紙の選択に役立つ情報を提供します。

特殊な用紙を大量に購入する前に、何枚かのサンプルに試し印刷を行ってみることをお勧めします。

サポートされる印刷用紙

以下の表に、給紙用および排紙用のカセットやトレイに対応する、標準およびオプションの給紙源について説明します。

印刷用紙の種類
印刷用紙のサイズ
印刷用紙の重量

 **メモ:** 表に記載されていない印刷用紙のサイズを使用する場合は、次に大きなサイズの欄を参照してください。

印刷用紙の種類

給紙/排紙用のカセット/トレイ	用紙	厚紙	OHP フィルム	ラベル(ビニール、紙、ポリエステル、デュアルウェブ、または統合)
標準 500 枚カセット	✓	✓	✓	✓
標準排紙トレイ	✓	✓	✓	✓
オプションの 250 枚ドロワー	✓	✓	✓	✓
オプションの 500 枚ドロワー	✓	✓	✓	✓
オプションの排紙増量器	✓	✓	✓	✓
多目的フィーダ	✓	✓	✓	
オプションの両面印刷ユニット	✓	✓		
オプションの封筒フィーダ				

印刷用紙のサイズ

給紙/排紙用のカセット/トレイ	用紙サイズ	
標準 500 枚カセット	A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)
	A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)
	JIS B5	182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)
	レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)
	リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)
	エグゼクティブ	184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)
	フォリオ ¹	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)
	ステートメント ¹	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)
	ユニバーサル ²	140 x 210 mm ~ 216 x 356 mm(5.5 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)
		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)
148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)		
標準排紙トレイ	A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)
	A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)

	JIS B5	182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)	
	レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)	
	リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)	
	エグゼクティブ	184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)	
	フォリオ ¹	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)	
	ステートメント ¹	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)	
	ユニバーサル ²	140 x 210 mm ~ 216 x 356 mm(5.5 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
		70 x 127 mm ~ 216 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)	
		148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
	7 ¾ 封筒	98 x 191 mm(3.875 x 7.5 インチ)	
	9 封筒	98 x 225 mm(3.875 x 7.5 インチ)	
	10 封筒	105 x 241 mm(4.12 x 9.5 インチ)	
	DL 封筒	110 x 220 mm(4.33 x 8.66 インチ)	
	B5 封筒	176 x 250 mm(6.93 x 9.84 インチ)	
	C5 封筒	162 x 229 mm(6.38 x 9.01 インチ)	
	他の封筒 ¹	98 x 162 mm ~ 176 x 250 mm(3.87 x 6.38 インチ ~ 6.93 x 9.84 インチ)	
		98 x 162 mm ~ 229 x 342 mm(3.87 x 6.38 インチ ~ 9.01 x 12.76 インチ)	
多目的フィーダ	A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)	
	A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)	
	JIS B5	182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)	
	レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)	
	リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)	
	エグゼクティブ	184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)	
	フォリオ ¹	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)	
	ステートメント ¹	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)	
	ユニバーサル ²	140 x 210 mm ~ 216 x 356 mm(5.5 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
		70 x 127 mm ~ 216 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)	
		148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
		7 ¾ 封筒	98 x 191 mm(3.875 x 7.5 インチ)
		9 封筒	98 x 225 mm(3.875 x 7.5 インチ)
		10 封筒	105 x 241 mm(4.12 x 9.5 インチ)
	オプションの両面印刷ユニット	A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)
		A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)
JIS B5		182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)	
レター		216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)	
リーガル		216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)	
エグゼクティブ		184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)	
フォリオ ¹		216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)	
ユニバーサル ²		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)	
		148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	
オプションの 250 枚ドロー		A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)
		A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)
		JIS B5	182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)
		レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)
		リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)
		エグゼクティブ	184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)
		フォリオ ¹	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)
		ステートメント ¹	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)
	ユニバーサル ²	140 x 210 mm ~ 216 x 356 mm(5.5 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	

		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)
		148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)
オプションの 500 枚ドロワー	A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)
	A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)
	JIS B5	182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)
	レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)
	リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)
	エグゼクティブ	184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)
	フォリオ ¹	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)
	ステートメント ¹	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)
	ユニバーサル ²	140 x 210 mm ~ 216 x 356 mm(5.5 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)
		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)
148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)		
オプションの封筒フィーダ	7 ¾ 封筒	98 x 191 mm(3.875 x 7.5 インチ)
	9 封筒	98 x 225 mm(3.875 x 7.5 インチ)
	10 封筒	105 x 241 mm(4.12 x 9.5 インチ)
	DL 封筒	110 x 220 mm(4.33 x 8.66 インチ)
	B5 封筒	176 x 250 mm(6.93 x 9.84 インチ)
	C5 封筒	162 x 229 mm(6.38 x 9.01 インチ)
	他の封筒 ¹	98 x 162 mm ~ 176 x 250 mm(3.87 x 6.38 インチ ~ 6.93 x 9.84 インチ)
		98 x 162 mm ~ 229 x 342 mm(3.87 x 6.38 インチ ~ 9.01 x 12.76 インチ)
オプションの排紙増量器	A4	210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)
	A5	148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)
	JIS B5	182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)
	レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)
	リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)
	エグゼクティブ	184 x 267 mm(7.25 x 10.5 インチ)
	フォリオ ¹	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)
	ステートメント ¹	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)
	ユニバーサル ²	140 x 210 mm ~ 216 x 356 mm(5.5 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)
		70 x 127 mm ~ 216 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)
		70 x 127 mm ~ 229 x 356 mm(2.75 x 5 インチ ~ 9.01 x 14 インチ)
		148 x 182 mm ~ 216 x 356 mm(5.83 x 7.17 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)
	7 ¾ 封筒	98 x 191 mm(3.875 x 7.5 インチ)
	9 封筒	98 x 225 mm(3.875 x 7.5 インチ)
	10 封筒	105 x 241 mm(4.12 x 9.5 インチ)
	DL 封筒	110 x 220 mm(4.33 x 8.66 インチ)
	B5 封筒	176 x 250 mm(6.93 x 9.84 インチ)
	C5 封筒	162 x 229 mm(6.38 x 9.01 インチ)
	他の封筒 ¹	98 x 162 mm ~ 176 x 250 mm(3.87 x 6.38 インチ ~ 6.93 x 9.84 インチ)
		98 x 162 mm ~ 229 x 342 mm(3.87 x 6.38 インチ ~ 9.01 x 12.76 インチ)
¹ このサイズが[用紙サイズ]メニューに表示されるのは、[カセットサイズ検出]をオフにした場合のみです。		
² ソフトウェアアプリケーションでサイズを指定しない限り、215.9 x 355.6 mm(8.5 x 14 インチ)になります。		

印刷用紙の重量

印刷用紙	種類	印刷用紙の重量			
		標準カセット オプションの 500 枚ドロワー	オプションの 250 枚ドロワー 多目的フィーダ	封筒フィーダ	オプションの排紙増量器
用紙	ゼログラフィ紙または業務用紙	60 ~ 176 g/m2 縦目 (16 ~ 47 lb bond)	60 ~ 135 g/m2 縦目 (16 ~ 36 lb bond)	なし	60 ~ 176 g/m2 (16 ~ 47 lb bond)
厚紙 - 最大(縦目) ¹	インデックスカード	163 g/m2(90 lb)	120 g/m2(67 lb)	なし	163 g/m2(90 lb)
	タグ	163 g/m2(100 lb)	120 g/m2(74 lb)		163 g/m2(100 lb)
	カバー	176 g/m2(65 lb)	135 g/m2(50 lb)		176 g/m2(65 lb)
厚紙 - 最大(横目) ¹	インデックスカード	199 g/m2(110 lb)	163 g/m2(90 lb)	なし	199 g/m2(110 lb)
	タグ	203 g/m2(125 lb)	163 g/m2(100 lb)		203 g/m2(125 lb)

	カバー	216 g/m ² (80 lb)	176 g/m ² (65 lb)		216 g/m ² (80 lb)
OHP フィルム	レーザープリンタ	138 ~ 146 g/m ² (37 ~ 39 lb bond)	138 ~ 146 g/m ² (37 ~ 39 lb bond)	なし	138 ~ 146 g/m ² (37 ~ 39 lb bond)
ラベル - 最大	用紙	180 g/m ² (48 lb bond)	163 g/m ² (43 lb bond)	なし	180 g/m ² (48 lb bond)
	デュアルウェブ用紙	180 g/m ² (48 lb bond)	163 g/m ² (43 lb bond)		180 g/m ² (48 lb bond)
	ポリエステル	220 g/m ² (59 lb bond)	220 g/m ² (59 lb bond)		220 g/m ² (59 lb bond)
	ビニール	300 g/m ² (92 lb liner)	260 g/m ² (78 lb liner)		300 g/m ² (92 lb liner)
統合フォーム	感圧領域(最初にプリンタに入れる必要があります)	140 ~ 175 g/m ²	140 ~ 175 g/m ²	なし	140 ~ 175 g/m ² (最大 47 lb bond)
	用紙ベース(縦目)	75 ~ 135 g/m ² (20 ~ 36 lb bond)	75 ~ 135 g/m ² (20 ~ 36 lb bond)		75 ~ 135 g/m ² (20 ~ 36 lb bond)
綿 100% 封筒、最大重量 - 24 lb	亜硫酸塩剤、木材不使用、または 100% までの綿結合剤	非推奨	60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 lb bond)2, 3	60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 lb bond)3	60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 lb bond)
¹ 135 g/m ² を超える用紙の場合、横目をお勧めします。 ² 多目的フィーダから給紙した封筒のみを含みます。 ³ 28 lb bond の封筒は、綿含有率 25% までに限られます。					

印刷用紙の選択

プリンタに適切な印刷用紙を選択することで、印刷に関する問題を予防できます。これ以降では、プリンタに適切な印刷用紙を選択するためのガイドラインについて説明します。

用紙

最高の印刷品質を得るには、縦目の 75 g/m²(20 lb)ゼログラフィ紙を使用します。大量に用紙を購入する前に、購入を検討している用紙のサンプルで試し印刷を行ってください。

用紙をセットするときは、用紙の印刷面を確認し、適切な向きでセットします。カセットのセット手順については、[標準カセットとオプションカセットのセット](#)、または[多目的フィーダのセット](#)を参照してください。

用紙の特性

これ以降で説明する用紙の特性は、印刷品質や信頼性に影響します。新しい用紙を評価するときは、これらのガイドラインに従うことをお勧めします。

レーザープリンタによる印刷では、用紙が 230°C(446°F)の高温にさらされます。MICR(Magnetic Ink Character Recognition)アプリケーションと非 MICR アプリケーションでは、この温度に耐える用紙のみを使用してください。用紙が高温に弱い場合、色落ち、インクのはれ、危険物質の放射などが発生する可能性があります。選択した用紙がレーザープリンタで使用できるかどうかを確認するには、製紙メーカーや販売会社にお問い合わせください。

用紙の重量

プリンタで用紙を自動的に給紙する場合、統合フォームやオプションの 500 枚カセットでは、60 ~ 176 g/m²(16 ~ 47 lb bond)縦目の用紙を使用できます。また、多目的フィーダやオプションの 250 枚カセットでは、60 ~ 135 g/m²(16 ~ 36 lb bond)縦目の用紙を使用できます。60 g/m²(16 lb)よりも軽い用紙の場合、給紙に適した十分な硬さがないので、紙詰まりの原因になります。最高の品質で印刷するには、75 g/m²(20 lb bond)縦目の用紙を使用してください。182 x 257 mm(7.2 x 10.1 インチ)よりも小さい用紙を使用する場合は、重量が 90 g/m²(24 lb bond)以上であることを確認してください。

使用できない用紙

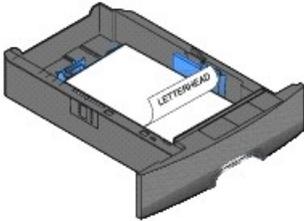
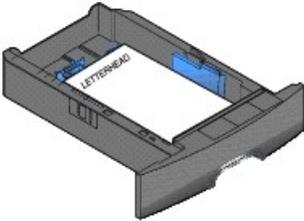
以下の用紙は、このプリンタには適していません。

- 1 一部の化学加工紙。これらは、ノンカーボン紙、CCP(carbonless copy paper)紙、NCR(no carbon required)紙など、カーボン紙を使用しないでコピーを作成するための用紙です。
- 1 化学インクを使用したプレプリント紙。これらの紙は、プリンタを汚染する可能性があります。
- 1 プリンタフューザの高温で影響を受ける可能性があるプレプリント紙
- 1 ±0.09 インチよりも高い精度で位置合わせをする必要があるプレプリント紙(OCR(optical character recognition)フォームなど)
環境によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整して、これらのフォームへの印刷を正常に実行できます。
- 1 コート紙(消去可能なボンド)、合成紙、感熱紙
- 1 端が切り揃えられていない用紙、素材と表面が粗い紙、丸まっている紙
- 1 DIN 19 309 の基準を満たさない 25% 以上の廃棄物質を含むリサイクル紙
- 1 重量が 60 g/m²(16 lb)未満のリサイクル紙
- 1 マルチパートフォームまたはドキュメント

レターヘッド

最高の印刷品質を得るには、縦目の 75 g/m²(20 lb)ゼログラフィ紙を使用します。大量に用紙を購入する前に、購入を検討している用紙のサンプルで試し印刷を行ってください。

レターヘッド紙をセットするときは、用紙の印刷面を確認し、適切な向きでセットします。

	片面印刷	両面印刷
用紙カセットにセットする場合		
多目的フィーダにセットする場合		

用紙の特性

これ以降で説明する用紙の特性は、印刷品質や信頼性に影響します。新しい用紙を評価するときは、これらのガイドラインに従うことをお勧めします。

レーザープリンタによる印刷では、用紙が 230°C(446°F)の高温にさらされます。MICR(Magnetic Ink Character Recognition)アプリケーションと非 MICR アプリケーションでは、この温度に耐えるレターヘッド紙のみを使用してください。用紙が高温に弱い場合、色落ち、インクのたれ、危険物質の放射などが発生する可能性があります。選択した用紙がレーザープリンタで使用できるかどうかを確認するには、製紙メーカーや販売会社にお問い合わせください。

用紙の重量

プリンタで用紙を自動的に給紙する場合、統合フォームやオプションの 500 枚カセットでは、60 ~ 176 g/m²(16 ~ 47 lb bond)縦目の用紙を使用できます。また、多目的フィーダやオプションの 250 枚カセットでは、60 ~ 135 g/m²(16 ~ 36 lb bond)縦目の用紙を使用できます。60 g/m²(16 lb)よりも軽い用紙の場合、給紙に適した十分な硬さがないので、紙詰まりの原因になりま

す。最高の品質で印刷するには、75 g/m²(20 lb bond) 縦目の用紙を使用してください。182 x 257 mm(7.2 x 10.1 インチ)よりも小さい用紙を使用する場合は、重量が 90 g/m²(24 lb bond) 以上であることを確認してください。

使用できない用紙

以下の用紙は、このプリンタには適していません。

- 1 化学インクを使用したプレプリント紙。これらの紙は、プリンタを汚染する可能性があります。
- 1 プリンタフューザの高温で影響を受ける可能性があるプレプリント紙
- 1 ±0.09 インチよりも高い精度で位置合わせする必要があるプレプリント紙(OCR(optical character recognition)フォームなど)
環境によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整して、これらのフォームへの印刷を正常に実行できます。
- 1 コート紙(消去可能なボンド)、合成紙、感熱紙
- 1 端が切り揃えられていない用紙、素材と表面が粗い紙、丸まっている紙
- 1 DIN 19 309 の基準を満たさない 25% 以上の廃棄物質を含むリサイクル紙
- 1 重量が 60 g/m²(16 lb)未満のリサイクル紙

OHP フィルム

OHP フィルムは、標準カセット、オプションの 250/500 枚カセット、あるいは多目的フィーダから給紙できます。大量に OHP フィルムを購入する前に、購入を検討している OHP フィルムのサンプルで試し印刷を行ってください。

OHP フィルムに印刷する場合:

- 1 プリンタの破損を防ぐため、プリンタドライバで[用紙の種類]が[OHP フィルム]になっていることを確認してください。
- 1 Macintosh から印刷する場合は、「印刷部数と印刷ページ」ポップアップメニューの「イメージング選択」で「プリント」ダイアログを表示し、「用紙の種類」が「OHP フィルム」になっていることを確認してください。
- 1 レーザープリンタ専用の OHP フィルムを使用してください。OHP フィルムは、230°C(446°F)の高温に耐える必要があります。高温に弱い場合、溶解、色落ち、印刷面のずれ、または危険物質の放射が発生する可能性があります。
- 1 印刷品質に関する問題を防止するため、OHP フィルムに指紋を付けないようにしてください。
- 1 フィルム同士が貼り付かないようにバラバラとめくってから OHP フィルムをセットしてください。

OHP フィルムの選択

このプリンタは、レーザープリンタ用の OHP フィルムに直接印刷できます。印刷品質と耐久性は、使用する OHP フィルムによって異なります。大量に購入する前に、必ず使用する OHP フィルムで試し印刷を行ってください。

紙詰まりを防ぐために、[用紙の種類]は[OHP フィルム]に設定する必要があります。OHP フィルムを 230°C(446°F)の高温にさらすレーザープリンタで使用できる OHP フィルムかどうかを、メーカーまたは販売会社に確認してください。このような高温に耐える OHP フィルムのみを使用してください。高温に弱い場合、溶解、色落ち、印刷面のずれ、危険物質の放射が発生する恐れがあります。

OHP フィルムは、多目的フィーダ、すべての標準カセット、オプションのカセットから自動的に給紙できます。OHP フィルムとオプションの排紙トレイの互換性については、[排紙トレイの特定と関連付け](#)を参照してください。

OHP フィルムの取り扱いには十分に注意してください。OHP フィルムの表面に指紋が残ると、印刷品質が低下します。

封筒

多目的フィーダには最大 10 枚の封筒、封筒フィーダには最大 85 枚の封筒をセットできます。大量に封筒を購入する前に、購入を検討している封筒のサンプルで試し印刷を行ってください。封筒をセットする手順については、[多目的フィーダのセット](#)、[封筒フィーダのセット](#)を参照してください。

 **メモ:** 封筒フィーダを使用すると、「たたくような」音が生じる場合があります。この音は正常です。これは、印刷前に封筒から空気を抜くときに生じる音です。

封筒に印刷する場合:

- 1 最高の印刷品質を実現するには、レーザープリンタ用に開発された高品質の封筒のみを使用してください。
- 1 使用するカセットに応じて、**【用紙】**メニューの**【用紙サイズ/種類】**を、**【多目的フィーダ】**、**【手差し封筒】**、または**【封筒フィーダ】**に設定してください。操作パネル、プリンタドライバ、またはローカルプリンタ設定ユーティリティを使用して、用紙の種類として**【封筒】**を設定し、適切な封筒サイズを選択します。
- 1 最高のパフォーマンスを実現するには、75 g/m²(20 lb bond)の紙でできた封筒を使用してください。綿の含有率が25%以下である場合、多目的フィーダでは最大105 g/m²(28 lb bond)の重量、封筒フィーダでは105 g/m²(28 lb bond)の重量に対応できます。綿100%の封筒では、90 g/m²(24 lb bond)を超える重量には対応できません。
- 1 傷のない新しい封筒のみを使用してください。
- 1 最高のパフォーマンスを実現し、紙詰まりの可能性を最小限にするには、次のような封筒を使用しないでください。
 - 極端に丸まっている、またはゆがんでいる
 - お互いに貼り付いている、あるいは傷がついている
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、または型押し加工がある
 - 留め金、綴じひも、または金属製折りたたみバーを使用している
 - かみ合わせ構造になっている
 - 切手が貼られている
 - 封筒のふたを接着位置(閉じる位置)に合わせて折ると接着剤が露出する
 - 端が切れている、または折れている
 - 仕上げがラフ、しわ、すの目になっている
- 1 230°C(446°F)の高温に耐える封筒を使用してください。高温に弱い封筒の場合、紙が貼り付いたり、極端に折れ曲がったりします。また、しわがでたり、危険物質の放射が発生する可能性があります。使用する封筒の安全性に疑問がある場合は、封筒の製造会社に確認してください。
- 1 封筒フィーダには、1度に1つのサイズの封筒のみをセットしてください。
- 1 湿度が高く(60%以上)、印刷時の温度も高い場合、封筒同士が貼り付く可能性があります。

ラベル

このプリンタは、レーザープリンタ用のさまざまなラベルに直接印刷できます。これらのラベルには、レターサイズ、A4サイズ、リーガルサイズがあります。ラベルの接着剤、前面シート(印刷用ストック)、トップコートは、230°C(446°F)の高温と25 psiの圧力に耐える必要があります。

大量にラベルを購入する前に、購入を検討しているラベルのサンプルで試し印刷を行ってください。

約10,000ページのラベルを印刷(またはカートリッジを交換)した場合は、以下の手順に従ってプリンタの給紙機能の信頼性を維持します。

- 1 5枚の用紙を印刷します。
- 1 5秒ほど待ちます。
- 1 さらに5枚の用紙を印刷します。

ラベルに印刷する場合:

- 1 **【用紙】**メニューの**【用紙サイズ/種類】**を**【ラベル】**に設定してください。プリンタの操作パネル、プリンタドライバ、またはローカルプリンタ設定ユーティリティを使用して、**【用紙サイズ/種類】**を設定できます。
- 1 ビニールラベルは、標準カセットまたはオプションの250/500枚ドローワーから給紙してください。ビニールラベルの場合は、**【用紙の種類】**を**【ラベル】**に設定し、**【ラベル面】**を**【平滑】**に、**【ラベル量】**を**【重い】**に設定します。あるいは、**【用紙の種類】**を**【ビニールラベル】**に設定し、**【表面粗さ】**と**【重量】**を**【標準】**に設定してください。
- 1 用紙またはOHPフィルムが入っているカセットにラベルをセットしないでください。異なる印刷用紙と一緒にセットすると、給紙で問題が発生し、印刷品質が悪くなる可能性があります。
- 1 裏紙と一緒にラベルシートを使用しないでください。
- 1 すべてのラベルが揃っているラベルシートを使用してください。一部が欠けているシートを使用すると、印刷時にラベルがはがれたり、紙詰まりになったりします。また、プリンタやカートリッジが接着剤で汚染されて、プリンタやカートリッジの保証が無効になる場合があります。

- 1 230°C (446°F) の高温に耐えるラベルを使用してください。高温に弱いラベルの場合、紙が貼り付いたり、極端に折れ曲がったりします。また、しわがでたり、危険物質の放射が発生する可能性があります。
- 1 ラベルの端やミシン目の周囲 1 mm (0.04 インチ) の範囲、またはラベルのダイカットの間に印刷しないでください。
- 1 シートの端まで接着剤が付いているラベルシートは使用しないでください。デルでは、接着剤のゾーンコーティングを、端から最低 1 mm (0.04 インチ) 離すことを推奨しています。接着剤で、プリンタが汚染されると、保証が無効になる場合があります。
- 1 接着剤のゾーンコーティングが不可能な場合は、リーディングエッジとドライバエッジから 1.6 mm (0.1 インチ) の幅を除いて、速乾性接着剤を使用する必要があります。
- 1 リーディングエッジから 1.6 mm (0.1 インチ) の幅を除くすると、プリンタ内部でラベルがはがれるのを防止できます。
- 1 バーコードを印刷するときは、特に縦方向での印刷をお勧めします。
- 1 接着剤が露出したラベルは使用しないでください。

厚紙

厚紙は単層であり、水分含有率、厚さ、表面の粗さなど、印刷品質に大きな影響を与えるさまざまな特性があります。用紙の重量と印刷方向については、[サポートされる印刷用紙](#)を参照してください。

大量に厚紙を購入する前に、購入を検討している厚紙のサンプルで試し印刷を行ってください。

約 10,000 ページの厚紙を印刷(またはカートリッジを交換)した場合、以下の手順に従ってプリンタの給紙機能の信頼性を維持します。

- 1 5 枚の用紙を印刷します。
- 2 5 秒ほど待ちます。
- 3 さらに 5 枚の用紙を印刷します。

厚紙に印刷する場合：

- 1 操作パネル、プリンタドライバ、またはローカルプリンタ設定ユーティリティを使用して、[用紙]メニューの[用紙の種類]を[厚紙]に設定してください。
- 1 プレプリント、ミシン目、折り目があると、印刷品質に大きな影響が出て、印刷用紙の取り扱い上の問題や紙詰まりの問題が発生するので注意してください。
- 1 熱すると危険物質が放射される可能性がある厚紙は使用しないでください。
- 1 プリンタを汚染する可能性がある化学インクでプレプリントされた厚紙は使用しないでください。プレプリントがあると、半流動体や揮発性の物質がプリンタに接することになります。
- 1 横目の厚紙を使用することをお勧めします。

印刷用紙の保管

給紙の問題や不安定な印刷品質の問題を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- 1 用紙は、温度が約 21°C (70°F)、相対湿度が 40% の環境に保管してください。
- 1 用紙の入ったダンボール箱は、床に直接置くのではなく、台の上に置くか棚に保管してください。
- 1 用紙の個々のバックをダンボール箱から取り出して保管する場合は、印刷用紙の端が曲がり丸まったりしないように、平面に置いてください。
- 1 用紙バックの上には何も置かないでください。
- 1 プリンタにセットするまでは、包装紙に用紙を入れたまま保管してください。

紙詰まりの回避

印刷時に問題が発生しないように、適切な印刷用紙(紙、OHP フィルム、ラベル、厚紙)を使用してください(⇒「[サポートされる印刷用紙](#)」)。

 **メモ:** 大量に印刷用紙を購入する前に、購入を検討している印刷用紙のサンプルで試し印刷を行ってください

適切な印刷用紙を選択して、適切にセットすれば、ほとんどの紙詰まりは回避できます。カセットのセット手順については、[標準カセットとオプションカセットのセット](#)、または[多目的フィーダのセット](#)を参照してください。

紙詰まりを避けるには、以下のヒントが役立ちます。

- 1 推奨された印刷用紙のみを使用する。
- 1 印刷用紙のカセットに必要な以上に用紙を詰め込まない。カセット内のラベルが示している最大量の制限ラインを超えて用紙を入れない。
- 1 しわ、折り目、湿気を含む印刷用紙、あるいは丸まった印刷用紙はセットしない。
- 1 印刷用紙は、ほぐしたり、バラバラめくったり、端を揃えたりしてからセットする。使用中の印刷用紙で紙詰まりが発生した場合は、多目的フィーダで 1 度に 1 枚ずつ給紙してみる。
- 1 自分で切った紙は使用しない。
- 1 同じ印刷用紙のカセットに、異なるサイズ、重量、種類の印刷用紙はセットしない。
- 1 片面印刷するか両面印刷するかに応じて、推奨される印刷面に印刷されるように用紙をセットする。
- 1 適切な環境で印刷用紙を保管する(⇒「[印刷用紙の保管](#)」)。
- 1 印刷中はカセットを取り外さない。
- 1 カセットに用紙を入れたら、カセットをきちんと奥までセットする。
- 1 セットした印刷用紙のサイズに対して、カセット内のガイドの位置を適切に合わせる。印刷用紙の束に対して、ガイドを必要以上にきつく押し付けない。
- 1 紙詰まりが発生した場合は、用紙経路から用紙をすべて取り除く(⇒「[紙詰まりの除去](#)」)。

操作パネルのメニューについて

- [用紙メニュー](#)
- [レポート](#)
- [設定](#)
- [セキュリティ](#)
- [ネットワーク/ポート](#)

プリンタ設定を簡単に変更するための多くのメニューが用意されています。以下の表に、操作パネルに表示されるメニューインデックスと、各メニューインデックスから使用できるメニュー項目を示します。各メニューの項目および選択可能な値についての詳細は、本章の後半で説明します。

メニュー項目および値の中には、プリンタに特定のオプションを取り付けている場合のみ表示されるものもあります。また、特定のプリンタ言語のみに対応しているメニュー項目もあります。どの値も選択できますが、オプション機器または使用しているプリンタ言語によってはプリンタの機能が対応していない場合があります。

 **メモ:** 値の隣に表示されているアスタリスク(*)は初期設定値を示しています。

用紙メニュー

[[用紙メニュー](#)]は、各用紙トレイにセットされている用紙、標準の給紙源、排紙トレイを定義する場合に使用します。

標準設定給紙源

メニュー項目:	機能:	値:
標準設定給紙源	標準設定の給紙源を指定します。	カセット ト<x> 多目的フィード 封筒フィード 手差し用紙 手差し封筒

用紙 大きさ/種類

 **メモ:** 取り付けられている給紙源のみが表示されます。

給紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を設定する場合に選択します。用紙サイズおよび種類の設定は、2段階の手順を踏んで行います。最初のメニュー項目では、大きさが太字で表示されます。用紙サイズを選択したら、画面の表示が変わり、種類が太字で表示されます。この時点で、用紙の種類を選択できます。

メニュー項目:	機能:	値:
カセットト<x> 大きさ/種類	各給紙源で使用する標準の用紙サイズを指定します。 メモ: 用紙サイズを自動的に検知するカセットを使用している場合は、ハードウェアが検知した値のみが表示されます。	A4* (米国以外) A5 JIS B5 レター* (米国) リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント ユニバーサル
カセットト<x> 大きさ/種類	各給紙源で使用する用紙の種類を指定します。 メモ: ユーザーが定義した名前が使用可能な場合は、その名前が「ユーザー定義種 <x>」の代わりに表示されます。同じ名前のユーザー定義名が2つ以上ある場合は、[用紙の種類]の一覧に1つだけ表示されます。	普通紙* 厚紙 OHP フィルム 光沢ラベル ビニールラベル ポンド紙 レターヘッド プレプリント紙 カラー用紙

		ユーザー定義種 <x>	
多目的 大きさ/種類	多目的フィーダにセットした用紙のサイズを指定します。	A4* (米国以外) A5 JIS B5 レター* (米国) リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 その他の封筒	多目的フィーダは、 [多目的フィーダを設定] を [カセット] に設定してある場合のみ操作パネルに表示されます。
多目的 大きさ/種類	多目的フィーダにセットした用紙の種類を指定します。 メモ: ユーザーが定義した名前が使用可能な場合は、その名前が「ユーザー定義種 <x>」の代わりに表示されます。同じ名前のユーザー定義名が 2 つ以上ある場合は、 [用紙の種類] の一覧に 1 つだけ表示されます。	普通紙* 厚紙 OHP フィルム ラベル ビニール ラベル ポンド紙 封筒 レターヘッド プレプリント 紙 カラー用紙 ユーザー定義種 <x>	多目的フィーダは、 [多目的フィーダを設定] を [カセット] に設定してある場合のみ操作パネルに表示されます。
封筒フィーダ 大きさ/種類	セットした封筒のサイズを指定します。	7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒* (米国) DL 封筒* (米国以外) C5 封筒 その他の封筒	
封筒フィーダ 大きさ/種類	セットした封筒の種類を指定します。	封筒* ユーザー定義種 <x>	
手差し 大きさ/種類	手差しでセットする用紙のサイズを指定します。	A4* (米国以外) A5 JIS B5 レター* (米国) リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント ユニバーサル	
手差し 大きさ/種類	手差しでセットする用紙の種類を指定します。	普通紙* 厚紙 OHP フィルム ラベル ビニール ラベル ポンド紙 レターヘッド プレプリント 紙 カラー用紙 ユーザー定義種 <x>	
手差し封筒 大きさ/種類	手差しでセットする封筒のサイズを指定します。	7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒* (米国) DL 封筒* (米国以外) C5 封筒 その他の封筒	
手差し封筒 大きさ/種類	手差しでセットする封筒の種類を指定します。	封筒* ユーザー定義種 <x>	

多目的フィーダを設定

多目的フィーダを別の用紙カセット、または手差しフィーダに設定する場合に選択します。多目的フィーダを別のカセットと関連付けると、別のカセットから用紙を給紙する前に多目的フィーダの用紙を使用することができます。

メニュー項目:	機能:	値:
多目的フィーダを設定	多目的フィーダにセットした用紙をいつ使用するかを指定します。	カセット* 手差し 1 番目

代替サイズ

プリンタのどの給紙源にも要求したサイズの用紙がない場合に、プリンタが別のサイズの用紙を代わりに使用するかどうかをこのメニューで指定します。たとえば、[代替サイズ]を[レター/A4]に設定したとします。プリンタにレターサイズの用紙のみをセットしてある場合に A4 サイズの印刷を要求すると、A4 サイズの用紙の代わりにレターサイズの用紙を使用してジョブが印刷されます。用紙の変更を要求するメッセージは表示されません。

メニュー項目:	機能:	値:
代替サイズ	要求したサイズの用紙がセットされていない場合に、指定したサイズの用紙を代わりに使用します。	オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧にあるすべて*

1 [オフ]は、用紙サイズを代替しないことを示しています。
 1 [一覧にあるすべて]は、使用可能なすべての代替を行うことを示しています。

用紙表面粗さ

指定した用紙の表面の粗さを設定する場合に選択します。この設定を行うと、指定した用紙の印刷品質を最適化できます。

メニュー項目:	機能:	値:	
普通紙のテクスチャ	特定の給紙源にセットした用紙の表面の粗さを指定します。	平滑標準* 粗い	
OHP フィルムのテクスチャ			
ラベル紙のテクスチャ			
ビニール ラベル面			
封筒のテクスチャ			
レターヘッドのテクスチャ			
プレプリント紙のテクスチャ			
カラー用紙のテクスチャ			
ポンド紙のテクスチャ			平滑普通粗い*
厚紙のテクスチャ	特定の給紙源にセットした厚紙の表面の粗さを指定します。	平滑標準*粗い	指定した給紙源が厚紙をサポートしている場合に表示されます。
ユーザー定義用紙 <x> のテクスチャ	特定の給紙源にセットしたユーザー定義用紙の表面の粗さを指定します。	平滑標準*粗い	指定した給紙源がユーザー定義用紙をサポートしている場合に表示されません。

用紙の重量

種類を指定した各用紙の重さを指定する場合に選択します。この設定を行うと、重さを指定した用紙の印刷品質を最適化できます。

メニュー項目:	機能:	値:	
普通紙の重量	特定の給紙源にセットした用紙の相対的な重量を指定し、印刷したページにトナーが確実に付着するようにします。	軽い標準* 重い	
OHP フィルムの重量			
ラベル紙の重量			
ビニール ラベル重			
ポンド紙の重量			
封筒の重量			
レターヘッドの重量			
プレプリント紙の重量			
カラー用紙の重量			
厚紙の重量			特定の給紙源にセットした厚紙の相対的な重量を指定します。
ユーザー定義用紙 <x> の重量	特定の給紙源にセットしたユーザー定義用紙の相対的な重量を指定します。	軽い標準* 重い	指定した給紙源がユーザー定義用紙をサポートしている場合に表示されます。

用紙のセット

各種類の用紙をセットする方向を設定する場合に選択します。この設定を行うと、給紙源にプレプリント紙をセットして、両面印刷を行うことができます。その後、アプリケーションソフトウェアを使用して片面印刷を指定できます。片面印刷を選択した場合、プリンタが自動的に空白ページを挿入し、片面印刷が正常に行われます。

 **メモ:** [用紙のセット]は両面印刷ユニットが取り付けられている場合のみ使用できます。

メニュー項目:	機能:	値:	
ラベル紙のセット	両面印刷ジョブであるか片面印刷ジョブであるかに応じて、プレプリント紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	
ビニールラベル装			
ポンド紙のセット			
レターヘッドのセット			
プレプリント紙のセット			
カラー用紙のセット			
厚紙のセット	両面印刷ジョブであるか片面印刷ジョブであるかに応じて、厚紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	指定した給紙源が厚紙をサポートしている場合に表示されます。
ユーザー定義用紙 <x> のセット	両面印刷ジョブであるか片面印刷ジョブであるかに応じて、ユーザー定義用紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	指定した給紙源がユーザー定義用紙をサポートしている場合に表示されます。

ユーザー定義

各ユーザー定義用紙の名前を指定する場合に選択します。名前は操作パネルを使用して割り当てます。

メニュー項目:	機能:	値:	
ユーザー定義 種 N	[用紙の種類]メニューで選択可能なユーザー定義用紙それぞれに関連付ける用紙の種類を指定します。	用紙* 厚紙 OHP フィルム ラベル ビニールラベル 封筒	ユーザー定義名を割り当てるには、指定した給紙源がその種類の用紙をサポートしている必要があります。 名前を割り当てると(16文字以上の場合は16文字目以降が削除される)、その名前が「ユーザー定義種 x」の代わりに表示されます。

ユニバーサルセットアップ

ユニバーサル用紙の幅と高さを指定する場合に選択します。ユニバーサル用紙の幅と高さを指定すると、プリンタで他のサイズの用紙と同じように扱うことができます。両面印刷や N アップ印刷も行えます。

メニュー項目:	機能:	値:	
単位	ユニバーサル用紙の幅と高さの単位を決定します。	インチ ミリメートル	米国の標準設定は インチ 、それ以外の国の標準設定は ミリメートル です。
縦型用紙の幅	ユニバーサル用紙の幅(短辺)を設定します。 メモ: 設定した値が幅の最大値を超える場合は、インチまたはミリメートルで設定可能な最大値が選択されます。	3 インチ ~ 14.17 インチまで 0.01 インチ間隔 (76 mm ~ 360 mm まで 1 mm 間隔)	[単位]で設定した単位(インチまたはミリメートル)で表示されます。米国標準は 8.5 インチ 、それ以外の国の標準は 216 mm です。
縦型用紙の高さ	ユニバーサル用紙の高さ(長辺)を設定します。 メモ: 設定した値が高さの最大値を超える場合は、インチまたはミリメートルで設定可能な最大値が選択されます。	3 インチ ~ 14.17 インチまで 0.01 インチ間隔 (76 mm ~ 360 mm まで 1 mm 間隔)	[単位]で設定した単位(インチまたはミリメートル)で表示されます。米国標準は 14 インチ 、それ以外の国の標準は 356 mm です。
給紙方向	ユニバーサル用紙の給紙方向を指定します。	短辺* 長辺	[長辺]は最大値がプリンタの 物理的な最大幅 より短い場合のみ表示されます。

トレイ設定

印刷した用紙の排紙先を指定する場合に選択します。

 **メモ:** [トレイ設定]はオプションの排紙トレイを 1 つ以上取り付けている場合のみ表示されます。

メニュー項目:	機能:	値:	
排紙トレイ	標準設定にする排紙トレイを指定します。	標準排紙先* トレイ <x>	<ul style="list-style-type: none"> 1 ユーザーが定義した名前が使用可能な場合は、その名前が「トレイ <x>」の代わりに表示されます。 1 ユーザー定義名が 14 文字以上の場合は、14 文字目以降は削除されます。 1 同じ名前のトレイ名が 2 つ以上ある場合は、[排紙トレイ]の一覧に 1 つだけ表示されます。
トレイの設定	特定のジョブで使用する排紙トレイを指定します。	メールボックス リンク*	ユーザーが使用する排紙トレイに印刷ジョブを転送します。 複数のトレイを関連付けて 1 つの大きなトレイとして扱います。関連付けられているトレイの 1 つがいっぱいになった場合は、次のトレイに排紙されます。さらに多くのトレイを関連付けている場合は、各トレイがいっぱいになるごとにその次

			のトレイに排紙されていきます。
		メールオーバーフロー	ユーザーが使用する排紙トレイに印刷ジョブを転送し、いっぱいになったら、オーバーフロートレイにジョブを送信します。
		リンクオプション	標準の排紙トレイを単独でできるようにしたまま、オプションの排紙トレイを1つの大きなトレイとしてすべて関連付けます。
		種類の割り当て	各ジョブを用紙の種類ごとに、指定された排紙トレイに送信します。
用紙種/トレイ割当	印刷ジョブを、要求された用紙の種類に従って特定の排紙トレイに送信します。 メモ: ユーザーが指定した名前が使用可能な場合は、その名前が「 ユーザー定義トレイ <x> 」の代わりに表示されます。ユーザー定義名が 14 文字以上の場合は、14 文字目以降は削除されます。同じ名前のトレイ名が 2 つ以上ある場合は、 [用紙種/トレイ割当] の一覧に 1 つだけ表示されます。	普通紙ボックス グリーティングカードボックス OHP フィルムボックス ラベルボックス ビニラベルトレイ ポンド紙ボックス 封筒ボックス レターヘッド紙ボックス プレプリントボックス カラー用紙ボックス ユーザー定義トレイ <x> (<x> には 1 ~ 3 の数字が入ります)	無効* 標準排紙先 トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 メモ: 取り付けた排紙トレイのみが表示されます。 [ボックスを設定] を [種類の割り当て] に設定した場合は、 [標準排紙先] が標準設定になります。
オーバーフローボックス	印刷ジョブを、要求された用紙の種類に従って特定の排紙トレイに送信します。	標準排紙先* トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3	メモ: 取り付けた排紙トレイのみが表示されます。同じ名前の多目的排紙トレイがある場合は、 [排紙トレイ] の値の一覧に 1 つだけ表示されます。

レポート

メニュー設定ページ

メニュー設定ページを印刷する場合に選択します。

メニュー項目:	機能:	値:
メニュー設定ページ	プリンタの標準設定に関する情報を印刷し、プリンタオプションが正しく取り付けられていることを確認します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタが 準備完了 の状態に戻ります。

デバイス統計

デバイス統計を表示する場合に選択します。

メニュー項目:	機能:	値:
デバイス統計	プリンタの各種統計値に関する情報を印刷します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタが 準備完了 の状態に戻ります。

ネットワーク設定ページ

ネットワーク設定ページを印刷する場合に選択します。

メニュー項目:	機能:	値:
ネットワーク設定ページ	ネットワーク設定に関する情報を印刷し、ネットワーク接続を確認します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタが 準備完了 の状態に戻ります。
ネットワークオプションを増設している場合は、 [ネット <x> 設定] が表示されます。	メモ: このページには、ネットワーク印刷の設定に関する情報も表示されます。	

NetWare 設定ページ

内蔵プリントサーバーに関する情報を印刷する場合に選択します。

メニュー項目:	機能:	値:
NetWare 設定ページ	[ネットワークメニュー] の [ネット <x> 設定] で指定した内蔵プリントサーバーおよびネットワーク設定	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタが 準備完了 の状態に戻ります。

ージ	に関する情報を印刷します。	状態に戻ります。
----	---------------	----------

フォントを印刷

プリンタに保存されているフォントの一覧を印刷する場合に選択します。

メニュー項目:	機能:	値:				
フォントを印刷	選択したプリンタ言語で使用可能なすべてのフォントのサンプルを印刷します。	<table border="1"> <tr> <td>PCL フォント</td> <td>PCL エミュレーションで使用可能なすべてのプリンタフォントのサンプルを印刷します。</td> </tr> <tr> <td>PS フォント</td> <td>PostScript エミュレーションで使用可能なすべてのプリンタフォントのサンプルを印刷します。</td> </tr> </table>	PCL フォント	PCL エミュレーションで使用可能なすべてのプリンタフォントのサンプルを印刷します。	PS フォント	PostScript エミュレーションで使用可能なすべてのプリンタフォントのサンプルを印刷します。
PCL フォント	PCL エミュレーションで使用可能なすべてのプリンタフォントのサンプルを印刷します。					
PS フォント	PostScript エミュレーションで使用可能なすべてのプリンタフォントのサンプルを印刷します。					

設定

セットアップメニュー

プリンタで使用可能なさまざまな機能を設定します。

メニュー項目:	機能:	値:				
表示言語	操作パネルに表示する言語を指定します。	<table border="1"> <tr> <td>英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語</td> <td>メモ: 使用できない言語もあります。</td> </tr> </table>	英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	メモ: 使用できない言語もあります。		
英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	メモ: 使用できない言語もあります。					
節電	ジョブの印刷後にプリンタが省電力状態に移行するまでの時間を分単位で指定します。	<table border="1"> <tr> <td>無効</td> <td>[エネルギー節約]がオフになっている場合、この値は表示されません。</td> </tr> <tr> <td>1...240</td> <td> <p>ジョブの印刷後にプリンタが節電モードになるまでの時間を指定します(すべての値をサポートしていないプリンタもあります)。</p> <p>節電の標準設定は、使用しているプリンタの機種によって異なります。現在の節電の設定を確認するには、メニュー設定ページを印刷します。プリンタが節電モードになっていても、印刷ジョブの受信は可能です。</p> <p>印刷ジョブ終了の 1 分後にプリンタを節電モードにするには、[1]を選択します。この設定では、消費電力が少なくなりますが、プリンタのウォームアップに時間がかかります。プリンタと室内照明を同じ回路のコネクセントに接続している場合は、照明のチラつきを避けるため[1]を選択してください。</p> <p>プリンタを頻繁に使用する場合は、大きい値を選択してください。プリンタのウォームアップ時間を減らすことができます。1 ~ 240 分の間の時間を選択することで、消費電力の節約とウォームアップ時間とのバランスをとることができます。</p> </td> </tr> </table>	無効	[エネルギー節約]がオフになっている場合、この値は表示されません。	1...240	<p>ジョブの印刷後にプリンタが節電モードになるまでの時間を指定します(すべての値をサポートしていないプリンタもあります)。</p> <p>節電の標準設定は、使用しているプリンタの機種によって異なります。現在の節電の設定を確認するには、メニュー設定ページを印刷します。プリンタが節電モードになっていても、印刷ジョブの受信は可能です。</p> <p>印刷ジョブ終了の 1 分後にプリンタを節電モードにするには、[1]を選択します。この設定では、消費電力が少なくなりますが、プリンタのウォームアップに時間がかかります。プリンタと室内照明を同じ回路のコネクセントに接続している場合は、照明のチラつきを避けるため[1]を選択してください。</p> <p>プリンタを頻繁に使用する場合は、大きい値を選択してください。プリンタのウォームアップ時間を減らすことができます。1 ~ 240 分の間の時間を選択することで、消費電力の節約とウォームアップ時間とのバランスをとることができます。</p>
無効	[エネルギー節約]がオフになっている場合、この値は表示されません。					
1...240	<p>ジョブの印刷後にプリンタが節電モードになるまでの時間を指定します(すべての値をサポートしていないプリンタもあります)。</p> <p>節電の標準設定は、使用しているプリンタの機種によって異なります。現在の節電の設定を確認するには、メニュー設定ページを印刷します。プリンタが節電モードになっていても、印刷ジョブの受信は可能です。</p> <p>印刷ジョブ終了の 1 分後にプリンタを節電モードにするには、[1]を選択します。この設定では、消費電力が少なくなりますが、プリンタのウォームアップに時間がかかります。プリンタと室内照明を同じ回路のコネクセントに接続している場合は、照明のチラつきを避けるため[1]を選択してください。</p> <p>プリンタを頻繁に使用する場合は、大きい値を選択してください。プリンタのウォームアップ時間を減らすことができます。1 ~ 240 分の間の時間を選択することで、消費電力の節約とウォームアップ時間とのバランスをとることができます。</p>					
警報	ユーザーの操作が必要になった場合に警報を鳴らすかどうかを設定します。	<table border="1"> <tr> <td>警報制御: オフ シングル* 継続</td> <td>オフ - 警報を鳴らしません。</td> </tr> <tr> <td>トナー警報: オフ* シングル 継続</td> <td>シングル* - 短い警告音を 3 回鳴らします。 継続 - 3 回の警告音を 10 秒間隔で鳴らします。</td> </tr> </table>	警報制御: オフ シングル* 継続	オフ - 警報を鳴らしません。	トナー警報: オフ* シングル 継続	シングル* - 短い警告音を 3 回鳴らします。 継続 - 3 回の警告音を 10 秒間隔で鳴らします。
警報制御: オフ シングル* 継続	オフ - 警報を鳴らしません。					
トナー警報: オフ* シングル 継続	シングル* - 短い警告音を 3 回鳴らします。 継続 - 3 回の警告音を 10 秒間隔で鳴らします。					
時間切れ	プリンタがホーム画面に戻るまでの時間、ジョブが終了したことを示すメッセージの待ち時間、またはコンピュータから追加データを受信するまでの待ち時間を秒単位で指定します。 メモ: [待ち時間切れ]は PostScript エミュレーションを使用している場合のみ選択できます。このメニューで選択した値は、PCL エミュレーションの印刷ジョブには適用されません。	<table border="1"> <tr> <td>画面時間切れ: 15300(30*)</td> <td>無効 - 画面時間切れを無効にします。 15300 - プリンタがホーム画面に戻るまでの時間を設定します。 初期設定は 30* です。</td> </tr> <tr> <td>印刷時間切れ: 無効 1255(90*)</td> <td>無効 - 印刷時間切れを無効にします。 1-255 - ジョブが終了したことを示すメッセージの待ち時間を指定します。この待ち時間が過ぎると残りの印刷ジョブがキャンセルされます。 タイマーが切れると、プリンタに残っているフォーマット済みのページはすべて印刷され、他の入力ポートにデータがあるかどうか確認されます。 初期設定は 90* です。</td> </tr> </table>	画面時間切れ: 15300(30*)	無効 - 画面時間切れを無効にします。 15300 - プリンタがホーム画面に戻るまでの時間を設定します。 初期設定は 30* です。	印刷時間切れ: 無効 1255(90*)	無効 - 印刷時間切れを無効にします。 1-255 - ジョブが終了したことを示すメッセージの待ち時間を指定します。この待ち時間が過ぎると残りの印刷ジョブがキャンセルされます。 タイマーが切れると、プリンタに残っているフォーマット済みのページはすべて印刷され、他の入力ポートにデータがあるかどうか確認されます。 初期設定は 90* です。
画面時間切れ: 15300(30*)	無効 - 画面時間切れを無効にします。 15300 - プリンタがホーム画面に戻るまでの時間を設定します。 初期設定は 30* です。					
印刷時間切れ: 無効 1255(90*)	無効 - 印刷時間切れを無効にします。 1-255 - ジョブが終了したことを示すメッセージの待ち時間を指定します。この待ち時間が過ぎると残りの印刷ジョブがキャンセルされます。 タイマーが切れると、プリンタに残っているフォーマット済みのページはすべて印刷され、他の入力ポートにデータがあるかどうか確認されます。 初期設定は 90* です。					

		待ち時間切れ: 無効 15...65535 (40*)	無効 - 待ち時間切れを無効にします。 15...65535 - ジョブをキャンセルする前にプリンタが他のデータの受信を待つ時間を指定します。 初期設定は 40* です。
		ネットジョブ時刻: 1255(90*)	1-255 - ジョブをキャンセルする前にプリンタが他のデータの受信を待つ時間を指定します。
印刷回復	プリンタが特定のオフライン状態でジョブを続行するかどうか、紙詰まりが発生したページを印刷しないかどうか、すべてのページが処理され印刷の準備が完了するまで待機するかどうか、を指定します。	自動継続: 無効* 5-255	特定のオフライン状態が指定時間内に解決しない場合に、オフライン状態でジョブを自動的に続行します。 5-255 - プリンタの待機時間を秒単位で指定します。
		紙づまり回復: オン オフ 自動*	紙詰まりが発生したページを印刷しないかどうかを指定します。 オン - 紙詰まりが発生したページを印刷しないおします。 オフ - 紙詰まりが発生したページを印刷しないおしません。 自動* - 紙詰まりが発生した場合、そのページを保持するために必要なメモリがプリンタの他のタスクを実行するために必要でない場合、ページを印刷しないおします。
		ページ保護: オフ* オン	複雑ページのエラー が発生する可能性のあるページを正常に印刷します。 オフ* - メモリ不足でページ全体を印刷できない場合に、ページの一部を印刷します。 オン - 印刷前にページ全体を確実に処理します。 メモ: [オン]を選択してもページを印刷できない場合は、そのページで使用しているフォントのサイズと個数を減らすか、プリンタのメモリを増設する必要がある場合があります。 メモ: ほとんどの印刷ジョブでは[オン]を選択する必要はありません。[オン]を選択すると、印刷にかかる時間が長くなります。
プリンタ言語	コンピュータとプリンタのデータ通信に使用するプリンタの標準言語を指定します。 メモ: プリンタの標準言語を設定しても、アプリケーションが印刷ジョブを他の言語で送信することを防止することはできません。	PCL エミュレーション*	ホストから受信するデータを PCL インタープリタで処理します。
		PS エミュレーション	ホストから受信するデータを PS インタープリタで処理します。
印刷領域	論理的および物理的な印刷可能領域を変更します。	標準* ページに合せる ページ全体	メモ: [ページ全体]の設定は、PCL 5 インタープリタを使用して印刷したページのみ適用されます。この設定は、PCL XL または PostScript インタープリタを使用して印刷したページには適用されません。[標準]印刷領域で印刷不可能に指定した領域にデータを印刷しようとすると、印刷可能領域との境界でイメージが切り取られます。
リソース保存	プリンタが使用可能なメモリ以上のメモリを必要とするジョブを受信した場合に、ダウンロードしたリソース (RAM に保存されているフォントやマクロなど) をどのように処理するかを指定します。	オフ*	ダウンロードしたリソースを、メモリが必要とされるまで保持します。メモリが必要になったら、使用していないプリンタ言語に対応するリソースを削除します。
		オン	言語の変更中またはプリンタのリセット中に、すべてのプリンタ言語に対応するすべてのリソースを保持します。プリンタのメモリが不足している場合は、「38 メモリがいっぱい」が表示されます。
工場出荷時設定	プリンタの設定を工場出荷時の設定値に戻します。	今復元	<ul style="list-style-type: none"> 1 以下のメニュー項目を除くすべてのメニュー項目が工場出荷時の設定値に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 表示言語 ○ パラレルメニュー、シリアルメニュー、ネットワークメニュー、USB メニューの全設定。 1 プリンタメモリ (RAM) にダウンロードしたすべてのリソース (フォント、マクロ、シンボルセット) が削除されます (フラッシュメモリまたはハードディスク内のリソースは影響を受けません)。
		復元しない*	ユーザーが定義した設定が残ります。

仕上メニュー

印刷結果の処理方法を指定する場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:	
両面印刷	すべての印刷ジョブで両面印刷を標準設定にします。 メモ: オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている必要があります。 メモ: 特定のジョブのみで両面印刷を行うには、プリンタドライバで[両面印刷]を選択します。	オフ*	用紙の片面に印刷します。
		オン	用紙の両面に印刷します。
両面印刷縦じ	両面印刷したページの縦じ方、ページの裏面 (偶数ページ) の印刷方向と表面 (奇数ページ) の印刷方向の合わせ方を定義します。 メモ: オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている必要があります。	長辺*	ページの長い方の辺に沿って縦じます (縦向きの場合は左辺、横向きの場合は上辺)。
		短辺	ページの短い方の辺に沿って縦じます (横向きの場合は上辺、縦向きの場合は左辺)。
部数	プリンタの標準設定値にする部数を設定します。 メモ: 特定の印刷ジョブの部数はプリンタドライバで設定します。	1...999(1*)	プリンタドライバで値を選択すると、操作パネルで選択した値は無効になります。
空白ページ	アプリケーションが生成した空白ページを印刷結果に含めるかどうか指定します。	印刷しない*	アプリケーションが生成した空白ページをジョブとして印刷しません。
		印刷	アプリケーションが生成した空白ページをジョブとして印刷します。

T合	複数部のジョブを印刷した場合に、印刷ジョブをページ順の東にします。	オフ*	ジョブの各ページを【部数】で指定した枚数ずつ印刷します。たとえば、【部数】を【2】に設定し 3 ページ分を印刷すると、1 ページ、1 ページ、2 ページ、2 ページ、3 ページ、3 ページの順に印刷されます。																								
		オン	印刷ジョブ全体を【部数】で指定した回数だけ印刷します。たとえば、【部数】を【2】に設定し 3 ページ分を印刷すると、1 ページ、2 ページ、3 ページ、1 ページ、2 ページ、3 ページの順に印刷されます。																								
区切り用紙	各ジョブの間、複数部のジョブの間、またはジョブで印刷する各ページの間に空白の区切り用紙を挿入します。	なし*	区切り用紙を挿入しません。																								
		コピー間	1 部ごとに空白の区切り用紙を挿入します。【T合】を【オフ】に設定している場合は、各ページの東ごとに空白ページを挿入します(1 ページの東、2 ページの東、など)。【T合】を【オン】にしている場合は、T合いされた東ごとに空白ページを挿入します。																								
		ジョブ間	空白ページをジョブ間に挿入します。																								
		ページ間	空白ページをページごとに挿入します。OHP フィルムを印刷する場合、または注意書きのドキュメントに空白ページを挿入する場合に便利です。																								
区切り紙供給源	区切り用紙に使用する給紙源を指定します。	カセット <x> (カセット 1*)	指定したカセットから区切り用紙を選択します。																								
		多目的フィーダ	多目的フィーダから区切り用紙を選択します。 メモ: 【多目的フィーダを設定】で【カセット】を選択する必要があります。																								
		封筒フィーダ	封筒フィーダから区切り用紙を選択します。 メモ: 封筒フィーダが取り付けられている場合のみ表示されます。																								
複数ページ印刷	複数ページのイメージを 1 枚の用紙の片面に印刷します。N アップまたは用紙セーバーともいいます。	オフ*	片面に 1 ページのイメージを印刷します。																								
		2 アップ	片面に 2 ページのイメージを印刷します。																								
		3 アップ	片面に 3 ページのイメージを印刷します。																								
		4 アップ	片面に 4 ページのイメージを印刷します。																								
		6 アップ	片面に 6 ページのイメージを印刷します。																								
		9 アップ	片面に 9 ページのイメージを印刷します。																								
		12 アップ	片面に 12 ページのイメージを印刷します。																								
16 アップ	片面に 16 ページのイメージを印刷します。																										
複数ページ順序	複数ページ印刷を行う場合の、複数ページのイメージの位置を指定します。 イメージの位置は、イメージの数と、イメージが縦向きか横向きかによって異なります。	水平*																									
		垂直																									
		左右逆																									
		天地逆																									
たとえば、4 アップの複数ページ印刷で縦向きを選択した場合でも、選択した【複数ページ順序】の値によって印刷結果は異なります。																											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">Horizontal Order</th> <th colspan="2">Reverse Horizontal Order</th> <th colspan="2">Vertical Order</th> <th colspan="2">Reverse Vertical Order</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>2</td> <td>2</td><td>1</td> <td>1</td><td>3</td> <td>3</td><td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>4</td> <td>4</td><td>3</td> <td>2</td><td>4</td> <td>4</td><td>2</td> </tr> </tbody> </table>				Horizontal Order		Reverse Horizontal Order		Vertical Order		Reverse Vertical Order		1	2	2	1	1	3	3	1	3	4	4	3	2	4	4	2
Horizontal Order		Reverse Horizontal Order		Vertical Order		Reverse Vertical Order																					
1	2	2	1	1	3	3	1																				
3	4	4	3	2	4	4	2																				
複数ページ表示	1 枚の複数ページ印刷用紙の印刷方向を指定します。	自動*	横向きまたは縦向きをプリンタが自動的に選択します。																								
		長辺	用紙の長辺をページの上部に設定します(横)。																								
		短辺	用紙の短辺をページの上部に設定します(縦)。																								
複数ページ境界	複数ページ印刷を使用する場合に、各ページのイメージの周囲に枠線を印刷します。	なし*	各ページのイメージの周囲に枠線を印刷しません。																								
		太枠	各ページイメージの周囲に太枠を印刷します。																								

品質メニュー

印刷品質を変更する場合、およびトナーを節約する場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:
印刷解像度	印刷結果の解像度を選択します。	600 dpi* 1200 画質 1200 dpi 2400 画質
トナーの濃さ	印刷結果の濃さを調節してトナーを節約します。	1 ~ 10 初期設定は 8* です。 印刷結果を薄くしたり、トナーを節約したりするには、小さい値を選択します。
明度	印刷するオブジェクトのグレー値を調節します。	-6 ~ +6 初期設定は 0* です。
コントラスト	印刷するオブジェクトのコントラストを調節します。	0 ~ 5 初期設定は 0* です。

ユーティリティメニュー

プリンタの設定変更、ジョブの削除、プリンタハードウェアのセットアップ、プリンタの問題のトラブルシューティングを行う場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:	
工場出荷時設定	プリンタの設定を工場出荷時の設定値に戻します。	復元しない*	ユーザーが定義した設定が残ります。
		今復元	以下のメニュー項目を除くすべてのメニュー項目が工場出荷時の設定値に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> 1 表示言語 1 パラレルメニュー、シリアルメニュー、ネットワークメニュー、USB メニューの全設定。 1 フラッシュメモリまたはハードディスク上のリソースは影響を受けません。 メモ: プリンタメモリ (RAM) にダウンロードしたすべてのリソース (フォント、マクロ、シンボルセット) が削除されます。
保留ジョブを除去	秘密ジョブや保留中のジョブをプリンタのハードディスクから削除します。	秘密保留未復元すべて	選択した値は、プリンタ内のジョブのみに影響します。しおりや選択した値以外の保留ジョブは削除されません。
ジョブアカウント統計	ハードディスクに保存されているすべてのジョブ統計の一覧を印刷、またはすべてのジョブ統計を削除します。	印刷	最新の印刷ジョブに対応するすべての統計を印刷します。
		クリア	ハードディスクに保存されているすべてのジョブ統計を削除します。
16 進トレース	印刷ジョブで発生する問題の原因を特定するのに役立ちます。	有効化	[16 進トレース] を選択すると、プリンタに送信したすべてのデータが 16 進数と文字表示で印刷されます。制御コードは使用されません。 メモ: [16 進トレース] を終了するには、プリンタの電源をオフにするかリセットします。 <ul style="list-style-type: none"> 1. [キャンセル] ボタン  を押します。 2. [プリンタをリセット] の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定] ボタン  を押します。
		オフ*	着色面率を印刷しません。
着色面率の推定	1 ページに使用されたブラックトナーの着色面率の推定値を計算します。着色面率は区切りページに印刷されます。	オン	ページに使用されたトナーの着色面率を印刷します。

PostScript メニュー

PostScript プリンタ言語を使用するジョブに関するプリンタ設定を変更する場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:	
PS エラーを印刷	PostScript エミュレーションでエラーが発生した場合に、そのエラーを定義したページを印刷します。	オフ*	エラーメッセージを印刷せずに印刷ジョブを削除します。
		オン	ジョブを削除する前にエラーメッセージを印刷します。

PCL メニュー

PCL エミュレーションプリンタ言語を使用するジョブに関するプリンタ設定を変更する場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:	
フォントソース	[フォント名]メニューに表示するフォントセットを指定します。	常駐*	出荷時の状態でプリンタの RAM に常駐しているすべてのフォントを表示します。
		ディスク	プリンタの RAM にダウンロードしたすべてのフォントを表示します。
		フラッシュ	フラッシュメモリに保存したすべてのフォントを表示します。
		ダウンロード	プリンタのハードディスクに保存したすべてのフォントを表示します。 メモ: ハードディスクはオプションであり、プリンタには付属していません。使用可能かどうかを確認するには、地域の販売担当者にお問い合わせください。
		すべて	すべてのソースの表示可能なフォントすべてを表示します。
フォント名	指定したフォントソースから特定のフォントを指定します。	RO Courier*	選択したフォントソースのすべてのフォント名およびフォント ID を表示します。フォントソースの略称は、「R」が常駐フォント、「F」がフラッシュメモリに保存されているフォント、「K」がハードディスクに保存されているフォント、「D」がダウンロードしたフォントを示します。
シンボルセット	指定したフォントのシンボルセットを指定します。	10U PC-8* (米国)	シンボルセットは、選択したフォントでの印刷に使用する、アルファベット、数字、句読点、特殊記号です。シンボルセットは、科学文書で 사용되는数学記号など、言語やアプリケーションによって要件が異なります。選択したフォントでサポートされているシンボルセットのみが表示されます。
		(国/地域に固有の工場出荷時の設定値です)	
		12U PC-850* (米国以外)	
	(国/地域に固有の工場出荷時の設定値です)		
エミュレー	サイズ変更が可能な印刷フォントのポイントサイズ	ポイントサイズ:	ポイントサイズは、フォントの高さを示しています。1 ポイントはおおよそ 1/72 インチ (0.3528 mm) です。ポイン

シヨン設定	イズを変更します。	1.00 ~ 1008.00 (12*)	トサイズは 1 ~ 1008 まで 0.25 ポイント間隔で選択できます。 メモ: 印刷フォントのポイントサイズのみが表示されます。
	サイズ変更が可能な等幅フォントのフォントピッチを指定します。	ピッチ: 0.08 ~ 100.00 (10*)	ピッチとは、1 インチの横幅に印刷できる固定幅文字の数です。1 インチあたりに印刷できる文字数は 0.08 ~ 100 文字 (cpi) で、0.01 cpi 間隔で選択できます。サイズ変更ができない等幅フォントの場合、ピッチは表示されませんが、変更することはできません。 メモ: [ピッチ]は、固定幅フォントまたは等幅フォントを使用している場合のみ表示されます。
	ページに印刷するテキストおよびグラフィックの方向を指定します。	印刷方向: 縦* 横	[縦]を選択すると、テキストおよびグラフィックを用紙の短辺と平行に印刷します。 [横]を選択すると、テキストおよびグラフィックを用紙の長辺と平行に印刷します。
	各ページに印刷する行数を選択します。	行/ページ: 1-255 60*(米国) 64*(米国以外)	各行間のスペース(縦のスペース)は、[行/ページ]、[用紙サイズ]、[印刷方向]のメニュー項目で選択した値によって異なります。[行/ページ]を変更する前に、[用紙サイズ]および[印刷方向]の適切な値を選択してください。
	A4 サイズ用紙の論理ページ幅を設定します。	A4 幅: 198 mm* 203 mm	メモ: 幅を[203 mm]に設定すると、論理ページが 10 ピッチの文字を 80 文字印刷できる幅になります。
	プリンタで、ラインフィード制御コマンドの後にキャリッジリターンを自動的に実行するかどうかを指定します。	LF 後に自動 CR: オフ* オン	オフ - ラインフィード制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行しません。 オン - ラインフィード制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行します。
	プリンタで、キャリッジリターン制御コマンドの後にラインフィードを自動的に実行するかどうかを指定します。	CR 後に自動 LF: オフ* オン	オフ - キャリッジリターン制御コマンドの後にラインフィードを自動的に実行しません。 オン - キャリッジリターン制御コマンドの後にラインフィードを自動的に実行します。
トレイの再番号付け	用紙カセットを他の給紙源に割り当てたプリンタドライバまたはアプリケーションでプリンタが動作するように設定します。	MP フィーダを割り当て: オフ* なし 0-199	オフ - 工場出荷時に設定された給紙源を使用します。 なし - 給紙の選択コマンドを使用しません。 0-199 - 選択した数値を、ユーザー定義する給紙源に割り当てます。
		トレイを割り当て [X]: オフ* なし 0-199	オフ - 工場出荷時に設定された給紙源を使用します。 なし - 給紙の選択コマンドを使用しません。 0-199 - 選択した数値を、ユーザー定義する給紙源に割り当てます。
		封筒フィーダを割り当て: オフ* なし 0-199	オフ - 工場出荷時に設定された給紙源を使用します。 なし - 給紙の選択コマンドを使用しません。 0-199 - 選択した数値を、ユーザー定義する給紙源に割り当てます。
		手差し用紙割当て: オフ* なし 0-199	オフ - 工場出荷時に設定された給紙源を使用します。 なし - 給紙の選択コマンドを使用しません。 0-199 - 選択した数値を、ユーザー定義する給紙源に割り当てます。
		手差し封筒を割当て: オフ* なし 0-199	オフ - 工場出荷時に設定された給紙源を使用します。 なし - 給紙の選択コマンドを使用しません。 0-199 - 選択した数値を、ユーザー定義する給紙源に割り当てます。
		出荷時設定を表示 標準設定に復元	各給紙源に割り当てられた工場出荷時の設定値を表示します。 カセットに割り当てた値をすべて工場出荷時の値に戻すには[はい]を選択します。

セキュリティ

暗証番号を必要とする印刷ジョブそれぞれのセキュリティレベルを設定する場合に選択します。

メニュー項目:	機能:	値:
ジョブ期限切れ	秘密ジョブを削除するまでの時間を制限します。	オフ* 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間

ネットワーク/ポート

TCP/IP

TCP/IP 設定を表示または変更する場合には選択します。

 **メモ:** ネットワークに対応していない機種では表示されません。

メニュー項目	機能	値	
TCP/IP	ネットワークオプションを TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)に設定します。	有効化	オン* オフ
		ホスト名を表示	表示のみ
		アドレス	4 フィールドの IP アドレス
		ネットマスク	
		ゲートウェイ	
		DHCP を有効化	
		RARP を有効化	
		BOOTP を有効化	
		AutoIP	
		FTP/TFTP を有効化	
		HTTP サーバーが有効	4 フィールドの IP アドレス
		WINS サーバーアドレス	
DNS サーバーアドレス			

標準ネットワーク、ネットワーク <x>

ネットワークポート([標準ネットワーク]または[ネットワーク <x>])経由で送信されるジョブのプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	機能	値	
PCL SmartSwitch	標準の言語設定に関わらず、ネットワークポート経由で受信したジョブが PCL エミュレーションを要求した場合に、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。	オン*	ネットワークインターフェイスのデータが PCL エミュレーションを必要とするプリンタ言語かどうかを確認し、必要に応じて PCL エミュレーションを選択します。
		オフ	受信するデータを確認しません。[PS SmartSwitch]がオンになっている場合は PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch]がオフになっている場合は、 セットアップメニュー で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch	標準の言語設定に関わらず、ネットワークポート経由で受信したジョブが PostScript エミュレーションを要求した場合に、プリンタが自動的に PostScript エミュレーションに切り替わるように設定します。	オン*	ネットワークインターフェイス接続のデータが PostScript エミュレーションを必要とするプリンタ言語かどうかを確認し、必要に応じて PostScript エミュレーションを選択します。
		オフ	受信するデータを確認しません。[PCL SmartSwitch]がオンになっている場合は PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch]がオフになっている場合は、 セットアップメニュー で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード	NPA(Network Printing Alliance)プロトコルの規定に従って、双方向通信に必要とされる特殊な処理を実行するかどうかを指定します。 メモ: このメニュー項目を変更すると、プリンタは自動的にリセットされます。	オフ	プリンタで NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタがデータを確認して形式を決定し、適切に処理します。
ネットワークバッファ	ネットワーク入力バッファのサイズを決定します。 メモ: [ネットワークバッファ]メニュー項目を変更すると、プリンタは自動的にリセットされます。	自動*	プリンタが ネットワークバッファ のサイズを自動的に計算します(推奨)。
		最大サイズ 3K(1K 間隔)	ユーザーが ネットワークバッファ のサイズを指定します。最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファ、[リソース保存]のオン、オフの設定によって異なります。 ネットワークバッファ のサイズを最大にすると、パラレルバッファ、シリアルバッファ、USB バッファのサイズが縮小するかまたは使用できなくなります。
Mac バイナリ PS	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理できるようにプリンタを設定します。	オン	プリンタが、Macintosh オペレーティングシステムを利用して、コンピュータから raw バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。 メモ: この設定により、Windows 印刷ジョブでエラーが発生する場合があります。
		オフ	プリンタが、標準プロトコルを使用する PostScript 印刷ジョブをフィルタします。
		自動*	プリンタが、Windows または Macintosh を利用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。

標準 USB、USB <x>

プリンタの USB ポート(**USB <x>**)設定を変更する場合には使用します。

メニュー項目	機能	値	
PCL SmartSwitch	標準の言語設定に関わらず、USB ポート経由で受信したジョブが PCL エミュレーションを要求した場合に、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。	オン*	USB ポートのデータが PostScript エミュレーションを必要とするプリンタ言語かどうかを確認し、必要に応じて PCL エミュレーションを選択します。
		オフ	受信するデータを確認しません。[PS SmartSwitch]がオンになっている場合は PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch]がオフになっている場合は、 セットアップメニュー で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch	標準の言語設定に関わらず、USB ポート経由で受信したジョブが PostScript エミュレーションを要求した場合に、プリンタが	オン*	USB インターフェイスのデータが PostScript エミュレーションを必要とするプリンタ言語かどうかを確認し、必要に応じて PostScript エミュレーションを選択します。

	自動的に PostScript エミュレーションに切り替わるように設定します。	オフ	受信するデータを確認しません。[PCL SmartSwitch]がオンになっている場合は PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch]がオフになっている場合は、 セットアップメニュー で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード	NPA(Network Printing Alliance)プロトコルの規定に従って、双方向通信に必要とされる特殊な処理を実行するかどうかを指定します。 メモ: このメニュー項目を変更すると、プリンタは自動的にリセットされます。	オン	プリンタが NPA 処理を実行します。データが NPA 形式でない場合は、無効なデータとして拒否されます。
		オフ	プリンタで NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタがデータを確認して形式を決定し、適切に処理します。
USB バッファ	USB 入力バッファのサイズを決定します。 メモ: [USB バッファ]メニュー項目を変更すると、プリンタは自動的にリセットされます。	無効	ジョブバッファを無効にします。受信ジョブの通常処理を再開する前に、ディスクにあるバッファ済みのジョブが印刷されます。
		自動*	プリンタが USB バッファ のサイズを自動的に計算します(推奨)。
		最大サイズ 3K	ユーザーが USB バッファ のサイズを指定します。最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファ、[リソース保存]のオン、オフの設定によって異なります。 USB バッファ のサイズを最大にすると、 パラレルバッファ 、シリアルバッファ、ネットワークバッファのサイズが縮小するかまたは使用できなくなります。
Mac バイナリ PS	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理できるようにプリンタを設定します。	オン	プリンタが、Macintosh オペレーティングシステムを利用して、コンピュータから raw バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。 メモ: この設定により、Windows 印刷ジョブでエラーが発生する場合があります。
		オフ	プリンタが、標準プロトコルを使用する PostScript 印刷ジョブをフィルタします。
		自動*	プリンタが、Windows または Macintosh を利用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。
ENA アドレス	USB ポートの ENA アドレスを設定します。	4 フィールドの IP アドレス	USB ポート経由で ENA が接続されている場合のみ表示されます。
ENA ネットマスク	USB ポートの ENA ネットマスクを設定します。		
ENA ゲートウェイ	USB ポートの ENA ゲートウェイを設定します。		

パラレルおよびパラレル <x>

パラレルポート([標準パラレル]または[パラレル <x>])経由で送信されるジョブのプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	機能	値	値
PCL SmartSwitch	標準の言語設定に関わらず、パラレルポート経由で受信したジョブが PCL エミュレーションを要求した場合に、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。	オン*	パラレルインターフェイスのデータが PCL エミュレーションを必要とするプリンタ言語かどうかを確認し、必要に応じて PCL エミュレーションを選択します。
		オフ	受信するデータを確認しません。[PS SmartSwitch]がオンになっている場合は PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch]がオフになっている場合は、 セットアップメニュー で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch	標準の言語設定に関わらず、パラレルポート経由で受信したジョブが PostScript エミュレーションを要求した場合に、プリンタが自動的に PostScript エミュレーションに切り替わるように設定します。	オン*	パラレルインターフェイスのデータが PostScript エミュレーションを必要とするプリンタ言語かどうかを確認し、必要に応じて PostScript エミュレーションを選択します。
		オフ	受信するデータを確認しません。[PCL SmartSwitch]がオンになっている場合は PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch]がオフになっている場合は、 セットアップメニュー で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード	NPA(Network Printing Alliance)プロトコルの規定に従って、双方向通信に必要とされる特殊な処理を実行するかどうかを指定します。 メモ: このメニュー項目を変更すると、プリンタは自動的にリセットされます。	オン	プリンタが NPA 処理を実行します。データが NPA 形式でない場合は、無効なデータとして拒否されます。
		オフ	プリンタで NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタがデータを確認して形式を決定し、適切に処理します。
パラレルバッファ	パラレル入力バッファのサイズを決定します。 メモ: このメニュー項目を変更すると、プリンタは自動的にリセットされます。	無効	ジョブバッファを無効にします。受信ジョブの通常処理を再開する前に、ディスクにあるバッファ済みのジョブが印刷されます。
		自動*	プリンタが パラレルバッファ のサイズを自動的に計算します(推奨)。
		最大サイズ 3K	ユーザーが パラレルバッファ のサイズを指定します。最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファ、[リソース保存]のオン、オフの設定によって異なります。 パラレルバッファ のサイズを最大にすると、シリアルバッファと USB バッファのサイズが縮小するかまたは使用できなくなります。
詳細状況	パラレルポート経由の双方通信を有効にします。	オフ	パラレルポートネゴシエーションを無効にします。
		オン*	パラレルインターフェイス経由の双方通信を有効にします。
プロトコル	パラレルインターフェイスプロトコルを指定します。	標準	パラレルインターフェイスで発生する問題を解決できる場合があります。
		高速バイト*	ほとんどの既存のパラレルインターフェイスと互換性があります(推奨)。
初期化の受け付け	コンピュータからハードウェアの初期化を要求された場合に受け入れるかどうかを決定します。コンピュータは、パラレルインターフェイスで INIT 信号を送信して初期化を要求します。多くの PC では、電源をオン/オフするたびに INIT 信号を送信します。	オフ*	コンピュータからのハードウェア初期化要求を拒否します。
		オン	コンピュータからのハードウェア初期化要求を受け入れます。
パラレルモード 2	パラレルポートデータをストロボの立ち上がりエッジ、または立ち下りエッジのどちらでサンプリングするかを決定します。	オン*	パラレルポートデータをストロボの立ち上がりエッジでサンプリングします。
		オフ	パラレルポートデータをストロボの立ち下りエッジでサンプリングします。
Mac バイナリ PS	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理できるようにプリンタを設定します。	オン	プリンタが、Macintosh オペレーティングシステムを利用して、コンピュータから raw バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。 メモ: この設定により、Windows 印刷ジョブでエラーが発生する場合があります。
		オフ	プリンタが、標準プロトコルを使用する PostScript 印刷ジョブをフィルタします。

	自動*	プリンタが、Windows または Macintosh を利用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。
--	-----	--

NetWare

プリンタの NetWare 設定を表示または変更する場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:	
ログイン名を表示	割り当てられた NetWare ログイン名を表示します。	[ログイン名を表示]を選択すると、操作パネルに NetWare 名が表示されます。	
印刷モードを表示	割り当てられた NetWare 印刷モードを表示します。	[印刷モードを表示]を選択すると、操作パネルに NetWare の印刷モードが表示されます。	
ネットワーク番号を表示	割り当てられた NetWare 番号を表示します。	[ネットワーク番号を表示]を選択すると操作パネルに NetWare のネットワーク番号が表示されます。	
有効化	NetWare 機能を有効または無効にします。	オン	NetWare 機能を有効にします。
		オフ	NetWare 機能を無効にします。
Ethernet 802.2	Ethernet 802.2 の値を オン または オフ に設定します。	オン*	オフ
Ethernet 802.3	Ethernet 802.3 の値を オン または オフ に設定します。	オン*	オフ
Ethernet Type II	Ethernet Type II の値を オン または オフ に設定します。	オン*	オフ
Ethernet SNAP	Ethernet SNAP の値を オン または オフ に設定します。	オン*	オフ
パケットバースト	パケットバーストの値を オン または オフ に設定します。	オン	オフ*
NSQ/GSQ モード	NSQ/GSQ モードの値を オン または オフ に設定します。	オン	オフ*

AppleTalk

プリンタの AppleTalk 設定を表示または変更する場合に使用します。

メニュー項目:	機能:	値:	
名前を表示	割り当てられた AppleTalk 名を表示します。	[名前を表示]を選択すると、操作パネルに AppleTalk 名が表示されます。	
アドレスを表示	割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。	[アドレスを表示]を選択すると、操作パネルに AppleTalk アドレスが表示されます。	
有効化	AppleTalk 機能を有効または無効にします。	オン	AppleTalk 機能を有効にします。
		オフ	AppleTalk 機能を無効にします。
ゾーンを設定*	ネットワークのゾーンリストを表示します。	標準設定は、ネットワークの標準のゾーンとなります。ネットワークに標準のゾーンが存在しない場合は、「*」が標準となります。	

操作パネルのメッセージについて

操作パネルには、プリンタの現在の状況、およびプリンタで発生している可能性のある解決すべき問題が表示されます。この章では、プリンタに表示されるすべてのメッセージを一覧で紹介し、各メッセージの意味とメッセージの消去方法について説明します。

以下の表は、メッセージを番号順に一覧で示しています。番号のないものは順不同です。メッセージは索引で検索することもできます。

メッセージ	対処方法
30 無効な再充填、カートリッジを交換	新しいカートリッジを取り付けます。 詳細については、 トナーカートリッジの交換 を参照してください。
31 不良印刷カートリッジを交換	カートリッジを取り外し、新しいカートリッジを取り付けます。 詳細については、 トナーカートリッジの交換 を参照してください。
32 非サポートカートリッジを交換	カートリッジを取り外し、サポートされているカートリッジを取り付けます。 詳細については、 トナーカートリッジの交換 を参照してください。
32 非サポートトナーカートリッジを交換	トナーカートリッジを取り外し、サポートされているトナーカートリッジを取り付けます。 詳細については、 トナーカートリッジの交換 を参照してください。
34 短い用紙	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。 このメッセージの原因となったページは自動的に再印刷されません。 1 カセットの長さおよび幅ガイドを調べて用紙がカセットに合っていることを確認します。 1 印刷ジョブで適切な大きさの用紙を指定していることを確認します。 1 [用紙サイズ]設定で、使用している用紙のサイズを選択します。 [多目的 大きさ]を[ユニバーサル]に設定している場合は、用紙サイズがフォーマット済みのデータよりも十分に大きいかどうかを確認してください。 1 現在のジョブをキャンセルします。
35 リソース保存機能を使うにはメモリ不足です	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してリソース保存を無効にし、印刷を続行します。 1 このメッセージが表示された後でリソース保存を有効にするには、以下の手順に従います。 <ul style="list-style-type: none"> ○ リンクバッファが[自動]に設定されていることを確認してからメニューを終了し、リンクバッファの変更を有効にします。 ○ 「準備完了」と表示されたら、リソース保存を有効にします。 1 メモリを追加します。詳細については、プリンタメモリの取り付けを参照してください。
37 ジョブの丁合いにはメモリ不足	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押して保存済みのジョブを印刷し、残りのジョブの丁合いを始めます。 1 現在のジョブをキャンセルします。
37 フラッシュメモリのデフラグにはメモリ不足	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してデフラグを中止し、印刷を続行します。 1 プリンタメモリに保存されているフォント、マクロ、およびその他のデータを削除します。 1 プリンタメモリを追加します。詳細については、プリンタメモリの取り付けを参照してください。
37 メモリー不足。保存されたジョブが幾つか削除されました	現在のジョブを処理するために保持されたジョブがいくつか削除されました。 [続行] の横に  が表示されるまで 下矢印ボタン  を押してから、 [設定] ボタン  を押してメッセージをクリアします。
38 メモリがいっぱい	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。 ジョブが正しく印刷されない場合があります。 1 現在のジョブをキャンセルします。 1 プリンタメモリを追加します。詳細については、プリンタメモリの取り付けを参照してください。
39 印刷するにはページが複雑すぎる	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。 ジョブが正しく印刷されない場合があります。 1 現在のジョブをキャンセルします。 1 プリンタメモリを追加します。詳細については、プリンタメモリの取り付けを参照してください。
50 PPDs フォントエラー	<ol style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。 ジョブが正しく印刷されない場合があります。 1 現在のジョブをキャンセルします。

51 不良なフラッシュ検出	<p>[設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。</p> <p>フラッシュメモリにリソースをダウンロードする前に、別のフラッシュメモリを取り付ける必要があります。詳細については、プリンタメモリの取り付けを参照してください。</p>
52 フラッシュメモリ空領域がリソースには不足	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。</p> <p>フラッシュメモリに保存していないダウンロード済みフォントおよびマクロは削除されます。</p> <p>1 フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。</p> <p>1 より大きい容量のフラッシュメモリを取り付けます。詳細については、プリンタメモリの取り付けを参照してください。</p>
53 未フォーマットのフラッシュ検出	<p>[設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。</p> <p>リソースを保存する前にフラッシュメモリをフォーマットする必要があります。メッセージが消えない場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があり。取り替えてみてください。</p>
54 ネットワーク <x> ソフトエラー	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。</p> <p>ジョブが正しく印刷されない場合があります。</p>
54 標準ネットワーク ソフトエラー	<p>1 ネットワークインターフェイスに新しいファームウェアを設定します。</p> <p>1 プリンタをリセットします。</p>
55 スロット <x> に非サポートオプション	<p>1. プリンタの電源をオフにします。</p> <p>2. コンセントから電源コードを抜きます。</p> <p>3. サポートされていないオプションを取り外します。</p> <p>4. 正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込みます。</p> <p>5. プリンタの電源をオンにします。</p>
56 パラレルポート <x> 無効	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアします。</p> <p>パラレルポート経由で受信したデータはすべて削除されます。</p>
56 標準パラレルポート無効	<p>1 パラレルパuffアのメニュー項目が無効に設定されていないことを確認します。</p>
56 USB ポート <x> 無効	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアします。</p> <p>USB ポート経由で受信したデータはすべて削除されます。</p> <p>1 USB パuffアのメニュー項目が無効に設定されていないことを確認します。</p>
56 標準 USB ポート無効	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアします。</p> <p>USB ポート経由で受信したデータはすべて削除されます。</p> <p>1 USB パuffアのメニュー項目が無効に設定されていないことを確認します。</p>
58 取付けられたフラッシュオプションが多すぎます	<p>1. 電源をオフにして電源コードを抜きます。</p> <p>2. 余分なフラッシュメモリを取り外します。</p> <p>3. 電源コードを差し込んで、プリンタの電源をオンにします。</p>
58 取付けられたトレイが多すぎます	<p>1. 電源をオフにして電源コードを抜きます。</p> <p>2. 余分なトレイを取り外します。</p> <p>3. 電源コードを差し込んで、プリンタの電源をオンにします。</p>
58 取付けられたカセットが多すぎます	<p>1. 電源をオフにして電源コードを抜きます。</p> <p>2. 余分なドローを取り外します。</p> <p>3. 電源コードを差し込んで、プリンタの電源をオンにします。</p>
59 非互換の両面印刷	<p>1 両面印刷ユニットを取り外します。</p> <p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、両面印刷ユニットを使用せずに印刷を続行します。</p>
59 非互換の封筒フィーダ	<p>1 封筒フィーダを取り外します。</p> <p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、封筒フィーダを使用せずに印刷を続行します。</p>
59 非互換の排紙トレイ <x>	<p>1 排紙トレイを取り外します。</p> <p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、指定された排紙トレイを使用せずに印刷を続行します。</p>
59 非互換のカセット <x>	<p>1 指定されたカセットを取り外します。</p> <p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、指定されたカセットを使用せずに印刷を続行します。</p>
80 定期保守が推奨される時期です	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。</p> <p>1 メンテナンス部品を交換し、必要に応じてプリンタのメンテナンスカウンタをリセットします。詳細については、メンテナンスキット部品の交換を参照してください。</p>

88 トナー残少	<ol style="list-style-type: none"> 1 トナーカートリッジを交換します。詳細については、トナーカートリッジの交換を参照してください。 1 【設定】ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。
200.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
201.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
202.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
231.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
232.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
233.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
234.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
235.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
236.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
237.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
238.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
239.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
24x.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
250.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
260.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
27x.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
280.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
281.yy 紙詰り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙経路に詰まっている用紙を取り除きます。 2. 用紙を取り除いたら、【設定】ボタン  を押して印刷を続行します。
900 ~ 999 サービス <メッセージ>	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタの電源をオフにします。 2. コンセントから電源コードを抜きます。 3. すべてのケーブルが接続されていることを確認します。 4. 正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込みます。 5. プリンタの電源をオンにします。 <p>サービスメッセージが再度表示される場合は、サービス担当者に連絡し、メッセージ番号と発生した問題の詳細を伝えてください。</p>
メニューの変更を有効化中	メッセージが消えるまで待ちます。
ビジー	メッセージが消えるまで待つか、印刷ジョブをキャンセルします。

校正中	メッセージが消えるまで待ちます。
キャンセルは使用不能	メッセージが消えるまで待ちます。
取消中	メッセージが消えるまで待ちます。
<src> を <ユーザー定義名> に変更	<ul style="list-style-type: none"> 1 用紙を変更した場合は、[設定]ボタン  を押します。 1 現在プリンタにセットされている用紙に印刷するには、[セットされている物を使用]を選択します。
<src> を <ユーザー定義文字列> に変更	<ul style="list-style-type: none"> 1 現在のジョブをキャンセルします。
<src> を <サイズ> に変更	
<src> を <種類> <サイズ> に変更	
両面印刷の接続を確認	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をいったんオフにして入れなおします。再度エラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、両面印刷ユニットを取り外します。両面印刷ユニットを再度取り付け、正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込み、プリンタの電源をオンにします。詳細については、両面印刷ユニットの取り付けを参照してください。 <p>それでもエラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、指定されたデバイスを取り外し、サービス担当者まで連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、指定されたデバイスを使用せずに印刷を続行します。
カセット <x> の接続を確認	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をいったんオフにして入れなおします。再度エラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、カセットを取り外します。カセットを再度取り付け、正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込み、プリンタの電源をオンにします。詳細については、250 枚ドローまたは 500 枚ドローの取り付けを参照してください。 <p>それでもエラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、指定されたデバイスを取り外し、サービス担当者まで連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、指定されたデバイスを使用せずに印刷を続行します。
ジョブ統計情報をクリア中	メッセージが消えるまで待ちます。
ドアを閉じる、カートリッジを挿入	<ul style="list-style-type: none"> 1 上部の前面ドアを閉じます。 1 トナーカートリッジを取り付けます。
部数	必要な印刷部数を入力します。
フラッシュをデフラグ中 電源を切らないこと	<p>メッセージが消えるまで待ちます。</p> <p>メモ: メッセージが表示されている間は、プリンタの電源をオフにしないでください。</p>
削除	<ul style="list-style-type: none"> 1 指定されたジョブを削除するには、[設定]ボタン  を押します。 1 操作を停止するには、[キャンセル]を押します。
全て削除	<ul style="list-style-type: none"> 1 秘密ジョブをすべて削除するには、[設定]ボタン  を押します。 1 操作を停止するには、[キャンセル]を押します。
全ての秘密ジョブを削除	<ul style="list-style-type: none"> 1 保持されているジョブをすべて削除するには、[設定]ボタン  を押します。 1 操作を停止するには、[キャンセル]を押します。
削除中	メッセージが消えるまで待ちます。
DLE を無効化中	メッセージが消えるまで待ちます。
メニューを無効化中	<p>メッセージが消えるまで待ちます。</p> <p>メモ: メニューが無効になっている間は、操作パネルを使用してプリンタの設定を変更することはできません。</p>
メニューを有効化中	メッセージが消えるまで待ちます。
暗証を入力	プリンタに秘密ジョブを送信した際にドライバで指定した暗証番号を入力します。
ロックは暗証入力	操作パネルをロックしてメニューを変更できないようにするため、正しい暗証番号を入力します。
バッファの消去中	メッセージが消えるまで待ちます。
フラッシュのフォーマット 電源を切らないこと	<p>メッセージが消えるまで待ちます。</p> <p>メモ: メッセージが表示されている間は、プリンタの電源をオフにしないでください。</p>
16 進トレース	プリンタは 16 進トレース モードです。
カセット <x> を挿入	指定されたカセットをプリンタに挿入します。
トレイ <x> を取付け	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、指定されたトレイを取り付けます。その後、正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込んでプリンタの電源をオンにします。詳細については、250 枚ドローまたは 500 枚ドローの取り付けを参照してください。 1 現在のジョブをキャンセルします。
両面印刷を取付け	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、両面印刷ユニットを取り付けます。その後、正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込んでプリンタの電源をオンにします。詳細については、両面印刷ユニットの取り付けを参照してください。 1 現在のジョブをキャンセルします。
封筒フィーダを取付け	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をオフにし、封筒フィーダを取り付けてからプリンタの電源をオンにします (⇒「封筒フィーダの取り付け」)。 1 現在のジョブをキャンセルします。
カセット <x> を取付け	<ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、指定されたカセットを取り付けます。その後、正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込んで

	<p>プリンタの電源をオンにします。詳細については、250 枚ドローまたは 500 枚ドローの取り付けを参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在のジョブをキャンセルします。
内部システム エラー、しおりを再読み込み	<ol style="list-style-type: none"> しおりを再度読み込みます。 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。
内部システムエラー、セキュリティ証明を再読み込み	<ol style="list-style-type: none"> セキュリティ証明書を再度読み込みます。 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。
無効なネットワークコード	<p>有効なコードを内蔵プリントサーバーにダウンロードします。</p> <p>メモ: このメッセージが表示されている間はネットワークコードをダウンロードできます。</p>
無効なエンジンコード	<p>有効なエンジンコードをプリンタにダウンロードします。</p> <p>メモ: このメッセージが表示されている間はエンジンコードをダウンロードできます。</p>
暗証が無効	正しい暗証番号を入力します。
手差しフィーダに <ユーザー定義用紙> をセット	<ol style="list-style-type: none"> 指定された用紙を手差しフィーダまたは多目的フィーダにセットします。 給紙源のいずれかにセットされている用紙を使用して印刷するには、[設定]ボタン  を押します。
手差しフィーダに <ユーザー定義文字列> をセット	正しい種類とサイズの用紙がセットされているカセットが検出された場合は、そのカセットから給紙されます。正しい種類とサイズの用紙がセットされているカセットが検出されない場合は、標準設定の給紙源にセットされている用紙に印刷されます。
手差しフィーダに <サイズ> をセット	
手差しフィーダに <サイズ> <種類> をセット	
<src> に <ユーザー定義名> をセット	
<src> に <ユーザー定義文字列> をセット	<ol style="list-style-type: none"> 給紙源に正しい種類およびサイズの用紙をセットします。 現在のジョブをキャンセルします。
<src> <サイズ> をセット	
<src> <種類> <サイズ> をセット	
メンテナンス	メンテナンス部品を交換し、必要に応じてプリンタのメンテナンスカウンタをリセットします。
今メニューは無効です	<p>プリンタメニューが無効です。操作パネルを使用してプリンタの設定を変更することはできません。</p> <p>メモ: ジョブのキャンセル、秘密ジョブまたは保持されているジョブの印刷は行うことができます。</p> <p>システムサポート担当者にお問い合わせください。</p>
ネットワーク	ネットワークインターフェイスが現在有効な通信リンクです。
ネットワーク <x>	
ネットワーク <x>、<y>	ネットワークインターフェイスが現在有効な通信リンクです。<x> は有効な通信リンク、<y> はチャンネルを示します。
保持されたジョブなし	メッセージが消えるまで待ちます。
ジョブ見つからず	<p>メモ: 入力した 4 桁の暗証番号がどの秘密ジョブにも関連付けられていません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 別の暗証番号を入力します。 暗証番号の入力画面を閉じます。
キャンセルするジョブがありません	メッセージが消えるまで待ちます。
排紙先、満杯	トレイにある用紙の束を取り出してメッセージをクリアします。
バラレル	バラレルインターフェイスが現在有効な通信リンクです。
バラレル <x>	
節電	<ol style="list-style-type: none"> ジョブを送信して印刷します。 [設定]ボタン  を押してプリンタを通常の動作温度にし、準備完了メッセージを表示させます。
プリンタロック中、解除には暗証入力	<p>操作パネルがロックされています。</p> <p>正しい暗証番号を入力します。</p>
印刷	メッセージが消えるまで待ちます。
整列ページを印刷	メッセージが消えるまで待ちます。
システムコードのプログラミング中	<p>メッセージが消えるまで待ち、プリンタをリセットします。</p> <p>メモ: メッセージが表示されている間は、プリンタの電源をオフにしないでください。</p>
フラッシュのプログラミング	<p>メッセージが消えるまで待ちます。</p> <p>メモ: メッセージが表示されている間は、プリンタの電源をオフにしないでください。</p>
準備完了	ジョブを送信して印刷します。
トレイ <x> を再取付け	<ol style="list-style-type: none"> プリンタの電源をいったんオフに入れて入れなおします。 <ul style="list-style-type: none"> 再度エラーが発生した場合は、プリンタの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜き、指定されたトレイを取り外します。その後、プリンタにトレイを取り付けなおし、正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込んでプリンタの電源をオンにします。 それでもエラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、指定されたデバイスを取り外し、サービス担当者まで連絡してください。

	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、指定されたトレイを使用せずに印刷を続行します。</p>
トレイ <x> ~ <y> を再取付け	<p>1 プリンタの電源をいったんオフにして入れなおします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 再度エラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜き、指定されたトレイを取り外します。その後プリンタにトレイを取り付けなおしプリンタの電源をオンにします。 ○ それでもエラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、指定されたトレイを取り外し、サービス担当者まで連絡してください。 <p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、指定されたトレイを使用せずに印刷を続行します。</p>
封筒フィーダを再取付け	<p>1 プリンタの電源をいったんオフにして入れなおします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 再度エラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにし、封筒フィーダを取り外してから、プリンタに取り付けなおしてください。 ○ それでもエラーが発生する場合は、プリンタの電源をオフにし、封筒フィーダを取り外してサービス担当者まで連絡してください。 <p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、封筒フィーダを使用せずに印刷を続行します。</p>
リモート管理有効、電源を切らないこと	<p>プリンタの設定を行うため、プリンタがオフラインにされています。この間は、ジョブの印刷や処理を行えません。</p> <p>メッセージが消えるまで待ちます。</p>
トレイ <x> から用紙を取除く	指定されたトレイから用紙の束を取り除きます。
すべてのトレイから用紙を取除く	すべての排紙トレイから用紙を取り除きます。
<関連付けられた一連のトレイ名> から用紙を取除く	<p>プリンタは、用紙が取り除かれたことを自動的に検出し印刷を再開します。</p> <p>用紙を取り除いてもメッセージがクリアされない場合は、[設定]ボタン  を押します。</p>
排紙トレイから用紙を取除く	標準トレイから用紙を取り除きます。
有効トレイをリセット中	メッセージが消えるまで待ちます。
プリンタをリセット中	メッセージが消えるまで待ちます。
出荷時標準設定への復元	<p>メッセージが消えるまで待ちます。</p> <p>メモ: 出荷時標準設定を復元した場合は、以下の状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタメモリにダウンロードしたすべてのリソース(フォント、マクロ、シンボルセット)が削除されます。 1 すべてのメニュー設定が出荷時標準設定に戻ります。ただし以下の設定は変更されません。 <ul style="list-style-type: none"> ○ セットアップメニューの言語表示 ○ パラレル、ネットワーク、赤外線、LocalTalk、USB のすべての設定
保留ジョブ復元中 x/y	<p>1 メッセージが消えるまで待ちます。</p> <p>1 復元されていない印刷ジョブおよび保持されているジョブを削除するには、[終了]を選択して復元を中止します。</p> <p>メモ: x は復元中のジョブの数、y は復元されるジョブの総数を示します。</p>
保持されたジョブが幾つか消失	<p>1 [設定]ボタン  を押してメッセージをクリアし、印刷を続行します。</p> <p>プリンタは、保持されている最も古いジョブを削除してメモリ容量を確保します。ジョブを処理するために必要なプリンタメモリが確保されるまでジョブの削除を繰り返します。</p> <p>1 現在のジョブをキャンセルします。</p>
標準排紙先、満杯	トレイにある用紙の束を取り出してメッセージをクリアします。
選択を送信中	メッセージが消えるまで待ちます。
トナー残少	<p>1 トナーカートリッジを交換します。</p> <p>1 メッセージを消去して印刷を続行するには、[設定]を押します。</p>
カセット <x> が空	カセットに用紙をセットしてメッセージをクリアします。
カセット <x> 残少	カセットに用紙を追加してメッセージをクリアします。
カセット <x> が不明	カセットをプリンタに挿入します。
USB	プリンタは、指定された USB ポート経由でデータを処理しています。
USB <x>	
消耗品を表示	プリンタ消耗品すべての現在の状態を表示します。
待機中	<p>プリンタは印刷するページのデータを受信しましたが、ジョブコマンドの終了、フォームフィードコマンドの終了、またはその他のデータを待機しています。</p> <p>1 [設定]ボタン  を押してバッファの内容を印刷します。</p> <p>1 現在のジョブをキャンセルします。</p>

ネットワーク印刷用ドライバのインストール方法

- [ネットワーク設定ページの印刷](#)
- [プリンタへの IP アドレスの割り当て](#)
- [IP 設定の確認](#)
- [Windows](#)
- [Macintosh](#)
- [Linux/UNIX](#)
- [NetWare](#)

ネットワーク設定ページの印刷

プリンタがネットワークに接続されている場合、プリンタのネットワーク設定ページを印刷することでネットワーク接続を確認できます。このページにはプリンタのネットワーク印刷の設定に関する重要な情報も記載されています。

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
2. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
3. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
4. [ネットワーク設定ページ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

 **メモ:** オプションのプリントサーバーをインストールしてある場合は、画面に[ネット1 設定を印刷]が表示されます。

5. ネットワーク設定ページの最初の項目で、ステータスが「接続済み」になっていることを確認します。

ステータスが「接続済み」になっていない場合は、LAN が無効になっているか、ネットワークケーブルが正しく機能していない可能性があります。システムサポート担当者に問い合わせで解決してから、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してプリンタがネットワークに接続されているかどうかを確認してください。

プリンタへの IP アドレスの割り当て

DHCP を使用したネットワークに接続する場合は、ネットワークケーブルをプリンタに接続すると IP アドレスが自動的に割り当てられます。標準設定の IP アドレスは、169.254.x.x です。

1. [ネットワーク設定ページの印刷](#) で印刷したネットワーク設定ページで、「TCP/IP」に表示されているアドレスを確認します。
2. [IP 設定の確認](#) の手順 2 を実行します。

DHCP を使用していないネットワークに接続する場合は、プリンタの IP アドレスを手動で割り当てます。この作業は操作パネルで簡単に行うことができます。

1. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
2. [ネットワーク/ポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
3. [TCP/IP]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

プリンタのシステムボードにネットワークポートが搭載されている場合は、[標準ネットワーク]が表示されます。プリントサーバーがインストールされている場合は、[ネット オフ 1]が表示されます。

4. [アドレス]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
5. 数字ボタンを使用して IP アドレスを入力します。アドレスを入力したら[設定]ボタン  を押します。
「選択を送信中」が表示されます。
6. [ネットマスク]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
7. 数字ボタンを使用して IP ネットマスクを入力します。アドレスを入力したら[設定]ボタン  を押します。
「選択を送信中」が表示されます。

8. [ゲートウェイ]の横に▶が表示されるまで下矢印ボタン▼を押してから、[設定]ボタン①を押します。
9. 数字ボタンを使用して IP ゲートウェイを入力します。アドレスを入力したら[設定]ボタン②を押します。
「選択を送信中」が表示されます。
10. 「準備完了」と表示されるまで[設定]ボタン③を押します。

IP 設定の確認

1. もう一度ネットワーク設定ページを印刷します。[TCP/IP]に表示されている IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイが正しいことを確認します(⇒「[ネットワーク設定ページの印刷](#)」)。
2. プリンタに Ping を送信し、応答があることを確認します。ネットワークコンピュータのコマンドプロンプトで、ping と新しいプリンタの IP アドレス(例:192.168.0.11)を入力します。

 **メモ:** Windows コンピュータでは[スタート]、[プログラム]、[コマンドプロンプト]の順にクリックするか、[スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[コマンドプロンプト]の順にクリックします。

ネットワーク上でプリンタが動作している場合は、応答が返されます。

TCP/IP の設定および確認が終了したら、各ネットワークコンピュータにプリンタをインストールします。

オペレーティングシステム
Windows
Macintosh
Linux/UNIX
NetWare

Windows

Windows 環境では、ネットワークプリンタを直接印刷または共有印刷を行うように設定できます。どちらの印刷方法も、プリンタドライバのインストールおよびネットワークプリンタポートの作成が必要になります。

サポートされているプリンタドライバ

Drivers and Utilities CD に収録されているカスタムドライバを使用できます。

サポートされているネットワークプリンタポート

1. Microsoft 標準 TCP/IP ポート - Windows XP Professional x64, Windows XP, Windows Server 2003, Windows 2000
1. LPR - Windows NT 4.0
1. プリンタネットワークポート - Windows XP Professional x64, Windows XP, Windows Server 2003, Windows 2000, Windows 98 SE/Me

プリンタの基本的な機能を使用するには、プリンタドライバをインストールして LPR または標準 TCP/IP ポートなどのネットワークプリンタポートを使用します。プリンタドライバとポートをインストールすることで、ネットワークに接続しているすべてのプリンタのユーザーインターフェイスを統一できます。ユーザー定義のネットワークポートを使用すると、プリンタステータスの警報を受信するなど、拡張機能を使用することができます。

ネットワークケーブルとの直接接続(プリントサーバーを使用する場合)

印刷サーバーとは、すべてのクライアント印刷ジョブを集中管理する、指定されたコンピュータのことです。小規模のワークグループ環境でプリンタを共有していて、ネットワーク上のすべての印刷ジョブを制御する場合は、以下の手順に従ってプリンタをプリントサーバーに接続します。

1. *Drivers and Utilities* CD をセットします。
2. *Drivers and Utilities* CD からインストールソフトウェアが自動的に起動します。
CD により自動的に起動しない場合は、[スタート]、[ファイル名を指定して実行]の順にクリックし、D:\setup.exe(D は、CD ドライブのドライブ文字)と入力して[OK]をクリックします。
3. *Drivers and Utilities* CD の画面が表示されたら、[ネットワークインストール: ネットワーク上でこのプリンタを使用するためのインストール]をクリックします。
4. ローカルインストールには、[このコンピュータにプリンタをインストール]を選択して[次へ]をクリックします。

リモートインストールを行うには、以下の手順に従います。

- a. [1 つ以上のリモートコンピュータにプリンタをインストールする]を選択して、[次へ]をクリックします。
 - b. 管理ユーザー名およびパスワードを入力し、[追加]をクリックします。
 - c. クライアントまたはサーバーを選択し、[次へ]をクリックします。
5. インストールするネットワークプリンタを選択します。お使いのプリンタが一覧に入っていない場合は、[更新]をクリックして一覧を更新するか、[プリンタを追加]をクリックしてネットワークにプリンタを追加します。
 6. [このプリンタをサーバー上にセットアップする。]を選択し、[次へ]をクリックします。
 7. お使いのプリンタを一覧で選択します。表示されているプリンタ名を変更するには、[プリンタ名]フィールドに新しい名前を入力します。
 8. ネットワーク上の他のユーザーもこのプリンタを使用できるようにするには、[このプリンタを他のコンピュータと共有]を選択し、ユーザーにわかりやすい共有名を入力します。
 9. [次へ]をクリックします。
 10. インストールするソフトウェアと説明書類を選択し、[インストール]をクリックします
 11. インストール完了画面が表示されたら、コンピュータを再起動するかどうかを選択し、[終了]をクリックします。

ネットワークケーブルとの直接接続(プリントサーバーを使用しない場合)

小規模のワークグループ環境でプリンタを共有していて、プリントサーバーを使用しない場合は、以下の手順に従ってプリンタをクライアントコンピュータに直接接続します。

1. Drivers and Utilities CD をセットします。
2. Drivers and Utilities CD からインストールソフトウェアが自動的に起動します。
CD により自動的に起動しない場合は、[スタート]、[ファイル名を指定して実行]の順にクリックし、D:\setup.exe(D は、CD ドライブのドライブ文字)と入力して[OK]をクリックします。
3. Drivers and Utilities CD の画面が表示されたら、[ネットワークインストール: ネットワーク上でこのプリンタを使用するためのインストール]をクリックします。
4. [1 つ以上のリモートコンピュータにプリンタをインストールする]を選択して、[次へ]をクリックします。
5. 管理ユーザー名およびパスワードを入力し、[追加]をクリックします。
6. クライアントまたはサーバーを選択し、[次へ]をクリックします。
7. インストールするネットワークプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。お使いのプリンタが一覧に入っていない場合は、[更新]をクリックして一覧を更新するか、[プリンタを追加]をクリックしてネットワークにプリンタを追加します。
8. お使いのプリンタを一覧で選択します。表示されているプリンタ名を変更するには、[プリンタ名]フィールドに新しい名前を入力します。
9. ネットワーク上の他のユーザーもこのプリンタを使用できるようにするには、[このプリンタを他のコンピュータと共有]を選択し、ユーザーにわかりやすい共有名を入力します。
10. [次へ]をクリックします。
11. インストールするソフトウェアと説明書類を選択し、[インストール]をクリックします
12. インストール完了画面が表示されたら、テストページを印刷して、ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
13. [終了]をクリックして終了します。

USB ケーブルまたはパラレルケーブルとのローカル接続(プリントサーバーを使用する場合)

USB ケーブルまたはパラレルケーブルを使用してプリンタを接続し、複数のユーザーと共有する場合は、以下の手順に従ってプリンタをプリントサーバーと接続します。

 **メモ:** デルプリンタ構成設定 Web ツールにアクセスするには、ネットワークケーブルを使用してプリンタを接続してください。このアプリケーションは、プリンタが USB ケーブルやパラレルケーブルを使用してコンピュータに接続されている場合は使用できません。

Windows オペレーティングシステムの中には、本プリンタと互換性のあるプリンタドライバをすでに含んでいるものもあります。

 **メモ:** カスタムドライバをインストールしても、システムドライバとの置き換えは行われません。[プリンタ]フォルダにプリンタオブジェクトが別々に作成されます。

コンピュータのオペレーティングシステム	使用するケーブル
Windows XP Professional x64 Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE	USB またはパラレル
Windows NT	パラレル

プリンタソフトウェアのインストール方法

 **メモ:** Windows XP Professional x64、Windows XP Professional、Windows NT では、コンピュータにプリンタドライバをインストールするには管理者権限が必要です。

1. コンピュータの電源を入れ、Drivers and Utilities CD を挿入します。Drivers and Utilities CD が自動的に起動します。数秒かかることがあります。

CD により自動的に起動しない場合は、CD に収録されている **setup.exe** をダブルクリックしてください。

2. *Drivers and Utilities* CD の画面が表示されたら、**[ネットワークインストール: ネットワーク上でこのプリンタを使用するためのインストール]**をクリックします。
3. ローカルインストールには、**[このコンピュータにプリンタをインストール]**を選択して**[次へ]**をクリックします。

リモートインストールを行うには、以下の手順に従います。

- a. **[1 つ以上のリモートコンピュータにプリンタをインストールする]**を選択して、**[次へ]**をクリックします。
 - b. 管理ユーザー名およびパスワードを入力し、**[追加]**をクリックします。
 - c. クライアントまたはサーバーを選択し、**[次へ]**をクリックします。
4. インストールするネットワークプリンタを選択します。お使いのプリンタが一覧に入っていない場合は、**[更新]**をクリックして一覧を更新するか、**[プリンタを追加]**をクリックしてネットワークにプリンタを追加します。
 5. **[このプリンタをサーバー上にセットアップする。]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。
 6. お使いのプリンタを一覧で選択します。表示されているプリンタ名を変更するには、**[プリンタ名]**フィールドに新しい名前を入力します。
 7. ネットワーク上の他のユーザーもこのプリンタを使用できるようにするには、**[このプリンタを他のコンピュータと共有]**を選択し、ユーザーにわかりやすい共有名を入力します。
 8. **[次へ]**をクリックします。
 9. インストールするソフトウェアと説明書類を選択し、**[インストール]**をクリックします
すべてのファイルがインストールされると、**[おめでとうございます！]**画面が表示され、プリンタに接続するように要求されます。
 10. **[終了]**をクリックしてから、USB ケーブルまたはパラレルケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続し、プリンタの電源を入れます。
Microsoft プラグアンドプレイによりインストールが行われ、セットアップ完了後にメッセージが表示されます。

追加のプリンタドライバのインストール方法

コンピュータに追加のプリンタドライバをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源を入れ、*Drivers and Utilities* CD を挿入します。*Drivers and Utilities* CD が表示された場合は、**[キャンセル]**をクリックします。
2. *Windows XP* の場合は、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[プリンタとその他のハードウェア]**、**[プリンタと FAX]**の順にクリックします。
その他の *Windows* では、**[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]**の順にクリックします。
3. **[プリンタの追加]**をダブルクリックします。
4. **[次へ]**をクリックします。
5. コンピュータに接続されているローカルプリンタを選択して**[次へ]**をクリックします。
6. プリンタで使用するポートを選択して**[次へ]**をクリックします。
7. **[ディスク使用]**をクリックします。
8. CD ドライブを検索して、お使いのオペレーティングシステムに合ったドライバを選択します。

 **メモ:** コンピュータにプリンタを接続する前に *Drivers and Utilities* CD からプリンタドライバをインストールした場合、お使いのオペレーティングシステムに対応した PCL ドライバが標準でインストールされています。

オペレーティングシステム	ドライバの種類	ドライバの名前
Windows XP Professional x64	PCL	D:\Drivers\Print\x64\dkaatb40.inf
	PS	D:\Drivers\Print\x64\dkaat940.inf
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000	PCL	D:\Drivers\Print\Win_2kXP\dkaat2da.inf
	PS	D:\Drivers\Print\Win_2kXP\dkaat1da.inf
Windows NT	PCL	D:\Drivers\Print\Win_NT.40\dkaat2da.inf
	PS	D:\Drivers\Print\Win_NT.40\dkaat1da.inf
Windows Me Windows 98 SE	PCL	D:\Drivers\Print\Win_9xme<<お使いの言語のフォルダ>>\dkaat2da.inf
	PS	D:\Drivers\Print\Win_9xme<<お使いの言語のフォルダ>>\dkaat1da.inf

9. **[開く]**、**[OK]**の順にクリックします。
10. **[製造元]**の一覧からインストールするドライバ(PCL または PS)を選択し、**[プリンタ]**の一覧から機種を選択して**[次へ]**をクリックします。
11. **プリンタの追加ウィザード**の手順に従って操作を進め、**[完了]**をクリックしてプリンタドライバをインストールします。

共有印刷

 **メモ:** 32 ビットと 64 ビットのオペレーティングシステムが混在している環境でプリンタをセットアップする必要がある場合は、使用するプリンタドライバについてネットワーク管理者にお問い合わせください。混在環境での印刷については、support.dell.com を参照してください。

USB ケーブルまたはパラレルケーブルによる接続を使用してネットワーク上でプリンタを共有するには、Microsoft のポイントアンドプリント方式またはピアツーピア方式を使用できます。これらの方式のいずれかを使用するためには、まずプリンタを共有し、クライアントコンピュータに共有プリンタをインストールする必要があります。

ただし、これらの Microsoft 方式のいずれかを使用する場合、*Drivers and Utilities* CD でインストールされるデル機能の一部 (状況監視センターなど) が使用できなくなります。

プリンタの共有

1. *Windows XP* の場合は、[スタート]、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタと FAX]の順にクリックします。

その他の *Windows* では、[スタート]、[設定]、[プリンタ]の順にクリックします。

2. プリンタを選択します。
3. [ファイル]、[共有]の順にクリックします。
4. [危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。]をクリックします。
5. [ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする]を選択し、[OK]をクリックします。
6. [このプリンタを共有する]を選択し、[共有名]ボックスに名前を入力します。
7. [追加ドライバ]をクリックし、このプリンタで印刷するすべてのネットワーククライアントのオペレーティングシステムを選択します。
8. [OK]をクリックします。

ファイルが不足している場合は、サーバーオペレーティングシステムの CD を挿入するように求められます。

プリンタが正常に共有されていることを確認するには、以下の手順に従います。

- 1 [プリンタ]フォルダのプリンタオブジェクトが、プリンタが共有されていることを示しているかどうかを確認します。たとえば *Windows 2000* では、プリンタアイコンの下部に手のマークが示されます。
- 1 [マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]を参照します。サーバーのホスト名を見つけ、プリンタに割り当てた共有名を探します。

これでプリンタは共有され、ポイントアンドプリントまたはピアツーピア方式を使用してネットワーククライアント上にプリンタをインストールできるようになりました。

クライアントコンピュータへの共有プリンタのインストール

ポイントアンドプリント

この方式はシステムリソースを最も効果的に使用します。プリントサーバーがドライバの変更と印刷ジョブの処理を扱います。これにより、ネットワーククライアントはプログラムに高速に復帰することができます。

ポイントアンドプリント方式を使用する場合、プリントサーバーからクライアントコンピュータにドライバ情報のサブセットがコピーされます。これは、プリンタに印刷ジョブを送信するのに十分な情報です。

1. クライアントコンピュータの *Windows* デスクトップで、[マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]をダブルクリックします。
2. プrintサーバーのコンピュータのホスト名を探し、そのホスト名をダブルクリックします。
3. 共有プリンタ名を右クリックし、[インストール]または[接続]をクリックします。

プリントサーバーのコンピュータからクライアントコンピュータにドライバ情報がコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しいプリンタオブジェクトが追加されるのを待ちます。所要時間は、ネットワークのトラフィックおよび他の要因によって異なります。

4. [マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]を閉じます。
5. プリンタが正常にインストールされたことを確認するためにテストページを印刷します。
6. *Windows XP* の場合は、[スタート]、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタと FAX]の順にクリックします。

その他の *Windows* では、[スタート]、[設定]、[プリンタ]の順にクリックします。

7. 作成したプリンタを選択します。
8. [ファイル]、[プロパティ]の順にクリックします。
9. [全般]タブで、[テストページの印刷]をクリックします。

テストページが正常に印刷されたら、プリンタのインストールは完了です。

ピアツーピア

ピアツーピア方式を使用する場合、プリンタドライバは各クライアントコンピュータに完全にインストールされます。ネットワーククライアントはドライバ変更の制御権を保持します。クライアントコンピュータは印刷ジョブの処理を扱います。

1. Windows XP の場合は、[スタート]、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。

その他の Windows では、[スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

2. [プリンタの追加] をクリックして、プリンタの追加ウィザードを起動します。
3. [ネットワークプリントサーバー] をクリックします。
4. 共有プリンタの一覧からネットワークプリンタを選択します。プリンタが一覧に表示されていない場合は、テキストボックスにプリンタのパスを入力します。

例: \\<プリントサーバーのホスト名> \<共有プリンタ名>

プリントサーバーのホスト名は、ネットワークでプリントサーバーのホストを識別するプリントサーバーコンピュータの名前です。共有プリンタ名は、プリントサーバーのインストール処理中に割り当てた名前です。

5. [OK] をクリックします。

これが新しいプリンタである場合、プリンタドライバをインストールするように求められることがあります。システムドライバが利用可能でない場合は、利用可能なドライバのパスを指定する必要があります。

6. このプリンタをクライアントが通常使用するプリンタにするかどうかを選択し、[完了] をクリックします。
7. プリンタが正常にインストールされたことを確認するために、以下の手順を実行してテストページを印刷します。
 - a. Windows XP の場合は、[スタート]、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。

その他の Windows では、[スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。
 - b. 作成したプリンタを選択します。
 - c. [ファイル]、[プロパティ] の順にクリックします。
 - d. [全般] タブで、[テストページの印刷] をクリックします。

テストページが正常に印刷されたら、プリンタのインストールは完了です。

Macintosh

 **メモ:** PPD(PostScript Printer Description)ファイルには、UNIX または、Macintosh コンピュータで使用しているプリンタの機能についての詳細情報が含まれています。

ネットワークプリンタで印刷を行うには、Macintosh の各ユーザーがカスタム PPD ファイルをインストールし、コンピュータにデスクトッププリンタ(Mac OS 9.x)、またはプリントセンターに印刷キュー(Mac OS X)を作成する必要があります。

Mac OS X

手順 1: カスタム PPD ファイルをインストールする

PPD(PostScript Printer Description)ファイルをコンピュータにインストールします。

1. Drivers and Utilities CD をセットします。
2. プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。

 **メモ:** PPD ファイルには、Macintosh コンピュータで使用できるプリンタ機能についての詳細情報が含まれています。

3. 「ようこそ」画面で「続ける」をクリックし、Readme ファイルを確認してからもう一度「続ける」をクリックします。
4. 使用許諾契約を確認してから「続ける」をクリックし、契約条件に同意したら「同意する」をクリックします。
5. インストール先を選択して「続ける」をクリックします。
6. 「簡易インストール」画面で「インストール」をクリックします。
7. パスワードを入力し、「OK」をクリックします。必要なファイルがコンピュータにすべてインストールされます。
8. インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

手順 2: 「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」で印刷キューを作成する

AppleTalk の印刷機能を使用する

AppleTalk の印刷機能を使用して印刷キューを作成するには、以下の手順に従います。

1. Finder を開き、「アプリケーション」、「ユーティリティ」の順にクリックします。
2. 「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックします。

3. 「プリンタ」メニューから「**プリンタを追加**」を選択します。
4. ポップアップメニューから「**AppleTalk**」を選択します。

 **メモ:** 選択するゾーンまたはプリンタを確認するには、ネットワーク設定ページの「AppleTalk」を参照してください。

5. 一覧から「AppleTalk ゾーン」を選択します。
6. 一覧から新しいプリンタを選択し、「**追加**」をクリックします。
7. 以下の手順に従ってプリンタのインストールを確認します。
 - a. Finder を開き、「**アプリケーション**」、「**TextEdit**」の順にクリックします。
 - b. 「ファイル」メニューで「**プリント**」を選択します。
 - c. 「印刷部数と印刷ページ」ポップアップメニューから「**一覧**」を選択します。

 **メモ:** 選択するゾーンまたはプリンタを確認するには、ネットワーク設定ページの「AppleTalk」に表示される標準設定のプリンタ名を参照してください。

- 「**一覧**」ウィンドウに表示される PPD ファイルがプリンタに対して正しい場合は、設定が完了しています。
- 「**一覧**」ウィンドウに表示される PPD ファイルがプリンタに対して正しくない場合は、「**プリントセンター**」または「**プリンタ設定ユーティリティ**」のプリンタの一覧からそのプリンタを削除し、「[手順 1: カスタム PPD ファイルをインストールする](#)」をもう一度実行します。

IP 印刷機能を使用する

IP 印刷機能を使用して印刷キューを作成するには、以下の手順に従います。AppleTalk で印刷キューを作成するには、[手順 2: 「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」で印刷キューを作成する](#)を参照してください。

1. Finder を開き、「**アプリケーション**」、「**ユーティリティ**」の順にクリックします。
2. 「**プリントセンター**」または「**プリンタ設定ユーティリティ**」をダブルクリックします。
3. 「プリンタ」メニューから「**プリンタを追加**」を選択します。
4. ポップアップメニューから「**IP 印刷**」を選択します。
5. 「**プリンタのアドレス**」ボックスに IP アドレスまたはプリンタの DNS 名を入力します。
6. 「プリンタの機種」ポップアップメニューからプリンタの製造会社を選択します。
7. 一覧から新しいプリンタを選択し、「**追加**」をクリックします。
8. 以下の手順に従ってプリンタのインストールを確認します。
 - a. Finder を開き、「**アプリケーション**」、「**TextEdit**」の順にクリックします。
 - b. 「ファイル」メニューで「**プリント**」を選択します。
 - c. 「印刷部数と印刷ページ」ポップアップメニューから「**一覧**」を選択します。
 - d. 以下のいずれかの手順に従います。
 - 「**一覧**」ウィンドウに表示される PPD ファイルがプリンタに対して正しい場合は、設定が完了しています。
 - 「**一覧**」ウィンドウに表示される PPD ファイルがプリンタに対して正しくない場合は、「**プリントセンター**」または「**プリンタ設定ユーティリティ**」のプリンタの一覧からそのプリンタを削除し、「[手順 1: カスタム PPD ファイルをインストールする](#)」をもう一度実行します。

Mac OS 9.x

手順 1: カスタム PPD ファイルをインストールする

1. *Drivers and Utilities* CD をセットします。
2. 「**Classic**」をダブルクリックし、プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。

 **メモ:** PPD ファイルには、Macintosh コンピュータで使用できるプリンタ機能についての詳細情報が含まれています。

3. 使用する言語を選択し、「**続ける**」をクリックします。
4. Readme ファイルを確認してから、「**続ける**」をクリックします。
5. 使用許諾契約を確認してから「**続ける**」をクリックし、契約条件に同意したら「**同意する**」をクリックします。
6. 「**簡易インストール**」画面で「**インストール**」をクリックします。必要なファイルがコンピュータにすべてインストールされます。
7. インストールが完了したら「**閉じる**」をクリックします。

手順 2: デスクトッププリンタを作成する

1. 「**セレクト**」で「**LaserWriter 8**」ドライバを選択します。
2. ルーテッドネットワークの場合は、一覧から標準設定のゾーンを選択します。選択するゾーンを確認するには、ネットワーク設定ページの「AppleTalk」にある「**ゾーン**」を確認します。

3. 一覧から新しいプリンタを選択します。
4. 選択するプリンタを確認するには、ネットワーク設定ページの「AppleTalk」に表示される標準設定のプリンタ名を参照してください。
5. 「作成」をクリックします。
6. 「セレクト」に表示されているプリンタ名の横にアイコンが表示されていることを確認します。
7. 「セレクト」ウィンドウを閉じます。
8. 以下の手順に従ってプリンタのインストールを確認します。
 - a. 新しく作成されたデスクトッププリンタのアイコンをクリックします。
 - b. 「プリント」、「設定の変更」の順に選択します。
 - o メニューの PPD(PostScript Printer Description) ファイルの部分に表示される PPD ファイルがプリンタに対して正しい場合は、プリンタの設定が完了しています。
 - o メニューの PPD(PostScript Printer Description) ファイルの部分に表示される PPD ファイルがプリンタに対して正しくない場合は、「[手順 1: カスタム PPD ファイルをインストールする](#)」をもう一度実行します。

Linux/UNIX

Sun Solaris や Red Hat などの多くの UNIX および Linux プラットフォームでは、ローカル印刷がサポートされています。

プリンタドライバパッケージは *Drivers and Utilities* CD に収録されています。プリンタドライバパッケージはすべて、パラレル接続によるローカル印刷に対応しています。Sun Solaris 用のドライバパッケージは、Sun Ray 製の機器および Sun ワークステーションの USB 接続に対応しています。

インストールする前に

プリンタドライバをインストールする前に、以下の手順に従います。

1. root ユーザー権限でログオンしていることを確認します。
2. インストールに必要な十分な空きディスク領域があることを確認します
3. 管理ユーザーグループを設定します。

プリンタドライバのインストール中に、プリンタドライバの管理ユーザーグループを変更するかどうかをたずねられます。標準の管理グループは bin です。

ホスト上に管理グループがある場合は、そのグループをプリンタドライバの管理グループとして使用することもできます。管理者以外のユーザーは、プリンタキューを追加または削除することはできません。

4. プリンタドライバパッケージのインストール先を決定します。

プリンタドライバパッケージは、さまざまな構成でインストールできます。具体的には以下のものにインストールできます。

1. プリンタドライバを実行する各ワークステーション
1. 1 台のホスト。その他のワークステーションは、プリンタドライバパッケージファイルを NFS マウントすることができます。詳細については、「プリンタドライバの NFS マウント」を参照してください。

サポートしているオペレーティングシステム

使用している Linux が以下のいずれかであり、入手可能な最新のパッチを適用済みであることを確認してください。

1. Debian GNU/Linux
1. Linspire Linux
1. RedHat Linux
1. SuSE Linux

Linux システム要件

プリンタドライバを Linux にインストールするには、/usr/local に 70MB の空き容量が必要です。

RedHat Linux または SuSE Linux へのインストール

1. [インストールする前に](#)を参照してください。

2. CD をマウントします。
3. パッケージファイルのあるディレクトリに移動します。CD を /mnt/cdrom にマウントした場合は、以下のコマンドを実行します。

```
# cd /mnt/cdrom/unix/packages
```

4. 以下のコマンドを実行して、パッケージファイルをインストールします。

```
# rpm -ivh print-drivers-linux-glibc2-x86.rpm
```

5. 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/local/dell/setup.dellprint
```

 **メモ:** 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。プリンタ CD またはホームページを確認して、利用可能なドライバプラグインがあるかどうか確認してください。

Linspire または Debian GNU/Linux へのインストール

1. [インストールする前](#)に参照してください。
2. CD をマウントします。
3. パッケージファイルのあるディレクトリに移動します。CD を /mnt/cdrom にマウントした場合は、以下のコマンドを実行します。

```
# cd /mnt/cdrom/unix/packages
```

4. 以下のコマンドを実行して、パッケージファイルをインストールします。

```
# deb -i print-drivers-linux-glibc2-x86.deb
```

5. 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/local/dell/setup.dellprint
```

 **メモ:** 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。プリンタ CD またはホームページを確認して、利用可能なドライバプラグインがあるかどうか確認してください。

Sun Solaris SPARC へのインストール

1. NONABI_SCRIPTS 環境変数を TRUE に設定します。
2. パッケージファイルをインストールします。
 - a. 以下のコマンドを入力して **Enter** キーを押し、Volume Manager を起動しているかどうかを確認します。

```
# ps -ef | grep vold
```

応答があった場合は、vold プロセスが実行されているので、Volume Manager は起動しています。この場合、CD は自動的にマウントされます。以下のコマンドを入力して、パッケージインストールプログラムを起動します。

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/unix/packages/ print-drivers-solaris2-sparc.pkg
```

応答がない場合は、Volume Manager が起動していません。

- o /cdrom ディレクトリが存在することを確認してください。
- o CD をマウントします。たとえば、CD-ROM ドライブへのパスが /dev/dsk/c0t6d0s2 の場合は、以下のコマンドを入力します。

```
# mount -F hfs -o ro /dev/dsk/c0t6d0s2 /cdrom
```

- o 以下のコマンドを入力して、パッケージインストールプログラムを起動します。

```
# pkgadd -d /cdrom/unix/packages/print-drivers-solaris2-sparc.pkg
```

- b. 画面の指示に従って操作を続けます。

3. 使用可能なパッケージの一覧が表示されます。

すべてのパッケージをインストールするには、「all」と入力して **Enter** キーを押しします。

個別にインストールする場合は、各パッケージの番号をカンマで区切って入力し、**Enter** キーを押しします。たとえば、「1, 2, 3」のように入力します。

4. プロンプトに表示される指示に従い、画面に表示されるすべての質問に回答します。
 - a. 標準設定を選択する場合は、**Enter** キーを押しします。
 - b. Yes または No で回答する質問には、「y」、「n」、「?」のいずれかを入力して **Enter** キーを押しします。
 - c. インストールに成功したことを示すメッセージが表示されたら、「q」を入力して終了します。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバの削除は、以下の表に示されているユーティリティを使用してシステム管理者が行います。

プリンタドライバパッケージの削除方法は、使用しているオペレーティングシステムによって異なり、プログラムを起動したあとに削除するプリンタドライバパッケージを指定するか、削除するプリンタドライバパッケージ名をコマンドラインで入力します。詳細については、オペレーティングシステムの説明書類を参照してください。

オペレーティングシステム	パッケージ削除ツール
RedHat Linux および SuSE Linux	rpm -e
Linspire Linux および Debian GNU/Linux	dpkg -r

以下のアンインストールスクリプトを実行して、インストール時に作成したシンボリックリンクを削除します。

```
//usr/local/dell/DELLPrtDrv.unlink
```

残っているディレクトリの削除

パッケージ削除ユーティリティは、通常、複数のパッケージで共有されているディレクトリを削除しません。すべてのプリンタドライバパッケージを削除したあとに、いくつかのディレクトリを手動で削除する必要があります。

すべてのパッケージを削除したあとにディレクトリが残っているかどうかを調べるには、プリンタドライバをインストールしたディレクトリを確認してください。標準では、プリンタドライバは以下のディレクトリにインストールされます。

```
/usr/local/dell/unix_prt_drivers
```

NetWare

NDPS/iPrint

このプリンタは Novell Distributed Print Services (NDPS/iPrint) をサポートしています。NetWare 環境にネットワークプリンタをインストールする方法についての最新の情報を参照するには、Novell の説明書類を参照してください。

キューベース印刷

キューベース印刷の詳細については、*Drivers and Utilities CD* の **Interwin** フォルダにある **Readme** ファイルを参照してください。

Other Third-Party Licenses (Software)

The Apache Software License, Version 1.1

Copyright (c) 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "Apache" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

Portions of this software are based upon public domain software originally written at the National Center for Supercomputing Applications, University of Illinois, Urbana-Champaign.

\$Id: LICENSE.txt,v 1.11 2004/02/06 09:32:57 jhunter Exp \$

Copyright (C) 2000-2004 Jason Hunter & Brett McLaughlin.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the disclaimer that follows these conditions in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "JDOM" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact request@jdom.org.
4. Products derived from this software may not be called "JDOM", nor may "JDOM" appear in their name, without prior written permission from the JDOM Project Management (request@jdom.org).

In addition, we request (but do not require) that you include in the end-user documentation provided with the redistribution and/or in the software itself an acknowledgement equivalent to the following:

"This product includes software developed by the JDOM Project (<http://www.jdom.org/>)."

Alternatively, the acknowledgment may be graphical using the logos available at <http://www.jdom.org/images/logos>.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE JDOM AUTHORS OR THE PROJECT CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the JDOM Project and was originally created by Jason Hunter (jhunter@jdom.org) and Brett McLaughlin (brett@jdom.org). For more information on the JDOM Project, please see <http://www.jdom.org/>.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.

675 Mass Ave, Cambridge, MA 02139, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library. Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License: they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. The modified work must itself be a software library.
 - b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably

considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6. Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- c. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- d. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

Appendix: How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This library is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 675 Mass Ave, Cambridge, MA 02139, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
```

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

wxWindows Library Licence, Version 3

Copyright (C) 1998 Julian Smart, Robert Roebing [, ...]

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this licence document, but changing it is not allowed.

WXWINDOWS LIBRARY LICENCE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This library is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public Licence as published by the Free Software Foundation: either version 2 of the Licence, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY: without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public Licence for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public Licence along with this software, usually in a file named COPYING.LIB. If not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA.

EXCEPTION NOTICE

1. As a special exception, the copyright holders of this library give permission for additional uses of the text contained in this release of the library as licensed under the wxWindows Library Licence, applying either version 3 of the Licence, or (at your option) any later version of the Licence as published by the copyright holders of version 3 of the Licence document.
2. The exception is that you may use, copy, link, modify and distribute under the user's own terms, binary object code versions of works based on the Library.
3. If you copy code from files distributed under the terms of the GNU General Public Licence or the GNU Library General Public Licence into a copy of this library, as this licence permits, the exception does not apply to the code that you add in this way. To avoid misleading anyone as to the status of such modified files, you must delete this exception notice from such code and/or adjust the licensing conditions notice accordingly.
4. If you write modifications of your own for this library, it is your choice whether to permit this exception to apply to your modifications. If you do not wish that, you must delete the exception notice from such code and/or adjust the licensing conditions notice accordingly.

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

オプションの取り付けと取り外し

- [取り付けの手順](#)
- [250 枚または 500 枚ドロワーの取り付け](#)
- [両面印刷ユニットの取り付け](#)
- [排紙増量器の取り付け](#)
- [封筒フィーダの取り付け](#)
- [プリンタメモリの取り付け](#)
- [フォント ROM の取り付け](#)

取り付けの手順

床面に設置する場合は、プリンタ用の台が必要になります。給紙オプションを複数使用している場合や、両面印刷ユニットと給紙オプションを合わせて使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースのどちらかを必ず使用してください。

 **メモ:** オプションの機材は、購入できない地域もあります。機材が購入可能かどうかを確認するには、販売担当者にお問い合わせください。

 **警告:** プリンタのセットアップが終了してからオプションをインストールする場合は、プリンタの電源を切り、電源コードを抜いてから作業を始めてください。

プリンタと購入したオプションは、次の順序で設置します。

- 1 プリンタスタンドまたはプリンタベース
- 1 250 枚または 500 枚ドロワー
- 1 両面印刷ユニット
- 1 プリンタ

 **メモ:** オプションとして用紙カセットを 4 つまで、またはカセット 3 つと両面印刷ユニットを 1 つ取り付けすることができます。

 **警告:** プリンタを安全に移動するには、作業を 2 人で行う必要があります。



警告: 床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。給紙オプションを複数使用している場合や、両面印刷ユニットと給紙オプションを合わせて使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースのどちらかを必ず使用してください。

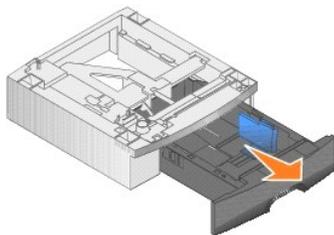
プリンタスタンドまたはプリンタベースの取り付け方法については、オプションに付属の説明書類を参照してください。

250 枚または 500 枚ドロワーの取り付け

 **メモ:** オプションとして用紙カセットを 4 つまで、またはカセット 3 つと両面印刷ユニットを 1 つ取り付けすることができます。

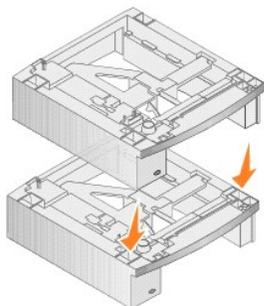
オプションのドロワーは、プリンタの下部、オプションの両面印刷ユニットの下に取り付けます。ドロワーは、カセットとサポートユニットで構成されています。250 枚ドロワーと 500 枚ドロワーは同じ方法で取り付けます。

- 1 サポートユニットからカセットを取り外します。サポートユニットとカセットから、すべての梱包材やテープを取り除きます。

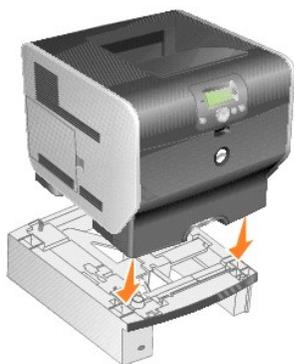


2. 既に取り付けたドロワーの上部に、サポートユニットを取り付けます。あるいはプリンタを設置するテーブルまたはプリンタキャビネットの上に置きます。

ドロワーの上部にタブ、丸いベグ、四角い穴があるので、サポートユニットの位置を合わせて取り付けることができます。サポートユニットがしっかりと取り付けられていることを確認します。



3. 他のオプションドロワー、両面印刷ユニット、またはプリンタを取り付けます。



カセット番号がわかるように、カセットにラベルを貼ることができます。

4. Windows XP の場合は、[スタート]、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタと FAX]の順にクリックします。
その他の Windows では、[スタート]、[設定]、[プリンタ]の順にクリックします。
5. プリンタアイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
6. [取り付け済みのオプション]タブの[使用可能なオプション]リストで、[250 枚カセット]または[500 枚カセット]を選択します。
7. [追加]をクリックします。
8. [OK]をクリックしてから[プリンタ]フォルダを閉じます。

複数の用紙カセットを取り付けた場合は、自動的に関連付けられます。詳細については、[カセットの関連付け](#)を参照してください。

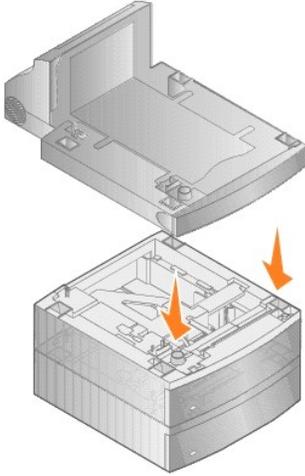
両面印刷ユニットの取り付け

 **メモ:** オプションとして用紙カセットを 4 つまで、またはカセット 3 つと両面印刷ユニットを 1 つ取り付けることができます。

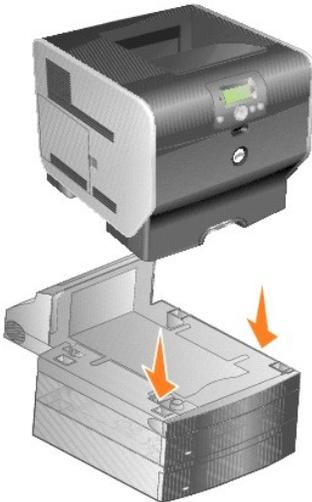
両面印刷ユニットは、プリンタの下部、標準カセットの下部、ドロワーの上部に取り付けます。

1. 取り付けたドロワーの上部に、両面印刷ユニットを取り付けます。あるいはプリンタを設置するテーブルまたはプリンタキャビネットの上に置きます。

ドロワーの上部にタブ、丸いベグ、四角い穴があるので、両面印刷ユニットの位置を合わせて取り付けすることができます。しっかりと取り付けられていることを確認します。



2. プリンタを接続します。



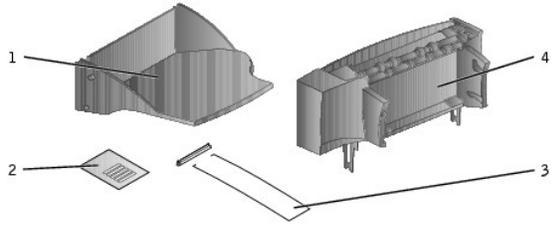
3. Windows XP の場合は、[スタート]、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタと FAX]の順にクリックします。

その他の Windows では、[スタート]、[設定]、[プリンタ]の順にクリックします。

4. プリンタアイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
5. [取り付け済みのオプション]タブの[使用可能なオプション]リストで、[両面印刷]オプションを選択します。
6. [追加]をクリックします。
7. [OK]をクリックしてから[プリンタ]フォルダを閉じます。

排紙增量器の取り付け

各排紙增量器は、サポートと取り外し可能なトレイで構成されています。またワイヤ仕切り、ブラケット、ラベルも含まれています。



番号	部品
1	トレイ
2	ラベル
3	ブラケットとワイヤ仕切り
4	サポート

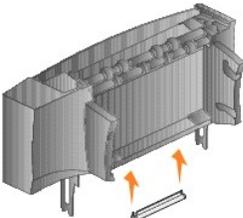
注意： 排紙増量器のトレイは、印刷用紙のみの重量を支えるように設計されています。過度に重いと、サポートから外れる可能性があります。

排紙増量器をパッケージから慎重に取り出して、すぐに取り付けを行います。すぐに取り付けないと、取り付けブラケットの端がテーブルの表面や敷物に傷を付けてしまう可能性があります。

1. プリンタ、フィニッシャ、または大容量排紙スタッカからトップカバーを外します。



2. 排紙増量器の下部にある静電気ブラシホルダにプラスチックブラケットを差し込みます。



3. プリンタの上部にあるスロット、あるいは印刷用紙の処理オプションに、取り付けブラケットを挿入します。排紙増量器がしっかりと固定されたことを確認します。



4. プリンタまたは別の排紙増量器に排紙増量器を取り付ける場合は、ワイヤ仕切りを取り付けます。ワイヤ仕切りがカーブして下に向くような形で、プラスチックブラケットの端にワイヤ仕切りの端を差し込みます。

ワイヤ仕切りは、下にある排紙増量器の排紙トレイ、または標準排紙トレイの中に収まります。



5. カセットの下部にあるタブを排紙増量器の下部にあるスロットに差し込みます。



6. 上部のタブが上部のスロットにカチッと入るまで、カセットを回転させるように持ち上げます。
7. 他の印刷用紙の処理オプションを取り付けない場合は、排紙増量器にトップカバーを取り付けます。

封筒フィーダの取り付け

封筒フィーダは、プリンタの前面にある多目的フィーダの奥に取り付けます。使用しないときは、取り外してプリンタをコンパクトにできます。

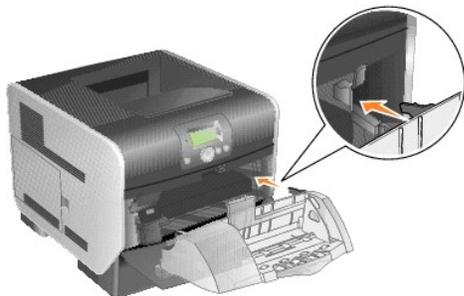
1. プリンタ前面の突起を引いて多目的フィーダを下ろします。



2. 封筒フィーダコネクタのドアを上を開きます。



3. 封筒フィーダのタブとプリンタの両側にあるスロットの位置を合わせて、カチッと入るまで封筒フィーダを慎重にスロットにはめ込みます。



正しく取り付けると、封筒フィーダは少し下に傾いた状態になります。

プリンタメモリの取り付け

警告： プリンタのセットアップが終了してからプリンタメモリを取り付ける場合は、プリンタの電源をオフにし、電源コードを抜いてから作業を始めてください。

プリンタメモ리카ードの取り付け

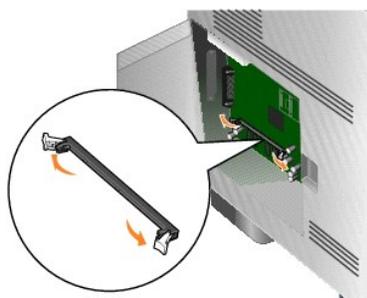
メモ： 他のプリンタ用のメモ리카ードは、このプリンタでは使用できない可能性があります。互換性を確保するために、デルのプリンタメモ리카ードのみを使用してください。

1. 側面ドアを開きます。



注意： プリンタメモ리카ードは静電気を受けると壊れやすい構造をもっています。メモ리카ードに触れる前にプリンタの枠などの金属に触れるようにしてください。

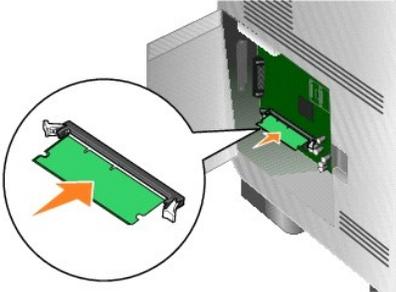
2. プリンタメモ리카ードコネクタの両端のラッチを押し開きます。



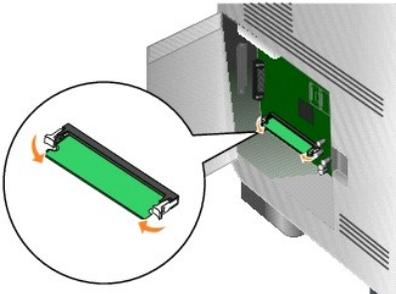
3. メモ리카ードを包装から取り出します。

カードの緑の電気接点に触れないようにしてください。パッケージは保管しておきます。

4. カードの下端の突起をコネクタの型に合わせます。
5. 両端のラッチがカチッと所定の位置に戻るまでメモ리카ードをコネクタに押し込みます。
カードを所定の位置に押し込むには少し力を入れる必要がある場合があります。



6. 両端のラッチがカードの突起を確実に覆うようにしてください。



7. 側面ドアを閉じます。



プリンタメモ리카ードの取り外し

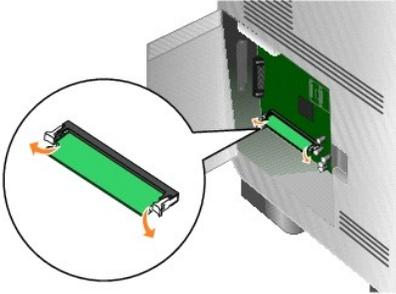
1. 側面ドアを開きます。



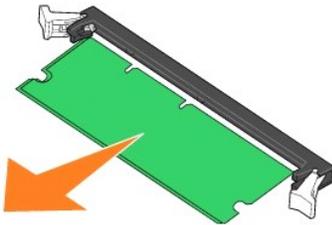
注意： プリンタメモ리카ードは静電気を受けると壊れやすい構造をもっています。メモ리카ードに触れる前にプリンタの枠などの金属に触れるようにしてください。

2. プリンタメモ리카ードコネクタの両端で、カードからラッチを取り外します。

ラッチが開くと、コネクタからメモ리카ードを取り外すことができます。



3. メモリカードをコネクタから引き出します。
カードの縁の電気接点に触れないようにしてください。



4. カードを元のパッケージに入れます。
元のパッケージがない場合は、カードを紙で包んで箱に入れてください。
5. 両方のラッチを閉じます。



6. 側面ドアを閉じます。



フォント ROM の取り付け

 **メモ:** フォント ROM は、購入できない地域もあります。フォント ROM の販売状況については、デルの販売担当者にお問い合わせください。

フォント ROM の取り付け

 **メモ:** 他のプリンタ用のフォント ROM は、このプリンタでは使用できない可能性があります。

1. 側面ドアを開きます。

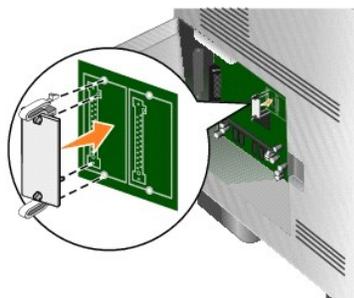


メモ: オプションカードを取り付けている場合、環境によってはフォント ROM を取り付ける前にオプションカードを取り外す必要があります。

2. フォント ROM をパッケージから取り出します。

注意: フォント ROM は静電気を受けると壊れやすい構造をもっています。メモリカードに触れる前にプリンタの枠などの金属に触れるようにしてください。

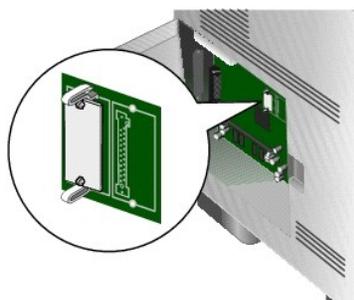
3. ロッキングクリップでフォント ROM を固定するとき、カードのプラスチックピンとシステム基板の穴を合わせてください。



4. フォント ROM を所定の位置に完全に差し込んで、ロッキングクリップを放します。

フォント ROM のコネクタ全体をシステム基板に差し込み、コネクタをロックする必要があります。

コネクタを破損しないように注意してください。



5. 側面ドアを閉じます。



フォント ROM の取り外し

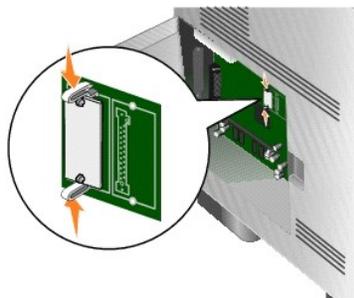
1. 側面ドアを開きます。



メモ: オプションカードを取り付けている場合、環境によってはフォント ROM を取り外す前にオプションカードを取り外す必要があります。

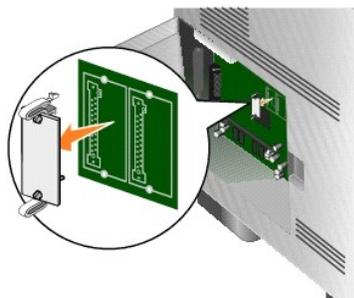
2. フォント ROM のロックングリップを上と下から握ります。

注意: フォント ROM は静電気を受けると壊れやすい構造をしています。メモ리카ードに触れる前にプリンタの枠などの金属に触れるようにしてください。



3. カードを取り外します。

カードの下部にある金属製のピンに触らないでください。



4. フォント ROM を元のパッケージに入れます。

元のパッケージがない場合は、フォント ROM を紙で包んで箱に入れてください。

5. フォント ROM を外すために、先にオプションカードを取り外していた場合は、オプションカードを再び取り付けます。
6. 側面ドアを閉じます。



印刷

- [印刷ジョブの送信](#)
- [印刷ジョブのキャンセル](#)
- [メニュー設定ページの印刷](#)
- [ネットワーク設定ページの印刷](#)
- [フォントサンプルリストの印刷](#)
- [ディレクトリリストの印刷](#)
- [秘密ジョブおよび保持されたジョブの印刷](#)
- [特殊な用紙への印刷](#)
- [標準カセットとオプションカセットのセット](#)
- [用紙の種類と用紙サイズの設定](#)
- [多目的フィーダのセット](#)
- [封筒フィーダのセット](#)
- [カセットの関連付け](#)
- [排紙トレイの特定と関連付け](#)

この章では、印刷ジョブの送信、秘密ジョブの印刷、印刷ジョブのキャンセル、メニュー設定ページの印刷、フォントリストの印刷、ディレクトリリストの印刷について説明します。またフォリオやステートメントサイズの用紙を使用した印刷についても説明します。紙詰まりの防止と印刷用紙の保管については、[紙詰まりの回避](#)または[印刷用紙の保管](#)を参照してください。

印刷ジョブの送信

プリンタドライバはコンピュータがプリンタと通信できるようにするプログラムです。ソフトウェアアプリケーションで印刷するように選択すると、プリンタドライバのウィンドウが開きます。このウィンドウで、プリンタに送信する特定のジョブに関する適切な設定を選択できます。ドライバで選択した印刷設定は、プリンタの操作パネルで選択された標準設定よりも優先されます。

変更可能なすべてのプリンタ設定を表示するには、最初の[印刷]ダイアログボックスで[プロパティ]または[セットアップ]をクリックする必要があります。プリンタドライバウィンドウの機能を使用したことがない場合は、オンラインヘルプを開いて詳細を参照してください。

すべてのプリンタ機能をサポートするには、プリンタに付属のカスタムプリンタドライバを使用します。

一般的な Windows アプリケーションで印刷ジョブを実行するには:

4. 文書を開いて、[ファイル]、[印刷]の順にクリックします。
 5. ダイアログボックスで適切なプリンタを選択します。
 6. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックして印刷設定を変更し、[OK]をクリックします。
 7. [OK]または[印刷]をクリックして、選択したプリンタに印刷ジョブを送信します。
-

印刷ジョブのキャンセル

印刷ジョブをキャンセルするには、いくつかの方法があります。

1. [プリンタの操作パネルでのジョブキャンセル](#)
1. [Windows コンピュータでのジョブキャンセル](#)
 - [タスクバーでのジョブキャンセル](#)

- [デスクトップでのジョブキャンセル](#)

1 [Macintosh コンピュータでのジョブキャンセル](#)

- [Mac OS 9 コンピュータでの印刷ジョブキャンセル](#)
- [Mac OS X コンピュータでのジョブキャンセル](#)

プリンタの操作パネルでのジョブキャンセル

ジョブのフォーマット時または印刷時には、[**ジョブをキャンセル**]が画面の 1 行目に表示されます。

1. 操作パネルで[**設定**]ボタン  を押します。
ジョブの一覧が表示されます。
2. キャンセルするジョブの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[**設定**]ボタン  を押します。

メッセージ「<filename> をキャンセル中」が表示されます。

 **メモ:** 印刷ジョブを送信した場合、このジョブを簡単にキャンセルするには、[**キャンセル**]ボタン  をクリックします。[**停止中**]画面が表示されます。[**ジョブをキャンセル**]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[**設定**]ボタン  を押します。

Windows コンピュータでのジョブキャンセル

タスクバーでのジョブキャンセル

印刷ジョブを送信すると、小さなプリンタアイコンがタスクバーの右側に表示されます。

1. プリンタアイコンをダブルクリックします。
印刷ジョブの一覧がプリンタウィンドウに表示されます。
2. キャンセルするジョブを選択します。
3. キーボードの Delete キーを押します。

デスクトップでのジョブキャンセル

1. すべてのウィンドウを最小化して、デスクトップを表示します。
2. [**マイコンピュータ**]アイコンをダブルクリックします。

 **メモ:** [**マイコンピュータ**]アイコンがない場合は、[**スタート**]、[**設定**]、[**コントロールパネル**]の順に選択してプリンタフォルダにアクセスし、手順 4 に進んでください。

3. **プリンタ**アイコンをダブルクリックします。
使用可能なプリンタの一覧が表示されます。
4. ジョブの送信時に選択したプリンタをダブルクリックします。
印刷ジョブの一覧がプリンタウィンドウに表示されます。
5. キャンセルするジョブを選択します。
6. キーボードの Delete キーを押します。

Macintosh コンピュータでのジョブキャンセル

Mac OS 9 コンピュータでの印刷ジョブキャンセル

印刷ジョブを送信すると、選択したプリンタのプリンタアイコンがデスクトップに表示されます。

1. デスクトップのプリンタアイコンをダブルクリックします。
印刷ジョブの一覧がプリンタウィンドウに表示されます。
2. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
3. ゴミ箱ボタンをクリックします。

Mac OS X コンピュータでのジョブキャンセル

印刷ジョブを送信すると、選択したプリンタのプリンタアイコンがドックに表示されます。

1. 「アプリケーション」、「ユーティリティ」の順に開き、「プリントセンター」または「プリンタ設定」を選択します。
2. 印刷先のプリンタをダブルクリックします。
3. プリンタウィンドウで、キャンセルする印刷ジョブを選択します。
4. 「削除」をクリックします。

メニュー設定ページの印刷

メニュー設定ページを印刷して、標準のプリンタ設定を確認できます。また、プリンタオプションが適切にインストールされているかどうかを確認できます。

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
 2. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
 3. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 4. [メニュー設定ページ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- ページの印刷後、プリンタは**準備完了**の状態に戻ります。

ネットワーク設定ページの印刷

ネットワーク設定ページを印刷して、標準のプリンタ設定を確認できます。また、プリンタオプションが適切にインストールされているかどうかを確認できます。

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
 2. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
 3. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 4. [ネットワーク設定ページ]または[ネット <> 設定ページ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- プリンタは**準備完了**の状態に戻ります。

フォントサンプルリストの印刷

プリンタで現在使用可能なフォントのサンプルを印刷するには：

1. プリンタの電源がオンになっていて、「準備完了」のメッセージが表示されていることを確認します。
 2. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
 3. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 4. [フォントを印刷]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 5. [PCL フォント]、[PostScript フォント]、または[PPDS フォント]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- プリンタは**準備完了**の状態に戻ります。

ディレクトリリストの印刷

ディレクトリリストには、フラッシュメモリに保存されているリソースが表示されます。リストを印刷するには：

1. プリンタの電源がオンになっていて、「準備完了」のメッセージが表示されていることを確認します。
2. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
3. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン を押します。

4. [ディレクトリを印刷]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

プリンタは準備完了の状態に戻ります。

秘密ジョブおよび保持されたジョブの印刷

「保持されたジョブ」という用語は、ユーザーがプリンタで開始できるあらゆる種類の印刷ジョブを表しています。このジョブには、秘密ジョブ、確認印刷ジョブ、予約印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブ、ブックマーク、またはプロフィールが含まれます。プリンタにジョブを送信するとき、プリンタメモリ内にジョブを保持するようにドライバで指定できます。ジョブがプリンタメモリに格納されたら、プリンタのある場所に移動し、プリンタの操作パネルを使用して印刷ジョブに対する操作を指定します。

すべての秘密ジョブと保持されたジョブには、ユーザー名が関連付けられています。秘密ジョブまたは保持されたジョブにアクセスするには、最初にジョブの種類（秘密ジョブまたは保持されたジョブ）を選択し、次にユーザー名の一覧からユーザー名を選択する必要があります。自分のユーザー名を選択すると、自分の秘密ジョブをすべて印刷したり、個々の印刷ジョブを選択したりできます。また印刷ジョブに印刷部数を指定したり、印刷ジョブを削除したりできます。

秘密ジョブの印刷

プリンタに秘密ジョブを送信するときは、ドライバでユーザー識別番号(PIN)を入力する必要があります。PINは、0～9の数字を使用した4桁の数値である必要があります。ユーザーが操作パネルで同じ4桁のPINを入力するまで、ジョブはプリンタメモリに保持されます。ユーザーは、操作パネルでジョブの印刷や削除を指定します。これにより、ユーザーがプリンタのある場所で指定するまで、このジョブは印刷されません。PINがなければ、第三者がこのジョブを印刷することはできません。

Windows

1. ワードプロセッサ、表計算、ブラウザ、またはその他のアプリケーションでは、[ファイル]、[印刷]の順に選択します。
2. [プロパティ]をクリックします([プロパティ]ボタンがない場合は、[セットアップ]をクリックし、次に[プロパティ]をクリックします)。
3. オペレーティングシステムによっては、[その他のオプション]タブをクリックして、[印刷して保留]をクリックする必要があります。

 **メモ:** [印刷して保留]、[秘密印刷]が簡単に見つからない場合は、[ヘルプ]をクリックして、「秘密印刷」または「印刷して保留」のトピックを参照します。その後、ドライバの手順に従ってください。

4. ユーザー名とPINを入力します。
5. プリンタにジョブを送信します。

秘密印刷ジョブを取得する準備が完了したら、プリンタに移動して、[プリンタでの操作](#)の手順に従います。

Macintosh

1. ワードプロセッサ、表計算、ブラウザ、またはその他のアプリケーションでは、「ファイル」、「印刷」の順に選択します。
2. 「印刷部数と印刷ページ」または「一般」ポップアップメニューで、「ジョブのルーティング」を選択します。
 - a. Mac OS 9の環境でポップアップメニューに「ジョブのルーティング」が表示されない場合は、「プラグイン設定」、「印刷時間フィルタ」の順に選択します。
 - b. 「印刷時間フィルタ」の左側にある三角形の展開アイコンをクリックして下に向け、「ジョブのルーティング」を選択します。
 - c. ポップアップメニューで、「ジョブのルーティング」を選択します。
3. ラジオグループで、「秘密印刷」を選択します。
4. ユーザー名とPINを入力します。
5. プリンタにジョブを送信します。

秘密印刷ジョブを取得する準備が完了したら、プリンタに移動して、[プリンタでの操作](#)の手順に従います。

プリンタでの操作

1. [保持されたジョブ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
2. 自身のユーザー名の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
3. [秘密ジョブ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
4. 目的の数字が表示されるまで上または下矢印ボタン   を押してPINを入力してから、[設定]を押します。それぞれの番号で上記の手順を繰り返します。
5. 印刷するジョブの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
6. 目的のオプション([1部を印刷]、[コピーを印刷]、[削除])の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

 **メモ:** ジョブを印刷すると、ジョブはプリンタメモリから削除されます。

保持されたジョブの印刷と削除

保持されたジョブ(確認印刷、予約印刷、繰り返し印刷)は、プリンタの操作パネルで印刷または削除できます。この場合、PIN 番号は必要ありません。

確認印刷

確認印刷ジョブを送信した場合、プリンタでは 1 部が印刷されて、要求した残りの部数はプリンタメモリ内に保持されます。確認印刷を使用して、残りの部数を印刷する前に、印刷内容が適切であるかどうかを最初の 1 部で確認します。すべての部数を印刷すると、確認印刷ジョブは自動的にプリンタメモリから削除されます。

予約印刷

予約印刷ジョブを送信すると、プリンタはすぐにはジョブを印刷しません。プリンタは、ジョブをあとで印刷できるようにジョブをメモリに格納します。[保持されたジョブ]メニューで削除するまで、このジョブはメモリに保持されます。保持されたジョブを新たに処理するために追加のメモリが必要とされる場合、予約印刷ジョブが削除されることもあります。

繰り返し印刷

繰り返し印刷ジョブを送信した場合、ジョブの要求された部数がすべて印刷され、さらにあとで追加の部数を印刷できるように、このジョブがメモリに格納されます。ジョブがメモリに格納されている限り、追加の部数を印刷できます。

 **メモ:** 別の保持されたジョブを処理するために追加のメモリが必要になると、繰り返し印刷ジョブはプリンタメモリから自動的に削除されます。

Windows

- ワードプロセッサ、表計算、ブラウザ、またはその他のアプリケーションでは、「**ファイル**」、「**印刷**」の順に選択します。
- [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ](プログラムまたはオペレーティングシステムによって異なります)をクリックします。
- オペレーティングシステムによっては、[その他のオプション]タブをクリックして、[印刷して保留]をクリックする必要があります。

 **メモ:** [印刷して保留]、[保持されたジョブ]が簡単に見つからない場合は、[ヘルプ]をクリックして、「保持されたジョブ」または「印刷して保留」のトピックを参照します。その後、ドライバの手順に従ってください。

- 保持されたジョブの適切な種類を選択して、ジョブをプリンタに送信します。
秘密印刷ジョブを取得する準備が完了したら、プリンタに移動して、[プリンタでの操作](#)の手順に従います。

Macintosh

- ワードプロセッサ、表計算、ブラウザ、またはその他のアプリケーションでは、「**ファイル**」、「**印刷**」の順に選択します。
- 「**印刷部数と印刷ページ**」または「**一般**」ポップアップメニューで、「**ジョブのルーティング**」を選択します。
 - Mac OS 9 の環境でポップアップメニューに「ジョブのルーティング」が表示されない場合は、「**プラグイン設定**」、「**印刷時間フィルタ**」の順に選択します。
 - 「**印刷時間フィルタ**」の左側にある三角形の展開アイコンをクリックして下に向け、「**ジョブのルーティング**」を選択します。
 - ポップアップメニューで、「**ジョブのルーティング**」を選択します。
- ラジオグループで、保持されたジョブの適切な種類を選択してユーザー名を入力し、プリンタにジョブを送信します。

秘密印刷ジョブを取得する準備が完了したら、プリンタに移動して、[プリンタでの操作](#)の手順に従います。

プリンタでの操作

- [**保持されたジョブ**]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[**設定**]ボタン  を押します。
- 自身のユーザー名の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[**設定**]ボタン  を押します。
- 実行する操作の種類横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[**設定**]ボタン  を押します。
 - 全て印刷
 - ジョブを印刷
 - 印刷部数
 - 全て削除
 - ジョブを削除

[**ジョブを印刷**]、[**ジョブを削除**]、または[**印刷部数**]を選択した場合は、目的のジョブの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[**設定**]ボタン  を押します。

印刷ジョブの種類や選択した操作に応じて、ジョブの印刷や削除が実行されます。

特殊な用紙への印刷

用紙には、紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル、封筒があります。後者の 4 つを、**特殊な用紙**と呼ぶことがあります。特殊な用紙に印刷するには、以下の手順に従ってください。

1. 用紙をセットするときは、専用のカセットを使用します(⇒「[標準カセットとオプションカセットのセット](#)」)。
2. プリンタの操作パネルでは、セットする用紙に応じて[用紙の種類]と[用紙サイズ]を設定します(⇒「[用紙の種類と用紙サイズの設定](#)」)。
3. コンピュータソフトウェアアプリケーションでは、セットする用紙に応じて[用紙の種類]、[用紙サイズ]、[給紙源]を設定します。

Windows

1. 文書を開いて、[ファイル]、[印刷]の順にクリックします。
2. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ] (プログラムまたはオペレーティングシステムによって異なります)をクリックします。
3. [用紙]タブをクリックします。

用紙カセットの一覧が表示されます。

4. 特殊な用紙が入っているカセットを選択します。

 **メモ:** 手順に不明なところがある場合は、[ヘルプ]をクリックして、ドライバの手順に従います。

5. [用紙の種類]リストボックスで、用紙の種類(OHP フィルム、封筒など)を選択します。
6. [用紙サイズ]リストボックスで、特殊な用紙のサイズを選択します。
7. [OK]をクリックして、通常通り印刷ジョブを送信します。

Mac OS 9

1. 「ファイル」、「ページ設定」の順に選択します。
2. 「用紙」ポップアップメニューで特殊な用紙のサイズを選択し、「OK」をクリックします。
3. 「ファイル」、「プリント」の順に選択します。
4. 最上部のポップアップメニューで「一般」が選択されている場合、「給紙源」ポップアップメニューに進んで、特殊な用紙が入っているカセットまたは用紙の名前を選択します。
5. [印刷]をクリックします。

Mac OS X

1. 「ファイル」、「ページ設定」の順に選択します。
2. 「対象プリンタ」ポップアップメニューでプリンタを選択します。
3. 「用紙」ポップアップメニューで特殊な用紙のサイズを選択し、「OK」をクリックします。
4. 「ファイル」、「プリント」の順に選択します。
5. 「印刷部数と印刷ページ」ポップアップメニューで「イメージング」を選択します。
6. 「用紙の種類」ポップアップメニューで、特殊な用紙を選択します。
7. 「イメージング」ポップアップメニューで、「給紙」を選択します。
8. 「すべてのページ」または「最初のページ/残りのページ」ポップアップメニューで、特殊な用紙が入っているカセットを選択します。
9. [印刷]をクリックします。

標準カセットとオプションカセットのセット

プリンタには、500 枚の標準カセットが付属しています。さらに 250 枚または 500 枚のオプションカセットを 1 つ以上購入できます。250 枚カセットと 500 枚カセットのセット手順は同じです。

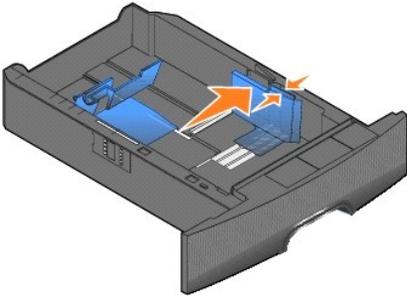
印刷用紙をセットするには:

1. プリンタからカセットを取り外し、水平面に置きます。

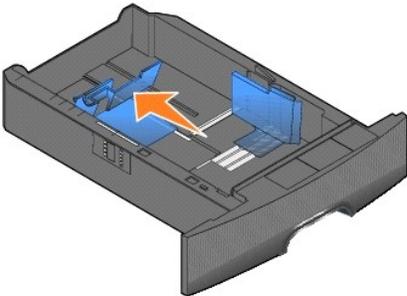
 **メモ:** ジョブの印刷中、あるいは操作パネルのインジケータランプが点滅しているときは、カセットを取り外さないでください。取り外すと、紙詰まりが発生する可能性があります。



2. 側面ガイドタブを動かして、ガイドをカセットの端までスライドします。



3. 背面ガイドタブを動かして、セットする用紙のサイズに応じて適切な位置までガイドをスライドします。

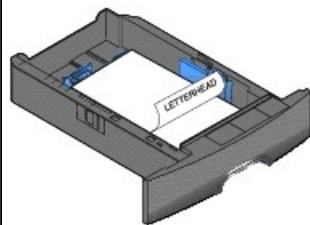


4. 用紙の束を曲げ伸ばしたり、バラバラめくったりします。印刷用紙は折ったり、しわをつけたりしないでください。平らな面で端をそろえます。

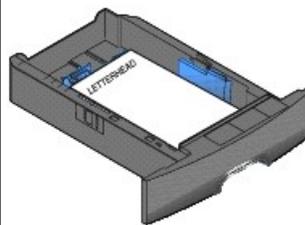


5. 印刷用紙をカセットに入れるには：

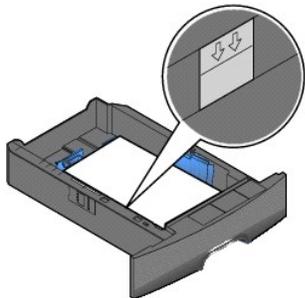
片面印刷の場合は、印刷面を下にします。



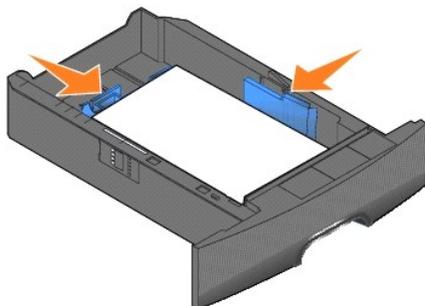
両面印刷の場合は、印刷面を上 to します。



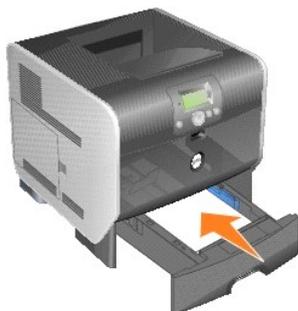
メモ：制限ラインよりも上に用紙を入れしないでください。カセットに用紙を入れ過ぎると、紙詰まりが発生する可能性があります。



6. 側面ガイドタブを移動して、用紙の端に軽く触れるようにカセットの内側に向かってガイドをスライドします。



7. カセットをプリンタに挿入します。



用紙の種類と用紙サイズの設定

【用紙の種類】と【用紙サイズ】にカセットで使用する種類とサイズの適切な値を指定すると、指定されたサイズと種類の用紙が入ったカセットがプリンタによって自動的に関連付けられます。

 **メモ:** セットする用紙のサイズが、既にセットされている用紙のサイズと同じである場合、【用紙サイズ】の設定を変更しないでください。

【用紙サイズ】と【用紙の種類】設定を変更するには:

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
2. 操作パネルで【メニュー】ボタン  を押します。
3. 【用紙】メニューの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、【設定】ボタン  を押します。
4. 【用紙サイズ/種類】の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、【設定】ボタン  を押します。
5. 使用する給紙源の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、【設定】ボタン  を押します。
6. 使用する用紙サイズの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、【設定】ボタン  を押します。
7. 使用する用紙の種類の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、【設定】ボタン  を押します。

この操作により、設定がユーザーの新しい標準設定として保存され、プリンタは**準備完了**に戻ります。

多目的フィーダのセット

多目的フィーダは、OHP フィルム、はがき、ノートカード、封筒など、さまざまなサイズや種類の印刷用紙に対応できます。多目的フィーダは、1 ページの印刷や手差し印刷に対応しており、追加のカセットとしても使用できます。

 **メモ:** オプションの封筒フィーダを取り付けた場合でも、多目的フィーダを使用できます。

多目的フィーダには、次の用紙を入れることができます。

- 1 75 g/m2(20 lb)用紙:100 枚
- 1 封筒:10 枚
- 1 OHP フィルム:75 枚

多目的フィーダには、次のサイズの印刷用紙をセットできます。

- 1 幅: 69.85 ~ 215.9 mm(2.75 ~ 8.5 インチ)
- 1 長さ: 127 ~ 355.6 mm(5 ~ 14 インチ)

多目的フィーダのアイコンでは、用紙の入った多目的フィーダをセットする方法、印刷するために封筒を裏返す方法、片面印刷と両面印刷のためにレターヘッド紙をセットする方法を表示できます。

印刷用紙をセットするには:

 **メモ:** プリンタが多目的フィーダから印刷している場合、あるいは操作パネルのインジケータランプが点滅している場合、印刷用紙の追加または取り除きを行わないでください。取り外すと、紙詰まりが発生する可能性があります。

1. プリンタ前面の突起を引いて多目的フィーダを下ろします。



2. 拡張カセットを引き出します。

 **メモ:** 多目的フィーダには、物を置かないでください。また、フィーダを下に押し下したり、過度な力をかけたりすることは避けてください。



3. 幅ガイドを右側にスライドします。



4. 用紙または封筒を曲げ伸ばしたり、バラバラめくったりします。印刷用紙は折ったり、しわをつけたりしないでください。平らな面で端をそろえます。

メモ: OHP フィルムの場合は、端を持ち印刷面に触れないようにします。OHP フィルムの束をバラバラめくって、紙詰まりを予防します。OHP フィルムに傷をつけたり、指紋を付けないように注意してください。

紙	
OHP フィルム	
封筒	

5. カセットに用紙をセットします。

印刷用紙をセットするときは、紙を入れる高さの目安として、スタック高ラベルを参考にします。

メモ: 多目的フィーダでは、1 度に 1 サイズ、1 種類の印刷用紙に限ってセットできます。同じカセットに、異なるサイズや種類の用紙をセットしないでください。



普通紙、OHP フィルム、または封筒のセット

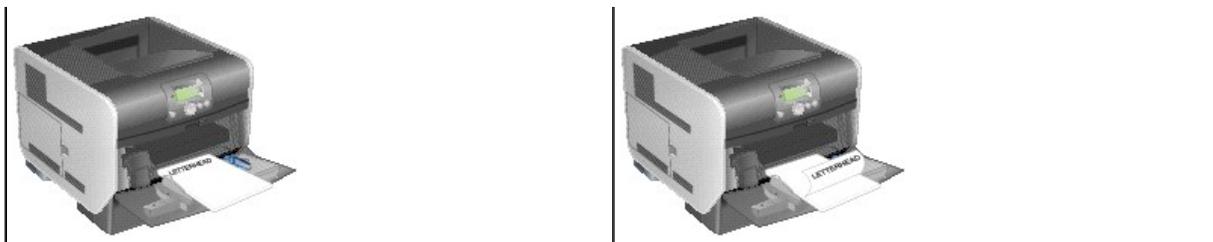
- 1 普通紙または OHP フィルムは、紙の左端を揃え、スタック高ラベルの高さまで、推奨印刷面を上にしてセットします。
- 1 封筒は、封をする側を下にして、切手を貼る位置と封をする側を左に向けてセットします。封筒の端は、切手を貼る位置から多目的フィーダに入っていきます。
- 1 切手、金具、固定カバー、窓、コーティングされた裏打ち、または自動接着剤の付いた封筒は使用しないでください。これらの封筒によって、プリンタが破損する可能性があります。

レターヘッド紙またはプレプリント紙のセット

- 1 制限ラインよりも上に用紙を入れしないでください。カセットに用紙を入れ過ぎると、紙詰まりが発生する可能性があります。
- 1 印刷ジョブに応じて用紙をセットするには、以下の図に従います。

片面印刷の場合は、印刷面を上になります。

両面印刷の場合は、印刷面を下になります。



6. 側面ガイドを用紙の端に軽く当たるまでトレイの中央に向けてスライドさせます。



7. 多目的フィーダの用紙サイズと用紙の種類([多目的 大きさ/種類])を、セットする印刷用紙に合わせて適切な値に設定します。

- a. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
- b. [用紙]メニューの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- c. [用紙サイズ/種類]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- d. [多目的 大きさ/種類]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- e. セットする用紙サイズの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- f. [多目的 大きさ/種類]の横に  が表示されるまで右矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- g. セットする用紙種類の横に  が表示されるまで右矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

プリンタは準備完了の状態に戻ります。

多目的フィーダを閉じる

1. 多目的フィーダから印刷用紙を取り除きます。



2. 拡張カセットを差し込みます。



3. 多目的フィーダを閉じます。



封筒フィーダのセット

オプションの封筒フィーダは、さまざまな封筒サイズに対応できます。ただし、封筒フィーダは、円滑に印刷を行うために適切に調整する必要があります。

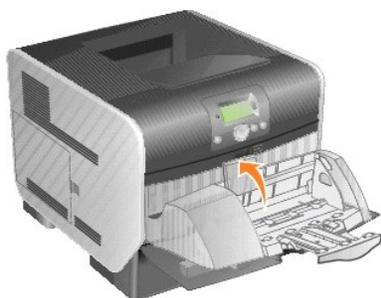
封筒フィーダに用紙をセットするには以下の手順に従います。

1. セットする封筒の長さに合わせて、封筒サポートを調整します。
 - 1 サイズが小さい封筒の場合は、サポートを閉じます(プリンタ内部に向けて押します)。
 - 1 普通サイズの封筒の場合は、サポートを中間の位置まで広げます。
 - 1 サイズが大きい封筒の場合は、サポートを広げます(最大限に広げます)。

👉 **注意:** 封筒フィーダには、物を置かないでください。フィーダを下に押し下たり、過度な力をかけたりすることは避けてください。



2. 封筒押さえをプリンタ側に引き上げます。位置が固定されます。



- 幅ガイドを右側にスライドします。



- 封筒の束を曲げ伸ばして、封筒の端を平らな面で揃えます。揃えるときは、端を押してください。

封筒をバラバラとめくります。このようにすると、封筒の端が貼り付くのを防ぎ、適切な給紙が可能になります。



- 封筒の束は、封をする側を下にして、切手を貼る位置と封をする側を左に向けてセットします。封筒の端は、切手を貼る位置から封筒フィーダに入っていきます。

束の上部にある封筒よりも下部にある封筒を、封筒フィーダ側に寄せるようにします。

注意： 切手、金具、固定カバー、窓、コーティングされた裏打ち、または自動接着剤の付いた封筒は使用しないでください。これらの封筒によって、プリンタが破損する可能性があります。

メモ： 封筒をセットするときは、最大スタック高を超えないようにしてください。セットするときは、紙を入れる高さの目安として、スタック高ラベルを参考にします。スタック高ラベルの位置よりも多くの封筒をセットしないでください。多すぎると、紙詰まりが発生する可能性があります。



- 紙に軽く触れる位置まで、幅ガイドを左にスライドします。封筒が曲がっていないことを確認します。



7. 紙の束に触れるように、封筒押さえを引き下げます。



8. 封筒フィーダの用紙サイズと用紙の種類(封筒の[封筒フィーダ 大/種])を、セットする印刷用紙に合わせて適切な値に設定します。

- a. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
 - b. [用紙]メニューの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 - c. [用紙サイズ/種類]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 - d. [封筒フィーダ 大/種]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 - e. セットする封筒サイズの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 - f. [封筒フィーダ 大/種]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
 - g. セットする封筒の種類横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- プリンタは準備完了の状態に戻ります。

カセットの関連付け

複数の給紙源を使用できる環境で、同じサイズと種類の印刷用紙をセットすると、カセットの自動関連付け機能が有効になります。プリンタでカセットが自動的に関連付けられます。1つのカセットが空になると、関連付けられた次のカセットから印刷用紙が給紙されます。

たとえば、同じサイズと種類の印刷用紙がカセット 2 とカセット 4 にセットされている場合、プリンタはカセット 2 が空になるまでこのカセットから印刷用紙を給紙し、空になるとカセット 4 から自動的に印刷用紙を給紙します。

すべてのカセット(標準とオプション)を関連付けると、最大 2,600 枚の容量がある 1 つの給紙源を効果的に実現できます。

カセットを関連付けるには、各カセットに同じサイズと種類の印刷用紙をセットしたことを確認してください。各カセットに対して、用紙のサイズと種類を設定します。

用紙の種類またはサイズを設定するには:

1. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
2. [用紙]メニューの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

3. [用紙サイズ/種類]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
4. [カセット <x> 大きさ/種類]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
5. セットする用紙サイズの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
6. [カセット <x> 大きさ/種類]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
7. セットする用紙の種類に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

プリンタは準備完了の状態に戻ります。

カセットの関連付けを無効にするには、[用紙の種類]として、各カセットに異なる種類を指定します。関連付けを行ったときにすべてのカセットに同じ種類の印刷用紙がセットされていない場合、不適切な用紙の種類でジョブが印刷される可能性があります。

排紙トレイの特定と関連付け

250 枚の用紙が入る標準排紙トレイが 1 つ付属しています。排紙トレイの容量を増やす必要がある場合は、オプションの排紙増量器を 3 個まで取り付けることができます。

複数の排紙トレイがある場合、これらを関連付けて 1 つの排紙源にできます。排紙トレイを関連付けた場合、印刷物を排紙する先が満杯になると、次に使用可能なトレイに排紙先が自動的に切り替えられます。

使用可能な排紙トレイ

以下の表に、標準とオプションの排紙トレイについての、容量と接続に関する情報を示します。

 **メモ:** 排紙トレイによっては、対応できない用紙サイズや封筒サイズがあります。

排紙トレイ名	印刷用紙	プリンタに取り付け可能な個数
 標準トレイ	1 普通紙 250 枚 (75 g/m ²) 1 OHP フィルム 300 枚 1 ラベル 200 枚 1 封筒 50 枚 (75 g/m ²)	増設不可。標準で組み込まれており、プリンタの上部にあります。
 排紙増量器	1 普通紙 650 枚 (75 g/m ²) 1 封筒 50 枚 (75 g/m ²)	3 排紙増量器の取り付けについては、 排紙増量器の取り付け を参照してください。

排紙トレイの関連付け

複数の排紙トレイを関連付けると、全体で 1 つの排紙源を構成して、次に使用可能なトレイに印刷物の排出先を自動的に切り替えることができます。また、厚紙や封筒など、オプションの排紙トレイにそのまま排紙できない用紙に対して排紙の種類を設定できます。排紙トレイの設定に使用できる値については、[操作パネルのメニューについて](#)を参照してください。

 **メモ:** 関連付けられるトレイの順番は、常に標準トレイから始まり、床との距離が近いトレイから遠いトレイへ進んでいきます。

排紙トレイを関連付けるには:

1. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
2. [用紙]メニューの横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
3. [トレイ設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

4. [トレイの設定]の横に▶が表示されるまで下矢印ボタン▼を押してから、[設定]ボタンⓂを押します。

5. [リンク]の横に▶が表示されるまで下矢印ボタン▼を押してから、[設定]ボタンⓂを押します。

プリンタは準備完了の状態に戻ります。

Regulatory Notices

- [VCCI Notice \(Japan Only\)](#)
- [ENERGY STAR® Compliance](#)
- [Waste Electrical and Electronic Equipment \(WEEE\) Directive](#)
- [Regulatory Notices for Wireless Option](#)

Electromagnetic Interference (EMI) is any signal or emission, radiated in free space or conducted along power or signal leads, that endangers the functioning of a radio navigation or other safety service or seriously degrades, obstructs, or repeatedly interrupts a licensed radio communications service. Radio communications services include but are not limited to AM/FM commercial broadcast, television, cellular services, radar, air-traffic control, pager, and Personal Communication Services (PCS). These licensed services, along with unintentional radiators such as digital devices, contribute to the electromagnetic environment.

Electromagnetic Compatibility (EMC) is the ability of items of electronic equipment to function properly together in the electronic environment. While this device has been designed and determined to be compliant with regulatory agency limits for EMI, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference with radio communications services, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- 1 Reorient the receiving antenna.
- 1 Relocate the device with respect to the receiver.
- 1 Move the device away from the receiver.
- 1 Plug the device into a different outlet so that the device and the receiver are on different branch circuits.

If necessary, consult a Dell Technical Support representative or an experienced radio/television technician for additional suggestions.

DellIT devices are designed, tested, and classified for their intended electromagnetic environment. These electromagnetic environment classifications generally refer to the following harmonized definitions:

- 1 Class A is typically for business or industrial environments.
- 1 Class B is typically for residential environments.

Information Technology Equipment (ITE), including devices, expansion cards, printers, input/output (I/O) devices, monitors, and so on, that are integrated into or connected to the computer should match the electromagnetic environment classification of the computer.

A Notice About Shielded Signal Cables: Use only shielded cables for connecting devices to any Dell device to reduce the possibility of interference with radio communications services. Using shielded cables ensures that you maintain the appropriate EMC classification for the intended environment. Cables are available from Dell at www.dell.com.

Most Dell devices are classified for Class B environments. However, the inclusion of certain options can change the rating of some configurations to Class A. To determine the electromagnetic classification for your device, see the following sections specific for each regulatory agency. Each section provides country-specific EMC/EMI or product safety information.

VCCI Notice (Japan Only)

Most Dell devices are classified by the Voluntary Control Council for Interference (VCCI) as Class B information technology equipment (ITE). However, the inclusion of certain options can change the rating of some configurations to Class A. ITE, including devices, expansion cards, printers, input/output (I/O) devices, monitors, and so on, integrated into or connected to the device should match the electromagnetic environment classification (Class A or B) of the device.

To determine which classification applies to your device, examine the regulatory labels/markings located on the bottom, side, or back panel of your device. Once you have determined your device's VCCI classification, read the appropriate VCCI notice (see "VCCI Class A ITE Regulatory Mark" or "VCCI Class B ITE Regulatory Mark").

Class A ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference (VCCI) for information technology equipment. If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may arise. When such trouble occurs, the user may be required to take corrective actions.

VCCI Class A ITE Regulatory Mark

If the regulatory label includes the following marking, your device is a Class A product: 

Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としています。ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

This is a Class B product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference (VCCI) for information technology equipment. If this equipment is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

VCCI Class B ITE Regulatory Mark

If the regulatory label includes the following marking, your device is a Class B product:



ENERGY STAR® Compliance

Any Dell product bearing the ENERGY STAR® emblem on the product or on a start-up screen is certified to comply with Environmental Protection Agency (EPA) ENERGY STAR® requirements as configured when shipped by Dell.

ENERGY STAR® Emblem



The EPA's ENERGY STAR® program is a joint effort between the EPA and manufacturers to reduce air pollution by promoting energy-efficient products.

You can help reduce electricity usage and its side effects by turning off your product when it is not in use for extended periods of time, particularly at night and on weekends.

Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE) Directive



In the European Union, this label indicates that this product should not be disposed of with household waste. It should be deposited at an appropriate facility

to enable recovery and recycling. For information on how to recycle this product responsibly in your country, please visit: www.euro.dell.com/recycling.

Směrnice o odpadních elektrických a elektronických zařízeních (WEEE)



V Evropské unii tento stítek oznamuje, že by tento produkt neměl být likvidován spolu s běžným komunálním odpadem. Je třeba jej odnést do příslušného zařízení, aby bylo možné jej renovovat a recyklovat. Informace o zodpovědném způsobu recyklace tohoto produktu ve své zemi naleznete na adrese: www.euro.dell.com/recycling.

WEEE-direktiv (Waste from Electrical and Electronic Equipment)



I EU angiver denne etiket, at dette produkt ikke må kasseres med det normale affald. Det skal deponeres på et dertil indrettet sted, så det kan genbruges. Du kan få flere oplysninger om, hvordan du genbruger dette produkt, ved at besøge: www.euro.dell.com/recycling.

Richtlijn WEEE, afdanken van elektrische en elektronische apparaten



In de Europese Unie geeft dit label aan dit product niet via huishoudelijk afval mag worden afgedankt. Het moet gedeponeerd worden bij een daarvoor geschikte voorziening zodat recuperatie en recyclage mogelijk zijn. Raadpleeg voor informatie over de milieuvriendelijke wijze van recyclage van dit product in uw land: www.euro.dell.com/recycling.

WEEE-direktiivi käytöstä poistettujen laitteiden hävittämisestä



Euroopan unionissa tämä merkintä kertoo, että tuote tulee hävittää kotitalousjätteen mukana.. Se tulee hävittää niin, että se voidaan noutaa ja siirtää kierrätykseen. Lisätietoja tämän tuotteen kierrättämisestä maassasi on osoitteessa www.euro.dell.com/recycling.

Directive WEEE (Waste from Electrical and Electronic Equipment, Déchets des équipements électroniques et électriques)



Dans l'Union européenne, cette étiquette indique que ce produit ne doit pas être mis au rebut avec les déchets ménagers. Il doit être déposé dans un endroit se chargeant de sa récupération et de son recyclage. Pour obtenir des informations sur le recyclage responsable de ce produit dans votre pays, visitez le site www.euro.dell.com/recycling.

WEEE-Richtlinie (Waste from Electrical and Electronic Equipment =

Elektronikschrottverordnung)



In der EU wird mit diesem Etikett angegeben, dass dieses Gerät nicht zusammen mit dem Haushaltsabfall zu entsorgen ist. Das Gerät sollte in einer entsprechenden Recycling-Einrichtung entsorgt werden. Informationen zum Recyceln dieses Geräts in Ihrem Land finden Sie unter: www.euro.dell.com/recycling.

Direttiva WEEE (Waste from Electrical and Electronic Equipment)



Nell'Unione Europea, questa etichetta indica che il prodotto non deve essere smaltito insieme ai rifiuti solidi urbani ma va depositato in appositi impianti per il trattamento e il riciclaggio. Per informazioni sulle normative che regola il riciclaggio del prodotto nei diversi paesi, visitare il sito Web www.euro.dell.com/recycling.

廃電気電子機器指令 (WEEE)



欧州連合において、このラベルは、この製品が生活ごみとして廃棄できないことを表します。この製品は、復元やリサイクルのために、適切な施設で処理する必要があります。この製品をリサイクルする方法については、以下のホームページで国別の手順を参照してください。 www.euro.dell.com/recycling

WEEE-direktiv (Waste Electrical and Electronic Equipment)



I EU betyr denne etiketten at dette produktet ikke skal kastes sammen med husholdningsavfall. Det bør leveres til et godkjent avfallsanlegg, slik at det kan gjenopprettes og resirkuleres. Hvis du vil ha informasjon om hvordan du kan resirkulere dette produktet på riktig måte i ditt land, kan du gå til: www.euro.dell.com/recycling.

Dyrektywa WEEE dotycząca zużytego sprzętu elektrycznego i elektronicznego



W Unii Europejskiej etykieta ta oznacza, że produktu nie należy wyrzucać wraz z domowymi odpadkami. Produkt powinien zostać przekazany do właściwej firmy usługowej, gdzie będzie możliwa jego utylizacja. Informacje, w jaki sposób odpowiedzialnie zutylizować produkt w danym kraju można znaleźć na stronie internetowej: www.euro.dell.com/recycling.

Directiva sobre desperdicio de equipamento eléctrico e electrónico (WEEE - Waste Electrical and Electronic Equipment)



Na União Europeia, esta etiqueta indica que este produto não deve ser eliminado juntamente com o lixo doméstico. Este produto deve ser depositado numa instalação adequada para ser recuperado e reciclado. Para obter informações sobre como reciclar este produto no seu país, visite: www.euro.dell.com/recycling.

Инструкция по обращению с отходами электротехнического и электронного оборудования (WEEE)



В Европейском Союзе данная этикетка указывает на то, что это изделие не должно утилизироваться вместе бытовыми отходами. Оно должно быть переправлено в специально предусмотренное место для утилизации и переработки. Для получения сведений о надлежащем способе переработки данного изделия в вашей стране посетите www.euro.dell.com/recycling.

废弃电子电气设备（WEEE）指令



在欧盟各国，该标签表示此类产品不应该与日常废弃物一起处理。它应该被放入适当的设备中以废物利用和回收。如需有关在您所在的国家内如何可靠回收此类产品的信息，请访问：www.euro.dell.com/recycling。

Directiva sobre desecho de equipos eléctricos y electrónicos (WEEE)



En la Unión Europea, esta etiqueta indica que este producto no se debe desechar con la basura doméstica, sino que se debe depositar en un lugar adecuado para permitir su recuperación y reciclaje. Para obtener información sobre cómo reciclar este producto de forma responsable en su país, visite: www.euro.dell.com/recycling.

WEEE-direktivet (Waste from Electrical and Electronic Equipment)



Inom EU indikerar den här etiketten att produkten får inte slängas med hushållsavfall. Den ska lämnas in på en återvinningsstation. Mer information om hur du kan återvinna den här produkten på ett ansvarsfullt sätt i ditt land hittar du på: www.euro.dell.com/recycling.

ソフトウェア概要

- [Dell™ トナー管理システム](#)
- [デルローカルプリンタ設定ユーティリティ](#)
- [IP アドレス設定ユーティリティ](#)
- [プリンタソフトウェアアンインストール](#)
- [ドライバプロファイラ](#)
- [デルプリンタ構成設定 Web ツール](#)

プリンタに付属の *Drivers and Utilities* CD を使用して、お使いのオペレーティングシステムに応じた一連のソフトウェアアプリケーションをインストールします。

 **メモ:** これらのアプリケーションは、Linux および Macintosh では利用できません。

Dell™ トナー管理システム

状況監視センター

 **メモ:** このアプリケーションは、Windows 98 SE、Me では使用できません。また、プリンタがコンピュータにローカル接続されている場合も使用できません。

状況監視センターを使用して、複数の状況モニタを管理します。

- 1 プリンタ名をダブルクリックしてそのプリンタのステータスマニターを開きます。または、**[実行]**を選択して特定のプリンタのステータスマニターを開きます。
- 1 プリンター一覧の表示方法を変更するには、**[表示]**を選択します。
- 1 オンラインヘルプを表示するには、**[ヘルプ]**を選択します。

印刷ステータスウィンドウ

 **メモ:** このアプリケーションは、Windows NT、98 SE、Me では使用できません。また、プリンタがネットワークに接続されている場合も使用できません。

印刷ステータスウィンドウはプリンタの状況（[プリンタ準備完了]、[プリンタオフライン]、[エラー、プリンタを調べる]）および印刷ジョブを送信したときにはその名前を表示します。

また、印刷ステータスウィンドウにはトナーの残量が表示されます。

- 1 プリンタのトナー残量を監視することもできます。
- 1 **[トナーを注文]** をクリックして、交換トナーカートリッジを注文できます。
詳細については、[デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション](#)を参照してください。

デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション

 **メモ:** このアプリケーションは、Windows 98 SE および Me では使用できません。

[消耗品を注文]ダイアログボックスは印刷ステータスウィンドウ、プログラムウィンドウ、またはデスクトップアイコンで起動できます。

電話またはインターネットでトナーを注文できます。

- 1 **[スタート]**、**[プログラム]**または**[すべてのプログラム]**、**[デルプリンタ]**、**[Dell Laser Printer 5210n/5310n]**、**[デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション]**の順にクリックします。
[消耗品を注文]ウィンドウが表示されます。
 - 2 オンラインで注文する場合は、**[デルのカートリッジ注文 Web サイトを表示]**をクリックします。
 - 3 電話で注文する場合は、**[電話で]**に表示されている番号に電話します。
-

デルローカルプリンタ設定ユーティリティ

 **メモ:** このアプリケーションは、プリンタがネットワークに接続されている場合は使用できません。

デルローカルプリンタ設定ユーティリティを使用して、プリンタドライバから変更できないプリンタ設定を変更および保存します(たとえば、注意が必要な場合にプリンタから警報を鳴らすようにするには、[警報制御]を有効にします)。ここで行った変更を上書きするには、さらに変更を行うか、元の設定(出荷時標準設定)に戻します。これらの設定はメニューで分類されており、プリンタ操作パネルに似ています。

デルローカルプリンタ設定ユーティリティは、デルプリンタドライバをインストールする際に自動的にインストールされます。[スタート]、[プログラム]または[すべてのプログラム]、[デルプリンタ]、[Dell Laser Printer 5210n/5310n]、[デルローカルプリンタ設定ユーティリティ]の順にクリックします。デルローカルプリンタ設定ユーティリティは、プリンタがコンピュータに直接接続されている場合にのみ機能します。

デルローカルプリンタ設定ユーティリティを使用して、以下の設定を変更できます。

仕上げ設定	用紙設定	パラレル設定	PCL エミュレーション設定
両面印刷	給紙源	PCL SmartSwitch	印刷方向
両面印刷撥じ	用紙サイズ ¹	PS SmartSwitch	行/ページ
部数	用紙の種類 ¹	パラレルバッファ	A4 幅
空白ページ	ユーザー定義 ²	詳細状況	カセット番号の再設定 ¹
丁合	代替サイズ	初期化の受け付け	LF 後に自動 CR
区切り用紙	多目的フィーダを設定		CR 後に自動 LF
区切り紙供給源	用紙表面粗さ ³		
複数ページ印刷	用紙の厚さ ³		
複数ページ順序	用紙セット ³		
複数ページ表示			
複数ページ境界			
PostScript 設定	品質設定	セットアップ設定	USB 設定
PS エラーを印刷	印刷解像度	プリンタ言語	PCL SmartSwitch
フォント優先順位	トナーの濃さ	節電	PS SmartSwitch
	PQET	リソース保存	USB バッファ
	PictureGrade	ダウンロード対象	
		印刷時間切れ	
		待ち時間切れ	
		自動継続	
		紙づまり回復	
		ページ保護	
		印刷領域	
		表示言語	
		警報制御	
		トナー警報	
¹ サポートされているソース単位			
² ユーザー定義の番号単位			
³ サポートされている用紙単位			

IP アドレス設定ユーティリティ

 **メモ:** このアプリケーションは、プリンタがコンピュータにローカル接続されている場合は使用できません。

IP アドレス設定ユーティリティにより、IP アドレスその他の重要な IP パラメータを設定できます。IP アドレスを手動で設定するには、以下の手順に従います。

1. Web ブラウザにネットワークプリンタの IP アドレスを入力して、**デルプリンタ構成設定 Web ツール**を起動します。
2. **[プリンタ設定]**をクリックします。
3. **[プリンタサーバー設定]**で、**[TCP/IP]**をクリックします。
4. **IP アドレス、ネットマスク設定、ゲートウェイ設定**を入力します。

 **メモ:** これらの設定がわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

5. **[送信]**をクリックします。
6. ブラウザに新しい IP アドレスを入力して、**デルプリンタ構成設定 Web ツール**を続けて使用します。

プリンタソフトウェアアンインストール

現在インストールされているプリンタソフトウェアやプリンタオブジェクトを削除するには、アンインストールソフトウェアユーティリティを使用します。アンインストールソフトウェアユーティリティは以下の 2 通りの方法で起動できます。

1. *Windows XP* の場合は、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[プリンタとその他のハードウェア]**、**[プリンタと FAX]**の順にクリックします。

その他の *Windows* では、**[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]**の順にクリックします。

- a. アンインストールするプリンタオブジェクトを右クリックします。
 - b. **[プリンタソフトウェアアンインストール]**を選択します。
 - c. アンインストールするコンポーネントを選択し、**[次へ]**をクリックします。
 - d. **[今アンインストール]**をクリックします。
 - e. アンインストールが完了したら、**[OK]**をクリックします。
- 1 **[スタート]**、**[プログラム]**または**[すべてのプログラム]**、**[デルプリンタ]**、**[Dell Laser Printer 5210n/5310n]**の順にクリックします。
 - a. **[プリンタソフトウェアアンインストール]**を選択します。
 - b. アンインストールするコンポーネントを選択し、**[次へ]**をクリックします。
 - c. **[今アンインストール]**をクリックします。
 - d. アンインストールが完了したら、**[OK]**をクリックします。

ドライバプロファイル

ドライバプロファイルを使用して、ユーザー指定のドライバ設定を含んだドライバプロファイルを作成します。ドライバプロファイルには、以下のような保存された一組のプリンタドライバ設定およびその他のデータを含めることができます。

- 1 印刷方向および N アップ(文書設定)
- 1 排紙トレイの取り付け状況(プリンタオプション)
- 1 ユーザー定義用紙サイズ(ユーザー定義用紙)
- 1 簡易テキストおよび透かし
- 1 オーバーレイ参照
- 1 フォント参照
- 1 用紙割り当て

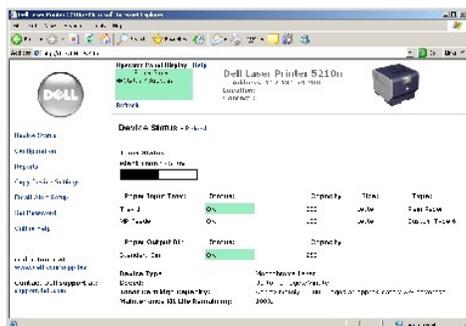
デルプリンタ構成設定 Web ツール

 **メモ:** このアプリケーションは、プリンタがコンピュータにローカル接続されている場合は使用できません。

廊下の先にあるネットワークプリンタに印刷ジョブを送信したものの、紙づまりや用紙切れのため印刷できなかったという経験はありますか？デルプリンタ構成設定 Web ツールの機能の 1 つに、E メール警報セットアップがあります。この機能は、プリンタの消耗品交換やユーザーによる操作が必要になった場合に、E メールをご自身またはキーオペレータに送信します。

担当区域のすべてのプリンタのアセットタグ番号が必要になるプリンタ在庫レポートに記入する場合、デルプリンタ構成設定 Web ツールには、その作業を容易にするプリンタ情報機能があります。ネッ

ネットワーク上の各プリンタの IP アドレスを入力するだけで、アセットタグ番号が表示されます。



デルプリンタ構成設定 Web ツールには、プリンタの設定を変更する機能や、印刷の傾向を記録する機能もあります。ネットワーク管理者の場合、Web ブラウザから、ネットワーク上の 1 台またはすべてのプリンタに簡単にプリンタの設定をコピーできます。

デルプリンタ構成設定 Web ツールを起動するには、Web ブラウザにネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。

お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷します。このページに IP アドレスが記載されます

ネットワーク設定ページを印刷するには：

1. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
2. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
3. [ネットワーク設定ページ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

IP アドレスを割り当てるには、[IP アドレス設定ユーティリティ](#)を参照してください。

デルプリンタ構成設定 Web ツールは以下の目的で使用します。

プリンタの状況

プリンタの消耗品の状態をすぐに取得します。トナーが少なくなったら、最初の画面のトナー消耗品リンクをクリックして追加のトナーカートリッジを注文します。

プリンタの設定

プリンタの設定を変更したり、操作パネルをリモート表示したり、プリントサーバーのファームウェアを更新します。

プリンタ設定のコピー

各プリンタの IP アドレスを入力するだけで、ネットワーク上の 1 台以上のプリンタに設定をすばやくコピーします。

 **メモ:** この機能を使用するには、ネットワーク管理者である必要があります。

統計情報の印刷

用紙の使用状況や印刷ジョブの種類など、印刷の傾向を追跡します。

プリンタ情報

サービスコールに必要な情報、在庫レポート、現在のメモリやエンジンコードレベルの状態を取得します。

E メール警報セットアップ

プリンタの消耗品交換や操作が必要になったら E メールを受信します。E メールリストボックスに、ご自身の名前またはキーオペレータの名前を入力します。

パスワードの設定

操作パネルをパスワードでロックし、選択したプリンタ設定をユーザーが誤って変更しないようにします。

 **メモ:** この機能を使用するには、ネットワーク管理者である必要があります。

オンラインヘルプ

プリンタのトラブルシューティングを行うには、**[ヘルプ]**をクリックしてデルのホームページにアクセスします。

トラブルシューティング

- [プリンタメッセージについて](#)
- [応答のないプリンタのチェック](#)
- [印刷に関する問題の解決](#)
- [オプションに関する問題の解決](#)
- [給紙に関する問題の解決](#)
- [印刷品質に関する問題の解決](#)

プリンタメッセージについて

プリンタには、状況メッセージ、アテンダンスメッセージ、サービスメッセージの 3 種類のメッセージが表示されます。状況メッセージには、プリンタの現状を伝える情報が表示されます。ユーザーは、特に対応する必要がありません。アテンダンスメッセージは、ユーザーが対応する必要があるプリンタ関連の問題を通知します。サービスメッセージも、対応する必要がある問題を通知します。ただし、プリンタでは印刷が停止され、既に発生したエラーは回復できません。プリンタの電源をオフにし、再び電源を入れると、サービスメッセージのエラー状態から一時的に回復できる場合があります。プリンタメッセージの詳細については、[操作パネルのメッセージについて](#)を参照してください。

応答のないプリンタのチェック

プリンタが応答しない場合、最初に次の項目を確認してください。

- 1 プリンタおよび適切に接地された電源コンセントに電源コードを差し込んでいること。
- 1 電源コンセントがスイッチまたはブレーカで切られていないこと。
- 1 プリンタが、サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないこと。
- 1 コンセントに接続した他の電子機器が機能していること。
- 1 プリンタの電源が入っていること。
- 1 プリンタコードが、プリンタ、ホストコンピュータ、プリントサーバー、オプション、または他のネットワークデバイスに適切に接続されていること。

これらの各項目を確認してから、プリンタの電源をオフにし、再び電源を入れてください。多くの場合、これで問題が解決します。

印刷に関する問題の解決

操作パネル表示が空白であるか、または菱形のみが表示される。

プリンタのセルフテストが失敗しました。プリンタの電源をオフにしたあと、10 秒ほど待ってからプリンタの電源を再び入れてください。「準備完了」メッセージが表示されない場合は、プリンタの電源をオフにし、当社のサービスにお問い合わせください。

ジョブが印刷されない。

- 1 プリンタのデータ受信準備が完了していません。
印刷するジョブを送信する前に、画面に「準備完了」または「節電」が表示されていることを確認します。「設定」ボタン  を押して、プリンタを「準備完了」状態に戻してください。
- 1 指定した排紙トレイが満杯です。
排紙トレイから紙の束を取り出して、「設定」ボタン  を押します。
- 1 指定したカセットが空です。
カセットに紙をセットします。
- 1 不適切なプリンタドライバを使用しているか、ファイルに印刷しています。

- プリンタで適切なプリンタドライバを使用していることを確認します。
- USB ポートを使用している場合は、Windows XP Professional x64、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、または Windows 98/Me が稼働しており、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、または Windows 98/Me と互換性があるプリンタドライバを使用していることを確認します。

1 プリントサーバーが正しくセットアップされていないか、正しく接続されていません。

ネットワーク印刷用にプリンタを正しく設定したことを確認します。

1 不適切なインターフェイスケーブルを使用しているか、ケーブルが正しく接続されていません。

推奨されたインターフェイスケーブルを使用して、正しく接続していることを確認します。

保持されたジョブが印刷されない。

1 書式エラーが発生したか、プリンタのメモリが不足しています。

- ジョブを印刷します (ジョブの一部のみが印刷されます)。
- ジョブを削除します。
- 保持されたジョブの一覧をスクロールして、プリンタに送信した他のジョブを削除することで、プリンタのメモリを解放します。

1 プリンタが無効なデータを受信しました。

ジョブを削除します。

多言語の PDF が印刷されない。

使用できないフォントが文書に含まれています。

1. 印刷したい文書を Adobe Reader で開きます。

2. プリントアイコンをクリックします。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

3. [画像として印刷]ボックスをオンにします。

4. [OK]をクリックします。

ジョブの印刷に、通常よりも長い時間がかかる。

1 ジョブが過度に複雑になっています。

ジョブで使用するフォントの数とサイズ、画像の数と解像度、ページ数を少なくして、印刷ジョブを簡素化します。

1 [ページ保護]が[オン]に設定されています。

[セットアップ]メニューで[ページ保護]を[オフ]に設定します (⇒「[操作パネルのメニューについて](#)」)。

不適切なカセット、または不適切な用紙でジョブが印刷される。

操作パネルのメニュー設定が、カセットにセットされた用紙と一致していません。プリンタドライバに指定された[用紙サイズ]と[用紙の種類]が、カセットにある用紙のサイズや種類と一致することを確認します。

不適切な文字を印刷しようとしている。

1 互換性のないパラレルケーブルを使用しています。

パラレルインターフェイスを使用している場合は、IEEE 1284 準拠のパラレルケーブルであることを確認してください。

1 プリンタが 16 進トレースモードになっています。

画面に「16 進トレース」と表示されている場合、ジョブを印刷するには、16 進トレースモードを終了する必要があります。プリンタの電源をオフにし、16 進トレースモードを終了します。

カセットの関連付けが機能しない。

1 用紙のサイズと種類が両方のカセットで一致していることを確認します。

1 カセットの用紙ガイドを適切なサイズに合わせてあることを確認します。

1 サイズと種類の両方のメニュー値が[用紙]メニューで適切に設定されていることを確認します。

1 詳細については、[カセットの関連付け](#)、[操作パネルのメニューについて](#)を参照してください。

大きなジョブで丁合ができない。

1 [丁合]がオンに設定されていません。

[仕上げ]メニューまたはプリンタドライバで[丁合]をオンに設定します。(⇒「[操作パネルのメニューについて](#)」)。

メモ: ドライバで[丁合]をオフに設定すると、[仕上げ]メニューの設定も変更されます。

1 ジョブが過度に複雑になっています。

ジョブで使用するフォントの数とサイズ、画像の数と解像度、ページ数を少なくして、印刷ジョブを簡素化します。

1 プリンタに十分なメモリがありません。

プリンタメモリまたはオプションのハードディスクを追加します。

予期せず印刷が停止した。

ジョブがタイムアウトしました。[印刷時間切れ]を[セットアップ]メニューよりも高い値に設定します (⇒「[操作パネルのメニューについて](#)」)。

オプションに関する問題の解決

取り付けたオプションが正しく動作しない。または今まで動作していたオプションが動かなくなった。

- 1 プリンタの電源をオフにしたあと、10 秒ほど待ってからプリンタの電源を再び入れてください。この操作で問題が解決されない場合、プリンタの電源コードを抜いて、オプションとプリンタの間の接続状態を確認します。
- 1 メニュー設定ページを印刷して、取り付け済みのオプションの一覧にオプションが表示されているかどうかを確認します。オプションが表示されていない場合は、一度オプションを取り外して、再び取り付けてください(⇒「[メニュー設定ページの印刷](#)」)。
- 1 お使いのソフトウェアアプリケーションでオプションが選択されていることを確認します。

以下の表に、プリンタオプションごとに問題を解決する方法を示します。ここに示す方法で問題が解決しない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。

用紙カセット <ol style="list-style-type: none">1 ドロワーとドロワー(250 枚カセットまたは 500 枚カセット)の間、またはドロワーと両面印刷ユニット(あるいはプリンタ)が正しく接続されていることを確認します。1 印刷用紙が正しくセットされていることを確認します(⇒「標準カセットとオプションカセットのセット」)。
両面印刷ユニット <ol style="list-style-type: none">1 プリンタに両面印刷ユニットが正しくセットされていることを確認します。両面印刷ユニットがメニュー設定ページに表示されているのに、両面印刷ユニットでの給紙時または排紙時に紙詰まりが発生する場合、プリンタに両面印刷ユニットが正しくセットされていない可能性があります。1 両面印刷ユニットの前面カバーが正しく取り付けられていることを確認します。
封筒フィーダ <ol style="list-style-type: none">1 プリンタに封筒フィーダが正しくセットされていることを確認します。1 【用紙】メニューとソフトウェアアプリケーションの両方で【用紙サイズ】が正しく設定されていることを確認します。1 封筒が正しくセットされていることを確認します(⇒「封筒フィーダのセット」)。
フラッシュメモリ フラッシュメモリがプリンタのシステム基板に正しく接続されていることを確認します。
内蔵プリントサーバー <ol style="list-style-type: none">1 内蔵プリントサーバー(内蔵ネットワークアダプタまたは INA ともいいます)がプリンタのシステム基板に正しく接続されていることを確認します。1 適切なケーブルを使用して、正しく接続されていることを確認します。また、ネットワークソフトウェアが正しくセットアップされていることを確認します。 <p>詳細については、プリンタに付属の <i>Drivers and Utilities</i> CD を参照してください。</p>
排紙増量器 排紙増量器と排紙増量器の間、または排紙増量器とプリンタが正しく接続されていることを確認します。メニュー設定ページに排紙増量器が表示されているのに、プリンタから排紙増量器へ紙が排紙されるときに紙詰まりが発生する場合は、排紙増量器が正しく取り付けられていない可能性があります。各排紙増量器を取り外して、もう一度取り付けます。
プリンタメモリ プリンタメモリがプリンタのシステム基板に正しく接続されていることを確認します。

給紙に関する問題の解決

紙詰まりが頻繁に発生する。 <ol style="list-style-type: none">1 プリンタの仕様を満たしていない用紙を使用しています。 推奨用紙を使用してください。紙詰まりの発生を防ぐ方法については、紙詰まりの回避を参照してください。1 セットしている紙または封筒が多すぎます。 セットする紙の東がカセットまたは多目的フィーダの最大スタック高を超えていないことを確認します。1 カセット内のガイドが、用紙サイズに対応する位置に移動されていません。 カセット内のガイドを適切な位置に移動します。1 湿度が高いため、用紙が水分を吸収しています。 新しいパッケージの用紙をセットします。セットするまでは、包装紙に用紙を入れたまま保管してください(⇒「印刷用紙の保管」)。1 ビックロールが消耗している可能性があります。 ビックロールを交換します(⇒「ビックローラーの交換」)。 紙詰まりの紙を取り除いたあとでも、「紙づまり」メッセージが表示されている。
--

<p>[設定]を押していません。または、破れた紙がまだプリンタ内に残っています。プリンタ内から完全に紙を取り除き、[設定]ボタン  を押します(⇒「紙詰まりの除去」)。</p>
<p>紙詰まりを解決したあと、問題が発生したページが印刷されない。</p>
<p>[セットアップ]メニューの[紙づまり回復]が[オフ]になっています。紙づまり回復を[自動]または[オン]に設定します(⇒「操作パネルのメニューについて」)。</p>
<p>排紙トレイに空白のページが排紙された。</p>
<p>印刷に使用しているカセットに、不適切な種類の用紙がセットされています。印刷ジョブに応じて適切な用紙をセットするか、セットした用紙に一致するように[用紙の種類]を変更します(⇒「操作パネルのメニューについて」)。</p>

印刷品質に関する問題の解決

以下の表に、印刷品質に関する問題を解決する方法を示します。ここに示す方法で問題が解決しない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。調整や交換が必要な部品がある可能性があります。

<p>印刷が薄すぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 トナーの残量が少ない可能性があります。残りのトナーを使い切るには、まず両手でハンドルを握ってカートリッジを取り外します。カートリッジの矢印を下に向けて、カートリッジを前後左右によく振ってトナーの偏りをなくします。そして、プリンタにカートリッジを取り付けなおして、[設定]ボタン  を押します。印刷の色が薄い状態が続くようになるまで、この手順を何度か繰り返します。印刷の色が薄い状態が続くようになったら、カートリッジを交換します 詳細については、トナーカートリッジの交換を参照してください。 1 [品質]メニューで[トナーの濃さ]を変更します。 1 [品質]メニューで[明度]を変更します。 1 [品質]メニューで[コントラスト]を変更します。 1 印刷面が均一でない場合は、[用紙]メニューにある[用紙の重量]と[用紙表面粗さ]を変更します。 1 適切な印刷用紙を使用していることを確認します。
<p>トナーがにじんだり、ページに印刷されない部分がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 印刷面が均一でない場合は、[用紙]メニューにある[用紙の重量]と[用紙表面粗さ]を変更します。 1 印刷用紙がプリンタの仕様に合わせていることを確認します(⇒「用紙のガイドラインについて」)。 <p>問題が解決されない場合は、プリンタの電源をオフにし、プリンタの販売店にお問い合わせください。</p>
<p>印刷した紙の裏面にトナーが付いている。</p> <p>トナーが転写ロールに付着しています。この問題を防ぐには、印刷ジョブの用紙サイズよりも小さい印刷用紙をセットしないでください。</p> <p>プリンタの上部前面カバーを開き、もう一度閉じることでプリンタセットアップサイクルを実行し、転写ロールを清掃します。</p>
<p>トナーフォグまたは背景のシェーディングがページに出る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 カートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 1 新しいカートリッジに交換します。
<p>ページ全体が白くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 梱包材がカートリッジから取り除かれていることを確認します。 1 カートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 1 トナーの残量が少ない可能性があります。残りのトナーを使い切るには、まず両手でハンドルを握ってカートリッジを取り外します。カートリッジの矢印を下に向けて、カートリッジを前後左右によく振ってトナーの偏りをなくします。そして、プリンタにカートリッジを取り付けなおして、[設定]ボタン  を押します。印刷の色が薄い状態が続くようになるまで、この手順を何度か繰り返します。印刷の色が薄い状態が続くようになったら、カートリッジを交換します 詳細については、トナーカートリッジの交換を参照してください。
<p>ページが縞状に印刷される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 トナーの残量が少ない可能性があります。残りのトナーを使い切るには、まず両手でハンドルを握ってカートリッジを取り外します。カートリッジの矢印を下に向けて、カートリッジを前後左右によく振ってトナーの偏りをなくします。そして、プリンタにカートリッジを取り付けなおして、[設定]ボタン  を押します。印刷の色が薄い状態が続くようになるまで、この手順を何度か繰り返します。印刷の色が薄い状態が続くようになったら、カートリッジを交換します 詳細については、トナーカートリッジの交換を参照してください。 1 プレプリントフォームを使用している場合、インクが 230°C (446°F) の高温に耐えることを確認します。
<p>印刷が濃すぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [品質]メニューで[トナーの濃さ]を変更します。 1 [品質]メニューで[明度]を変更します。 1 [品質]メニューで[コントラスト]を変更します。 <p>メモ: Macintosh コンピュータのユーザーは、ソフトウェアアプリケーションで「行/インチ」(lpi)の設定が必要以上に高い値に設定されていないことを確認します。</p>
<p>文字の端がざざざしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [品質]メニューの[印刷解像度]を[600 dpi]、[1200 画質]、[1200 dpi]、または[2400 画質]に設定します。 1 [細かい線を強調]を有効にします。 1 ダウンロードしたフォントを使用している場合、このフォントがプリンタ、ホストコンピュータ、およびソフトウェアアプリケーションでサポートされていることを確認します。
<p>ページの一部またはすべてが黒く印刷される。</p> <p>カートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。</p>

ジョブは印刷されるが、上部と左右のマージンが正しくない。

- 1 [用紙]メニューの[用紙サイズ]が正しいことを確認します。
- 1 ソフトウェアアプリケーションでマージンが正しく設定されていることを確認します。

ページにゴーストが現れる。

- 1 [用紙]メニューの[用紙の種類]が正しいことを確認します。
- 1 感光体キットを交換します。

背景が灰色になる。

- 1 [トナーの濃さ]が必要以上に濃い設定になっています。[品質]メニューで[トナーの濃さ]を変更します。
- 1 [明度]を暗い値に調整します。
- 1 [コントラスト]を明るい値に調整します。
- 1 カートリッジに欠陥がある可能性があります。新しいカートリッジに交換します。

印刷面の上下左右で一部の印刷が切れている。

カセット内のガイドを、セットした用紙サイズに応じて適切な位置に移動します。

印刷が斜めになる。または、不適切に傾斜する。

カセット内のガイドを、セットした用紙サイズに応じて適切な位置に移動します。

OHP フィルムの印刷品質が低い。

- 1 プリンタの製造元が推奨する OHP フィルムのみを使用します。
- 1 [用紙]メニューの[用紙の種類]が[OHP フィルム]であることを確認します。

オプションのワイヤレスカードのインストール方法

- [セットアップの最小必要条件](#)
- [ワイヤレスネットワークの設定](#)
- [オプションのワイヤレスカードのインストール方法](#)
- [オプションのワイヤレスカードの設定 \(Windows\)](#)
- [オプションのワイヤレスカードの設定 \(Macintosh\)](#)

 **メモ:** オプションのワイヤレスカードを使用できない地域もあります。使用可能かどうかを確認するには、地域の販売担当者にお問い合わせください。

セットアップの最小必要条件

- 1 Dell 5210/5310 ワイヤレスオプションカード
 - 1 Dell Laser Printer 5210n/5310n
 - 1 既存のワイヤレスネットワーク
 - 1 プリンタ付属の *Drivers and Utilities* CD
 - 1 以下のオペレーティングシステムのいずれかを実行しているコンピュータ:
 - Windows XP Professional x64
 - Windows XP
 - Windows Server 2003
 - Windows 2000
-

ワイヤレスネットワークの設定

プリンタにインストールされているワイヤレスプリントサーバーを設定するために、一部のワイヤレスネットワーク設定を指定する必要があります。指定する必要がある設定値を以下に示します。

- 1 ネットワーク名 (SSID (サービスセット ID) と同じ)
 - 1 BSS (基本サービスセット) の種類 (使用するワイヤレスネットワークの種類。アドホックまたはインフラストラクチャ)
 - 1 ワイヤレスチャンネル番号
 - 1 ネットワーク認証と暗号化の種類
 - 1 セキュリティキー
 - 1 署名済み証明書または CA 証明書
-

オプションのワイヤレスカードのインストール方法

ワイヤレスプリントサーバーをインストールする前に、以下の項目を確認して、プリンタが正しくセットアップされていることを確認します。

- 1 トナーカートリッジまたは印刷カートリッジを取り付けてあること
- 1 用紙をセットしてあること
- 1 プリンタの電源がオフになっており、電源コードが抜かれていること

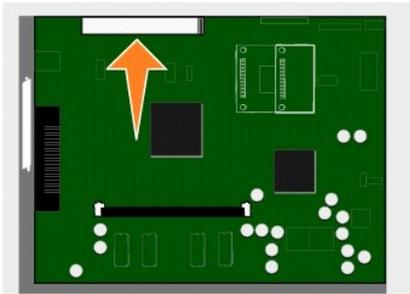
ワイヤレスカードを取り付けるには：

1. 側面ドアを開きます。

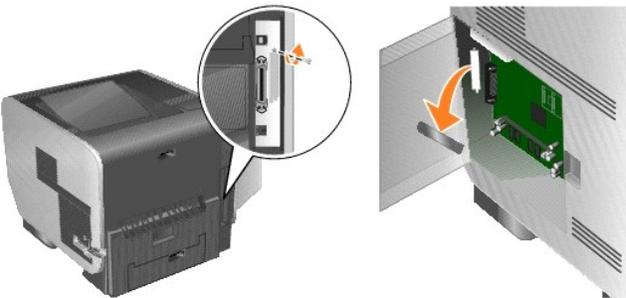


⚠ **注意：** オプションカードは静電気を受けると壊れやすい構造をしています。オプションカードに触れる前にプリンタの枠などの金属に触れるようにしてください。

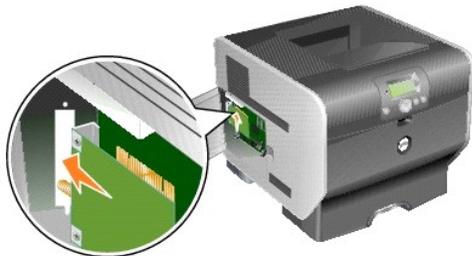
2. システム基板上にあるカードコネクタを見つけます。



3. ネジを外して、カバープレートを取り、別の場所に置いておきます。



4. メモリカードを包装から取り出します。包装材は保管しておきます。
5. システム基板上的コネクタとカードの位置を合わせ、システム基板コネクタにはまるようにカードを押し込みます。



6. カバープレートのネジ(またはカードに同梱されていた予備のネジ)を挿入します。
7. ネジを締めてカードを固定します。



8. アンテナをオプションカードに取り付けます。

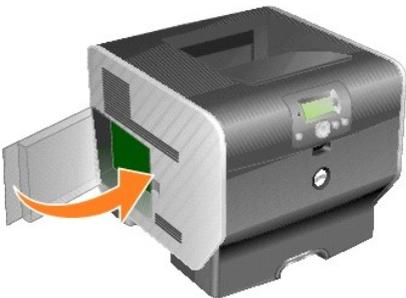
コネクタを締めて、アンテナをしっかり接続します。この接続が緩いと、ワイヤレス通信の信号が不安定になる可能性があります。



9. 接合部を壊さないように注意して、アンテナの向きを調整します。



10. 側面ドアを閉じます。



11. 電源コードを接続して、プリンタの電源を入れます。



オプションのワイヤレスカードの設定 (Windows)

設定の概要

プリンタに内蔵ワイヤレスプリントサーバーをインストールしたら、ワイヤレスネットワークに対して、2 つの方法でプリントサーバーを設定できます。プリントサーバーは、ワイヤレス設定ユーティリティを使用して設定するか、手動で設定します。

ワイヤレス設定ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定する場合、内蔵ワイヤレスプリントサーバーをインストールしたプリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続して、*Drivers and Utilities* CD を起動します。ワイヤレス設定ユーティリティでは、ウィザードモードとアドバンスモードの両方で操作ができます。ウィザードモードの場合、ユーザーは、設定プロセスの間、手順に従って設定を行います。アドバンスモードの場合、インターフェイスが備わっています。ユーザーはこのインターフェイスを使用して、プリンタ用のワイヤレスネットワークの値を直接入力したり、適切なワイヤレス設定を適用したりすることができます。

手動設定は、熟練ユーザーが対象です。この設定では、ワイヤレス設定ユーティリティや USB 接続を使用しないで、アドホックワイヤレス接続によってプリントサーバーとの通信を行います。手動設定を行うユーザーには、ネットワークのワイヤレス設定に関する深い知識が求められます。内蔵ワイヤレスプリントサーバーを手動で設定する方法については、[手動設定](#)を参照してください。

ワイヤレスプリントサーバーを設定する前に、次の項目を確認して、プリンタが正しくセットアップされていることを確認します。

- 1 内蔵ワイヤレスプリントサーバー用のオプションカードをプリンタに正しく取り付けてあること
- 1 すべてのアクセスパネルとプリンタドアを交換または閉じたこと
- 1 トナーカートリッジまたは印刷カートリッジを正しく取り付けてあること
- 1 用紙をプリンタにセットしてあること
- 1 プリンタの電源がオンになっていて、インストールの準備が完了していること

ワイヤレス設定ユーティリティの使用

- 1 プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
- 2 USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。
- 3 [新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されたら、[キャンセル]をクリックします。
- 4 *Drivers and Utilities* CD をセットします。CD が自動的に起動します。
- 5 [ワイヤレスアダプタの設定]をクリックします。
- 6 [同意する]をクリックして使用許諾契約に同意します。
- 7 [完了]をクリックして、ファイルをインストールし、設定ユーティリティを起動します。
- 8 [ウィザードモード]または[アドバンスモード]を選択します。
- 9 [次へ]をクリックして、[ウィザードモード](#)または[アドバンスモード](#)の手順に従います。

 **メモ:** 複数のワイヤレスカードを設定する場合は、ワイヤレス設定ユーティリティをコンピュータシステムにコピーできます。ユーティリティをコピーするには、*Drivers and Utilities* CD のツールフォルダに移動して、SetupWizard フォルダをデスクトップまたはハードディスクにコピーします。

ウィザードモード

ウィザードモードの場合、ワイヤレス設定ユーティリティは、プリンタを接続したコンピュータからワイヤレス情報を収集します。この照会の結果によって、適切な SSID の選択プロセスが決まります。

- 1 適切なネットワーク名 (SSID) を選択します。

コンピュータで見つかったワイヤレス設定

- 1 既存のワイヤレス設定がコンピュータで見つかった場合、一覧から適切なネットワーク名 (SSID) を選択して、[次へ]をクリックし、[手順 2](#)に進みます。
- 1 一覧に適切なネットワーク名がない場合、[別の設定を入力する](#)を選択して、[次へ]をクリックし、[領域で使用可能なワイヤレスネットワーク](#)に進みます。

領域で使用可能なワイヤレスネットワーク

- 1 コンピュータで既存のワイヤレス設定が見つからない場合、設定ユーティリティは、使用可能なワイヤレスネットワークをスキャンします。一覧から適切なネットワーク名 (SSID) を選択して[次へ]をクリックし、[手順 2](#)に進みます。
 - 1 一覧に適切なネットワーク名がない場合、[別のネットワーク名を入力する](#)を選択して[次へ]をクリックし、[別のネットワーク設定の入力の手順 3](#)に進みます。
- 2 適切なセキュリティ方式を選択して、[次へ]をクリックします。セキュリティ方式が見つからない場合は[手順 4](#)に進みます。
 - 3 ネットワークに対して適切なセキュリティキーを入力し、[次へ]をクリックします。
 - 4 概要画面で各ネットワーク属性の設定が正しいことを確認します。設定が正しい場合、[次へ]をクリックしてこれらの設定をプリントサーバーに適用します。
-  **メモ:** [次へ]をクリックすると、設定ユーティリティによってプリンタとのワイヤレス通信が確認されます。この確認プロセスは、最大 120 秒かかる場合があります。画面に表示されたワイヤレス設定が正しいことがわかっているので、ワイヤレス確認プロセスを開始しない場合、あるいはプリンタまたは設定しているコンピュータですぐに使用できないネットワークに対してプリントサーバーを設定している場合、[プリントサーバーがネットワークに接続できることを確認しない](#)チェックボックスをオンにしてワイヤレス確認テストを省略し、手順 6 に進みます。
- 5 プリントサーバーがネットワークで通信できることを確認します。
 - 1 プリントサーバーの設定が完了し、ネットワークで使用できる場合は、[完了](#)をクリックして設定ユーティリティを終了します。
 - 1 プリントサーバーがワイヤレスネットワークに接続できなかった場合、[設定を表示](#)をクリックして、ワイヤレス設定が正しいことを確認し、適切なオプションを選択した上で、[次へ]をクリックします。
 - 6 [ネットワーク上のプリンタのインストール](#)に進みます。

別のネットワーク設定の入力

ワイヤレス設定ユーティリティによって既存のワイヤレス設定が収集されて表示されたときに、使用できるネットワーク設定がない場合、別のネットワーク設定を入力することができます。

- 1 設定ウィザードがサイトのチェックを実行したあとで、別の設定を入力するためのオプションを選択します。
 - 1 ワイヤレスネットワーク設定がコンピュータで見つかった場合：
[コンピュータで見つかったワイヤレス設定]画面から[別の設定を入力する](#)を選択し、[次へ]をクリックして[手順 2](#)に進みます。
 - 1 ワイヤレスネットワーク設定がコンピュータで見つからなかった場合：
[領域で使用可能なワイヤレスネットワーク]画面から[別のネットワーク名を入力する](#)を選択し、[次へ]をクリックして[手順 3](#)に進みます。
- 2 [領域で使用可能なワイヤレスネットワーク]画面から[別のネットワーク名を入力する](#)を選択し、[次へ]をクリックします。
- 3 ネットワークのワイヤレスモードを選択します (インフラストラクチャまたはアドホックモード)。
- 4 使用するネットワークのネットワーク名 (SSID) を入力します。

 **メモ:** SSID には、ネットワークで使用されている名前を正確に入力する必要があります。SSID では大文字と小文字が区別されます。したがって、SSID の入力が不適切な場合、プリントサーバーはネットワークと通信することができず、設定プロセスを再実行する必要があります。

- 5 ネットワークに対して適切なチャンネルを選択します (使用可能な場合)。
- 6 [次へ]をクリックします。
- 7 ネットワークで使用するセキュリティ方式を選択して、[次へ]をクリックします。
- 8 セキュリティ方式を選択した場合、適切なセキュリティキーを入力して[次へ]をクリックします。セキュリティ方式を選択しない場合は、[手順 9](#)に進みます。
- 9 概要画面で各ネットワーク属性の設定が正しいことを確認します。設定が正しい場合、[次へ]をクリックしてこれらの設定をプリントサーバーに適用します。

 **メモ:** [次へ]をクリックすると、設定ユーティリティによってプリンタとのワイヤレス通信が確認されます。この確認プロセスは、最大 120 秒かかる場合があります。画面に表示されたワイヤレス設定が正しいことがわかっているので、ワイヤレス確認プロセスを開始しない場合、あるいはプリンタまたは設定しているコンピュータですぐに使用できないネットワークに対してプリントサーバーを設定している場合、[プリントサーバーがネットワークに接続できることを確認しない](#)チェックボックスをオンにしてワイヤレス確認テストを省略し、手順 11 に進みます。

- 10 プリントサーバーがネットワークで通信できることを確認します。
 - 1 プリントサーバーの設定が完了し、ネットワークで使用できる場合は、[完了](#)をクリックして設定ユーティリティを終了します。
 - 1 プリントサーバーがワイヤレスネットワークに接続できなかった場合、[設定を表示](#)をクリックして、ワイヤレス設定が正しいことを確認し、適切なオプションを選択した上で、[次へ]をクリックします。
- 11 [ネットワーク上のプリンタのインストール](#)に進みます。

アドバンスモード

アドバンスモードのホーム画面には、ワイヤレス設定ユーティリティ用の追加オプションがあります。[ウィザードモード]をクリックすると、ワイヤレス設定ユーティリティはウィザードモードに戻ります。[オプション]をクリックすると、以下の管理オプションが表示されます。

1 ユーティリティの標準のスタートアップモードとして、[ウィザードモード]または[アドバンスモード]を選択します。

1 ワイヤレス通信の確認プロセスを省略するには、[プリントサーバーがネットワークに接続できることを確認しない]チェックボックスをオンにします。この確認プロセスは、最大 120 秒かかる場合があります。プリンタまたは設定しているコンピュータではすぐに使用できないネットワークに対してプリントサーバーを設定している場合、あるいは単純にプリンタとのワイヤレス通信を確認しない場合、このチェックボックスをオンにして手順 1 に進みます。

- 1 ネットワークで使用するワイヤレスモードを選択します (インフラストラクチャまたはアドホックモード)。
- 2 プリンタで使用するネットワークの**ネットワーク名 (SSID)**を入力します。

メモ: SSID には、ネットワークで使用されている名前を正確に入力する必要があります。SSID では大文字と小文字が区別されます。したがって、SSID の入力が不適切な場合、プリントサーバーはネットワークと通信することができず、設定プロセスを再実行する必要があります。

- 3 ネットワークに対して適切なチャンネルを選択します。
- 4 ネットワークに対して適切な認証の種類を選択します。認証の種類は、手順 1 で選択したワイヤレスモードによって異なり、この選択によって使用できる暗号化の種類も決まります。

インフラストラクチャモードの場合:

- 1 オープン
- 1 共有
- 1 WPA Personal
- 1 802.1x - RADIUS

アドホックモードの場合: オープン

- 5 ネットワークに対して適切な暗号化方式を選択します。使用できる暗号化方式は、手順 4 で選択した認証の種類によって異なります。

オープン	<ol style="list-style-type: none">1 暗号化なし1 WEP
共有	<ol style="list-style-type: none">1 WEP
WPA Personal	<ol style="list-style-type: none">1 TKIP
802.1x - RADIUS	<ol style="list-style-type: none">1 暗号化なし1 WEP (動的キー)1 WEP (静的キー)1 WPA-TKIP <p>メモ: 使用する認証方式が、EAP-TLS を使用した 802.1x - RADIUS である場合、デバイスの署名済み証明書を取得するために証明書リクエストが必要になります。新しい署名済み証明書を要求する方法については、証明書リクエストの作成を参照してください。別の 802.1x - RADIUS 認証方式を使用する場合は、手順 6に進みます。</p>

- 6 認証と暗号化を設定します。以下のいずれのオプションも選択しない場合、[手順 7](#)に進みます。

認証の種類として[802.1x - RADIUS]を選択した場合、[\[認証の設定\]](#)をクリックして、[認証方式の設定](#)の手順に従います。

暗号化の種類として[WPA Personal]を選択した場合、[\[暗号化を設定\]](#)をクリックし、[WPA Personal 暗号化の設定](#)の手順に従います。

暗号化の種類として[WEP]または[WEP (静的キー)]を選択した場合、[\[暗号化を設定\]](#)をクリックし、[WEP 暗号化の設定](#)の手順に従います。

- 7 [\[適用\]](#)をクリックします。
- 8 [\[OK\]](#)をクリックします。
- 9 [\[OK\]](#)をクリックして、ユーティリティを終了します。

認証方式の設定

1 [\[EAP-MD5\]](#)、[\[MSCHAPv2\]](#)、または[\[LEAP\]](#)を認証方式として選択した場合:

- a. 802.1x - RADIUS 認証サーバーに対して適切なユーザー名とパスワードを入力します。
- b. パスワードを確認します。
- c. [\[OK\]](#)をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの[手順 6](#)に進みます。

1 [\[PEAP\]](#)を認証方式として選択した場合:

- a. 802.1x - RADIUS 認証サーバーに対して適切なユーザー名とパスワードを入力します。
- b. パスワードを確認します。
- c. [\[CA 証明書のインストール\]](#)をクリックします。
- d. 適切な CA 証明書へのパスを入力します。あるいは、[\[参照\]](#)をクリックして証明書を選択します。証明書をインストールするには[\[OK\]](#)をクリックし、操作をキャンセルするには[\[キャンセル\]](#)をクリックします。
- e. [\[OK\]](#)をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの[手順 6](#)に進みます。

1 [EAP-TLS]を認証方式として選択した場合:

- a. 802.1x - RADIUS 認証サーバーに対して適切なユーザー名を入力します。
- b. **[署名済み証明書のインストール]**をクリックします。
- c. 適切な署名済み証明書へのパスを入力します。あるいは、**[参照]**をクリックして証明書を選択します。証明書をインストールするには**[OK]**をクリックし、操作をキャンセルするには**[キャンセル]**をクリックします。
- d. **[CA 証明書のインストール]**をクリックします。
- e. 適切な CA 証明書へのパスを入力します。あるいは、**[参照]**をクリックして証明書を選択します。証明書をインストールするには**[OK]**をクリックし、操作をキャンセルするには**[キャンセル]**をクリックします。
- f. **[OK]**をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの**手順 6**に進みます。

1 [EAP-TTLS]を認証方式として選択した場合:

- a. EAP-TTLS と併用する適切な内部認証を選択します。
- b. 802.1x - RADIUS 認証サーバーに対して適切なユーザー名とパスワードを入力します。
- c. パスワードを確認します。
- d. **[CA 証明書のインストール]**をクリックします。
- e. 適切な CA 証明書へのパスを入力します。あるいは、**[参照]**をクリックして証明書を選択します。証明書をインストールするには**[OK]**をクリックし、証明書のダイアログボックスを閉じるには**[キャンセル]**をクリックします。
- f. **[OK]**をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの**手順 6**に進みます。

WEP 暗号化の設定

1. 適切な WEP キーを入力します。WEP 暗号化の場合、最低 1 つの WEP キーが必要であり、最大 4 つのキーを使用できます。
2. 標準の WEP 送信キーを選択します。
3. **[OK]**をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの**手順 7**に進みます。

WPA Personal 暗号化の設定

1. 適切な事前共有キーを入力します。
2. **[OK]**をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの**手順 7**に進みます。

証明書リクエストの作成

一部の認証方式では、適切に機能するために証明書が必要になります。署名済み証明書が必要である場合、新しい署名済み証明書を作成するために、証明書リクエストを開始する必要があります。

証明書リクエストを作成するには

1. **[証明書]**、**[証明書リクエストの作成]**の順に選択します。
2. 適切な証明書情報を入力します。
3. **[参照]**をクリックして、証明書を保存する場所に移動します。
4. **[OK]**をクリックして**アドバンスモード**のホーム画面に戻り、アドバンスモードの**手順 6**に進みます。

ネットワーク上でのプリンタのインストール

プリントサーバーの設定が完了すると、ワイヤレス設定ユーティリティは *Drivers and Utilities* CD の最初の画面に戻ります。**[ネットワークインストール: ネットワーク上でこのプリンタを使用するためのインストール]**をクリックします(⇒「[ネットワーク印刷用ドライバのインストール方法](#)」)。

追加のネットワークコンピュータにネットワークプリンタをインストールする

ネットワーク上の複数のコンピュータでネットワークプリンタを共有する場合、プリンタにアクセスするコンピュータごとに、[ネットワーク上でのプリンタのインストール](#)の手順を繰り返します。それぞれのインストールで、ワイヤレスプリントサーバーを再設定する必要はありません。

ワイヤレスプリントサーバーの設定の変更

ワイヤレスプリントサーバーで設定を変更する最も簡単な方法は、内蔵 Web サーバーを使用する方法です。この操作を実行するには、プリンタがネットワーク上で正常にインストールされている必要があります。

1. ブラウザウィンドウにプリンタの IP アドレスを入力します。プリントサーバーの内蔵 Web ページが表示されます。

プリンタの IP アドレスを確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。

- a. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
- b. 操作パネルで[メニュー]ボタン  を押します。
- c. [レポート]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。
- d. [ネットワーク設定ページ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタン  を押してから、[設定]ボタン  を押します。

 **メモ:** オプションのプリントサーバーをインストールしてある場合は、画面に[ネット1 設定を印刷]が表示されます。

- e. ネットワーク設定ページの最初の項目で、ステータスが「接続済み」になっていることを確認します。

ステータスが「接続済み」になっていない場合は、LAN が無効になっているか、ネットワークケーブルが正しく機能していない可能性があります。システムサポート担当者にお問い合わせして解決してから、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してプリンタがネットワークに接続されているかどうかを確認してください。

2. IP アドレスなど、変更する設定を選択します。
3. 新しい値を入力し、[送信]をクリックします。

手動設定

Dell 5210/5310 ワイヤレスオプションカードの出荷時の標準設定では、プリントサーバーの内蔵 Web ページにアドホックモードでアクセスして設定を行うことができます。

この設定方法では、ワイヤレス設定ユーティリティを使用せず、USB 接続でコンピュータに直接接続することもないので、コンピュータとネットワークの両方でワイヤレス設定の一部にアクセスする必要があります。したがって、設定プロセスを完了するには、ワイヤレスネットワークとコンピュータの設定に関する深い知識が必要になります。

 **メモ:** この方法でワイヤレスプリントサーバーを設定するには、設定プロセスで使用するコンピュータにワイヤレスネットワークカードが備わっている必要があります。

ワイヤレスプリントサーバーを設定する前に、次の項目を確認して、プリンタが正しくセットアップされていることを確認します。

- 1 内蔵ワイヤレスプリントサーバー用のオプションカードをプリンタに正しく取り付けてあること
- 1 トナーカートリッジまたは印刷カートリッジを正しく取り付けてあること
- 1 用紙をプリンタにセットしてあること
- 1 プリンタの電源がオンになっていて、インストールの準備が完了していること

アドホックモードでのプリントサーバーの設定

1. プリンタの電源ボタンが点灯していることを確認します。
2. コンピュータの現在のワイヤレスネットワークパラメータにアクセスして、情報を記録します。

現在のワイヤレスネットワークパラメータにアクセスする方法については、ワイヤレスネットワークの説明書類を参照するか、ネットワークのサポート担当者にお問い合わせください。

3. 現在のワイヤレスネットワークパラメータを以下の値に変更します。

ワイヤレスネットワークパラメータ	設定値
SSID(ネットワーク名またはサービスセット ID)	プリントサーバー
基本サービスセットの種類(BSST)	アドホック
データ暗号化モード	なし
WEP キー	なし

4. プリンタの IP アドレスを確認します。

プリンタには、AutoIP 方式で IP アドレスが割り当てられます。このアドレスは、169.254 の範囲に入っている必要があります。プリンタの IP アドレスを確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。

5. プリンタとは別の IP アドレスで、同じ IP 範囲内の IP アドレスが、PC に割り当てられていることを確認します。以下に例を示します。

デバイス	IP アドレス
コンピュータ	169.254.10.40
プリントサーバー	169.254.10.41

コンピュータの IP アドレスがプリントサーバーと同じ範囲に入っていない場合、適切な範囲に入るように IP アドレスを変更する必要があります。

コンピュータの IP アドレスを確認して変更する方法については、コンピュータまたはオペレーティングシステムの説明書類を参照してください。

- Web ブラウザを開き、URL としてプリントサーバーの IP アドレスを指定して、内蔵 Web ページにアクセスします。

 **メモ:** ネットワークで使用するワイヤレスセキュリティモードが 802.1x - RADIUS であり、認証方式に対して署名済み証明書や CA 証明書が必要な場合、設定プロセスを続行する前に、[証明書管理](#)を参照して適切な証明書を有効にしてください。

- Web ページの左側にある**[設定]**をクリックします。
- [その他の設定]で、**[ネットワーク/ポート]**をクリックします。
- [ネットワーク/ポート]で、**[ワイヤレス]**をクリックします。
- プリンタで使用するワイヤレスネットワークに一致するように、表示された以下のネットワーク設定を変更します。
 - SSID
 - BSS の種類
 - チャンネル番号 (アドホックのみ)
 - ワイヤレスセキュリティモード
 - 暗号化モード (使用可能な場合)

SSID には、ネットワークで使用されている名前を正確に入力する必要があります。SSID では大文字と小文字が区別されます。したがって、SSID の入力が不適切な場合、プリントサーバーはネットワークと通信することができず、設定プロセスを再実行する必要があります。

 **メモ:** セキュリティモードとして WEP を選択した場合、**[詳細設定]**をクリックして追加の WEP セキュリティキーを入力します。

- [送信]**をクリックします。
- コンピュータのワイヤレスネットワーク設定を手順 3 で記録した元の値に戻します。

証明書管理

802.1x - RADIUS ワイヤレスセキュリティモードと関連付けられた一部の認証方式では、CA 証明書 (PEAP と EAP-TTLS) を使用するか、署名済み証明書と CA 証明書 (EAP-TLS) の両方を使用する必要があります。

802.1x - RADIUS で使用する証明書を管理するには

- プリントサーバーの内蔵 Web ページで、ページの左側にある**[設定]**をクリックします。
- [証明書管理]**をクリックします。
- 適切な管理オプションを指定します。
- 内蔵 Web ページのホーム画面に戻り、[アドホックモードでのプリントサーバーの設定の手順 7](#)に進みます。

新しい CA 証明書をインストールするには

- [証明書の設定]で、**[新しい CA 証明書のインストール]**をクリックします。
- 証明書がある場所を参照して、**[送信]**をクリックします。

新しい署名済み証明書を要求してインストールするには

- [証明書の設定]で、**[証明書署名リクエストの更新]**をクリックします。
- 適切な証明書情報を入力します。
- [証明書署名リクエストの更新]**をクリックします。
- [証明書署名リクエスト]で、**[証明書署名リクエストのダウンロード]**をクリックします。
- CA を使用して証明書を署名します。署名済み証明書の詳細については、802.1x - RADIUS の説明書類を参照してください。
- [証明書の設定]で、**[新しい証明書のインストール]**をクリックします。

プリンタの操作パネルを使用したプリントサーバーの設定

特定のプリンタモデルでは、プリンタの操作パネルを使用してネットワーク名 (SSID) とネットワークモード (アドホックまたはインフラストラクチャ) を設定できます。プリンタのメニューを操作して適切なメニューオプションにアクセスする方法については、プリンタの説明書類を参照してください。ワイヤレス設定で表示されるメニュー名は、プリンタの機種によって異なる場合があります。

 **メモ:** プリンタの操作パネルで変更できるワイヤレス設定はネットワーク名とネットワークモードだけなので、ワイヤレスセキュリティを使用するネットワークではこの設定方法をお勧めできません。

ネットワーク上でのプリンタのインストール

プリントサーバーの設定が完了したら、*Drivers and Utilities* CD を挿入します。[ネットワークインストール: ネットワーク上でこのプリンタを使用するためのインストール]をクリックします(⇒ [「ネットワーク印刷用ドライバのインストール方法」](#))。

追加のネットワークコンピュータにネットワークプリンタをインストールする

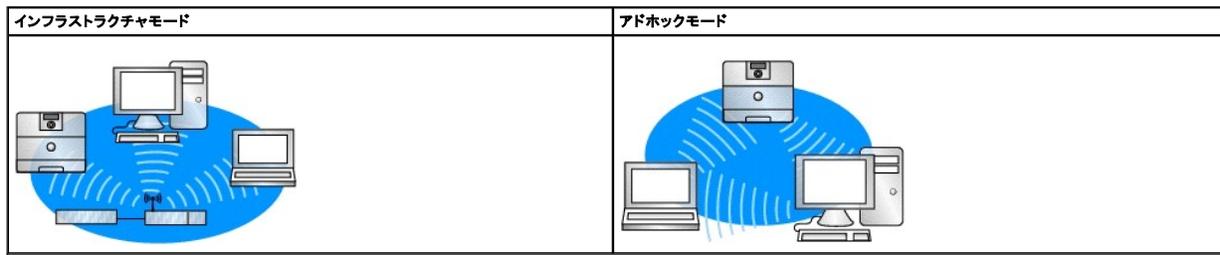
ネットワーク上の複数のコンピュータでネットワークプリンタを共有する場合、プリンタにアクセスするコンピュータごとに、[ネットワーク上のプリンタのインストール](#)の手順を繰り返します。それぞれのインストールで、ワイヤレスプリントサーバーを再設定する必要はありません。

オプションのワイヤレスカードの設定 (Macintosh)

設定の概要

内蔵ワイヤレスプリントサーバーをプリンタにインストールしたら、ワイヤレスネットワークで使用するために、このサーバーを設定する必要があります。プリントサーバーの設定では、Zero Configuration Networking を使用して、コンピュータ対コンピュータ(アドホック)のワイヤレスネットワークを通じてプリントサーバーに接続し、プリントサーバーのワイヤレスネットワーク設定を変更します。

インフラストラクチャモード(ネットワーク構造は、一連のワイヤレスルーターまたはベースステーションが基盤になっています)とアドホックモード(ワイヤレスデバイス、ワイヤレスルーターを使用しないで相互に直接通信します)のどちらのネットワークでも、設定プロセスを実行できます。



ワイヤレスプリントサーバーを設定する前に、次の項目を確認して、プリンタが正しくセットアップされていることを確認します。

- 1 内蔵ワイヤレスプリントサーバー用のオプションカードをプリンタに正しく取り付けてあること
- 1 すべてのアクセスパネルとプリンタドアを交換または閉じたこと
- 1 トナーカートリッジまたは印刷カートリッジを正しく取り付けてあること
- 1 用紙をプリンタにセットしてあること
- 1 プリンタの電源がオンになっていて、インストールの準備が完了していること

ワイヤレスプリントサーバーの設定

- 1 「アプリケーション」フォルダで「**インターネット接続**」を開き、ツールバーの **AirPort** アイコンをクリックします。
- 2 「ネットワーク」ポップアップメニューで、「**プリントサーバー**」ネットワークを選択します。
3. Safari Web ブラウザを開き、「ブックマーク」メニューから「**すべてのブックマークを表示**」を選択します。
4. ウィンドウの左側にある「コレクション」列で「**ランデブー**」または「**ボンジュール**」を選択します。
5. 右側の列で、「MarkNet N8050 ワイヤレスプリントサーバー」ブックマークをダブルクリックします。

 **メモ:** ネットワークで使用するワイヤレスセキュリティモードが 802.1x - RADIUS であり、認証方式に対して署名済み証明書や CA 証明書が必要な場合、設定プロセスを続行する前に、[証明書管理](#)を参照して適切な証明書を有効にしてください。

6. プrintサーバーの内蔵 Web ページが表示されたら、左側の列にある「**設定**」をクリックします。
7. 「その他の設定」で、「**ネットワーク/ポート**」をクリックします。
8. 「ネットワーク/ポート」で、「**ワイヤレス**」をクリックします。
9. お使いのワイヤレスネットワークに一致するように、ワイヤレスプリントサーバーの以下のネットワーク設定を変更します。
 - 1 SSID
 - 1 BSS の種類

- 1 チャンネル番号(アドホックネットワークのみ)
- 1 ワイヤレスセキュリティモード
- 1 認証モード(使用可能な場合)

SSID には、ネットワークで使用されている名前を正確に入力する必要があります。SSID では大文字と小文字が区別されます。したがって、SSID の入力が不適切な場合、プリントサーバーはネットワークと通信することができません。

 **メモ:** セキュリティモードとして WEP を選択した場合、「**詳細設定**」をクリックして追加の WEP セキュリティキーを入力します。

10. 「**送信**」をクリックします。
11. プリントサーバーが再設定されるまで、10 秒ほどお待ちください。
12. 「アプリケーション」フォルダで「**インターネット接続**」を開き、ツールバーの **AirPort** アイコンをクリックします。
13. 「ネットワーク」ポップアップメニューで元のワイヤレスネットワークを選択し、コンピュータのワイヤレスネットワーク設定を元の値に戻します。

証明書管理

802.1x - RADIUS ワイヤレスセキュリティモードと関連付けられた一部の認証方式では、CA 証明書 (PEAP と EAP-TTLS) を使用するか、署名済み証明書と CA 証明書 (EAP-TLS) の両方を使用する必要があります。

802.1x - RADIUS で使用する証明書を管理するには

1. プリントサーバーの内蔵 Web ページで、ページの左側にある「**設定**」をクリックします。
2. 「**証明書管理**」をクリックします。
3. 適切な管理オプションを指定します。
4. 内蔵 Web ページのホーム画面に戻り、[ワイヤレスプリントサーバーの設定の手順 6](#) に進みます。

新しい CA 証明書をインストールするには

1. 「証明書の設定」で、「**新しい CA 証明書のインストール**」をクリックします。
2. 証明書がある場所を参照して、「**送信**」をクリックします。

新しい署名済み証明書を要求してインストールするには

1. 「証明書の設定」で、「**証明書署名リクエストの更新**」をクリックします。
2. 適切な証明書情報を入力します。
3. 「**証明書署名リクエストの更新**」をクリックします。
4. 「証明書署名リクエスト」で、「**証明書署名リクエストのダウンロード**」をクリックします。
5. CA を使用して証明書に署名します。署名済み証明書の詳細については、802.1x - RADIUS の説明書類を参照してください。
6. 「証明書の設定」で、「**新しい証明書のインストール**」をクリックします。

プリンタの操作パネルを使用したプリントサーバーの設定

特定のプリンタモデルでは、プリンタの操作パネルを使用してネットワーク名 (SSID) とネットワークモード (アドホックまたはインフラストラクチャ) を設定できます。プリンタのメニューを操作して適切なメニューオプションにアクセスする方法については、プリンタの説明書類を参照してください。ワイヤレス設定で表示されるメニュー名は、プリンタの機種によって異なる場合があります。

 **メモ:** プリンタの操作パネルで変更できるワイヤレス設定はネットワーク名とネットワークモードだけなので、ワイヤレスセキュリティを使用するネットワークではこの設定方法をお勧めできません。

ネットワーク上でのプリンタのインストール

プリントサーバーの設定が完了したら、*Drivers and Utilities* CD を挿入します。「**ネットワークインストール: ネットワーク上でこのプリンタを使用するためのインストール**」をクリックします (⇒「[ネットワーク印刷用ドライバのインストール方法](#)」)。

追加のネットワークコンピュータにネットワークプリンタをインストールする

ネットワーク上の複数のコンピュータでネットワークプリンタを共有する場合、プリンタにアクセスするコンピュータごとに、[ネットワーク上でのプリンタのインストール](#)の手順を繰り返します。それぞれのインストールで、ワイヤレスプリントサーバーを再設定する必要はありません。

ワイヤレスプリントサーバーの設定の変更

ワイヤレスプリントサーバーで設定を変更する最も簡単な方法は、内蔵 Web サーバーを使用する方法です。この操作を実行するには、プリンタがネットワーク上で正しくインストールされている必要があります。

1. Safari Web ブラウザを開き、「ブックマーク」メニューから「**すべてのブックマークを表示**」を選択します。
2. ウィンドウの左側にある「コレクション」列で「**ランデブー**」または「**ボンジュール**」を選択します。
3. 右側の列で、プリンタのブックマークをダブルクリックします。
4. 変更する設定を選択します。
5. 新しい値を入力し、「**送信**」をクリックします。

Regulatory Notices for Wireless Option

Operational Information

Wireless interoperability

The Dell 5210 / 5310 Wireless Option is designed to be interoperable with any wireless LAN product that is based on direct sequence spread spectrum (DSSS) radio technology and orthogonal frequency division multiplexing (OFDM) and to comply with the following standards:

- 1 IEEE 802.11b-1999 Standard on 2.4 GHz Wireless LAN
- 1 IEEE 802.11g Standard on 2.4 GHz Wireless LAN
- 1 Wireless Fidelity (Wi-Fi) certification, as defined by the WECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance)

Safety

The Dell 5210 / 5310 Wireless Option, like other radio devices, emits radio frequency electromagnetic energy. The level of energy emitted by this device, however, is less than the electromagnetic energy emitted by other wireless devices such as mobile phones. The Dell 5210 / 5310 Wireless Option operates within the guidelines found in radio frequency safety standards and recommendations. These standards and recommendations reflect the consensus of the scientific community and result from deliberations of panels and committees of scientists who continually review and interpret the extensive research literature. In some situations or environments, the use of the Dell 5210 / 5310 Wireless Option may be restricted by the proprietor of the building or responsible representatives of the applicable organization. Examples of such situations include the following:

Using the Dell 5210 / 5310 Wireless Option in any other environment where the risk of interference with other devices or services is perceived or identified as being harmful.

If you are uncertain of the policy that applies to the use of wireless devices in a specific organization or environment (an airport, for example), you are encouraged to ask for authorization to use the Dell 5210 / 5310 Wireless Option before you turn it on.

Regulatory Information

The Dell 5210 / 5310 Wireless Option must be installed and used in strict accordance with the manufacturer's instructions as described in the user documentation that comes with the product. For country-specific approvals, see [Radio Approvals](#). Dell Inc is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Dell 5210 / 5310 Wireless Option card, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than that specified by Dell Inc. The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment is the responsibility of the user. Dell Inc and its authorized resellers or distributors are not liable for any damage or violation of government regulations that may arise from the user failing to comply with these guidelines.

USA - Federal Communications Commission (FCC)

FCC Radiation Exposure Statement

WARNING: The radiated output power of the Dell 5210 / 5310 Wireless Option is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, Dell 5210 / 5310 Wireless Option should be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. To avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, you should keep a distance of at least 20 cm between you (or any other person in the vicinity) and the antenna that is built into the printer. To determine the location of the antenna within your printer, check the information posted on the general Dell support site at <http://support.dell.com>.

For SAR purposes, this is considered a mobile device and calculations have been performed and the device has been shown to be compliant with the FCC RF exposure limits under mobile exposure conditions.

Radio Frequency Interference Requirements

WARNING: Dell 5210 / 5310 Wireless Option
This device is restricted to indoor use due to its operation in the 5.15 GHz to 5.25 GHz frequency range. The FCC requires this product to be used indoors for the frequency range 5.15 GHz to 5.25 GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite systems.

High power radars are allocated as primary users of the 5.25 GHz to 5.35 GHz and 5.65 GHz to 5.85 GHz bands. These radar stations can cause interference with this device, or can cause damage to this device, or both.

Interference Statement

These devices comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation of the devices is subject to the following two conditions: (1) The devices may not cause harmful interference, and (2) The devices must accept any interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If the equipment is not installed and used in accordance with the instructions, the equipment may cause harmful interference to radio communications. There is no guarantee, however, that such interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception (which can be determined by turning the equipment off and on), the user is encouraged to try to correct the interference by taking one or more of the following measures:

- 1 Relocate this device.
- 1 Increase the separation between the device and the receiver.
- 1 Connect the device into an outlet on a circuit different from that of other electronics.
- 1 Consult the dealer or an experienced radio technician for help.

NOTE: This Dell 5210 / 5310 Wireless Option must be installed and used in strict accordance with the manufacturer's instructions as described in the user documentation that comes with the product. Any other installation or use will violate FCC Part 15 regulations. Modifications not expressly approved by Dell could void your authority to operate the equipment.

This device must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Canada. Industry Canada (IC)

This device complies with RSS210 of Industry Canada.



CAUTION: Exposure to Radio Frequency Radiation.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult SafetyCode 6, obtainable from Health Canada's website <http://www.hc-sc.gc.ca/rpb>.

Europe. EU Declaration of Conformity



Hereby, Dell Inc declares that this Dell 5210 / 5310 Wireless Option is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

EC/يتوافق مع المتطلبات الرئيسية والأحكام ذات الصلة للتوجيه رقم 1999/5/EC أن هذا الملحق اللاسلكي الاختياري Dell Inc بموجب هذا، تعلن.

Společnost Dell Inc tímto prohlašuje, že tento Dell 5210 / 5310 Wireless Option je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/EC.

Hermed erklarer Dell Inc, at denne tradlose Dell 5210 / 5310 Option overholder alle væsentlige krav i direktiv 1999/5/EC.

Hierbij verklaart Dell Inc dat deze Dell 5210/5310 optionele draadloze kaart in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.

Dell Inc vakuuttaa täten että Dell 5210 / 5310 Wireless Option -tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.

It is important to ensure that you only use your radio device in countries where the device is approved for use. To determine whether you are allowed to use your wireless network device in a specific country, please check to see if the radio type number that is printed on the identification label of your device is listed on the radio approval list posted on the general Dell support site at <http://support.dell.com>.

In countries other than the United States and Japan, verify that the Location set-ting from the Regional Options tab in Regional and Language Options (from Control Panel) has been set to the country in which you are using your Dell 5210 / 5310 Wireless Option. This ensures compliance with local regulatory restrictions on trans-mit power and optimizes network performance.